

令和2年度グローバル・スタートアップ・エコシステム
強化事業（起業家精神に関する調査）

報 告 書

令和3年3月

みずほ情報総研株式会社

まえがき

企業に寿命がある以上、新しい企業が生まれなければ、経済活動の担い手である企業数は減少する。また、産業にも栄枯盛衰があり、成長分野の一定割合が新規企業によって担われるとするならば、創業が少ないことは成長分野の担い手が不足することにつながる。このような場合、仮に豊富な事業機会があっても、その実現が危ぶまれるのである。

しかし、わが国の起業活動は、世界各国と比較して高水準にあるとはいえ、起業家精神の高揚が重要な課題となっている。

本調査である、グローバル・アントレプレナーシップ・モニター（Global Entrepreneurship Monitor：以下、GEM）は、起業活動が国家経済に及ぼす影響について、各国家のデータを用いて実証研究を行い、各国の政策担当者に重要な政策方針を提供している。GEM 調査は、1999 年に日本を含めた 10 カ国からスタートし、2020 年は COVID-19 の影響でやや減少したものの 44 カ国（日本含む）が参加する国際比較研究へと拡大した。

GEM の主要な研究目的は、ベンチャー企業の成長プロセスを解明し、起業活動を活発にする要因を理解し、その上で国家の経済成長や競争力、雇用などへの影響を定量的に測定することにある。最終的には、国家経済の活性化につなげるための政策提言を目的としている。具体的には、起業活動の水準は国家間でどのくらい違うのか、どのような政策や方針が国家の起業活動の水準を高めるのか、起業活動と経済成長にはどのような関係があるのか等を研究課題としている。

このような課題を明らかにするために、GEM は、①一般成人調査（Adult Population Survey: APS）と、②専門家調査(National Expert Survey: NES)の 2 種類の調査を実施しているが、本報告書は APS によって得られた結果を報告している。

2020 年調査においては、昨年と比べてわが国の起業活動の水準(TEA)は、5.4 から 6.5 へと大幅に上昇した。これは本文中でも触れるが、起業態度有りの割合の増加と起業態度有りの TEA の上昇によるものである。

また、COVID-19 による影響調査も 2020 年調査では実施した。

本年度はパネルデータを使用し始めてから 6 年目になり、引き続き WEB 調査および携帯電話の所有者に対する調査を実施した。2014 年までは、固定電話を所有している世帯のみを調査対象の母集団としていたが、本年度は 2,011 サンプル中、固定電話は 403 件にとどまり、残りは携帯電話の 812、そして WEB 調査の 796 件であった。

なお、本報告書の作成にあたっては、調査票の翻訳・作成段階から GEM 日本チーム代表である武蔵大学副学長の高橋徳行教授の指導及び助言を受けている。また、一般にグローバルレポートと呼ばれている 2020 年調査全体の結果については、GEM のホームページ (<http://www.gemconsortium.org/>) からダウンロードできるので、こちらも参考にしてほしい。

最後になったが、本調査の APS および NES のアンケート回答協力者の皆様にお礼を申し上げたい。本調査は、数多くの匿名の協力者なしには実現し得ないものである。

令和 3 年 3 月
みずほ情報総研株式会社

目 次

第1章 はじめに.....	3
1. 分析のフレームワーク	3
2. GEM データの概要.....	5
3. 総合起業活動指数（TEA）とは.....	6
第2章 起業活動の状況（Activity；行動）	8
1. 総合起業活動指数（TEA）と国家の経済力	8
2. 事業機会型起業家と生計確立型起業家.....	12
3. 男女別の起業活動の状況	14
4. 将来の起業計画	16
5. 休業・廃業	17
第3章 起業活動を取り巻く環境（Attitude；態度）	19
1. 起業活動の社会への浸透	19
2. 失敗に対する恐れ	20
3. 事業機会の認識	23
4. 知識・能力・経験	24
5. 起業活動に対する評価	26
6. ビジネスエンジェル（個人投資家）	30
第4章 総合起業活動指数の上昇に関する考察（2020 年）	32
第5章 COVID-19 に関する特別調査について	37
付属資料（Ⅰ）一般調査のデータ.....	42
付属資料（Ⅱ） 2020 年度一般調査（GEM2020 起業意識調査）の調査票 （日本語版）	76

第1章 はじめに

1. 分析のフレームワーク

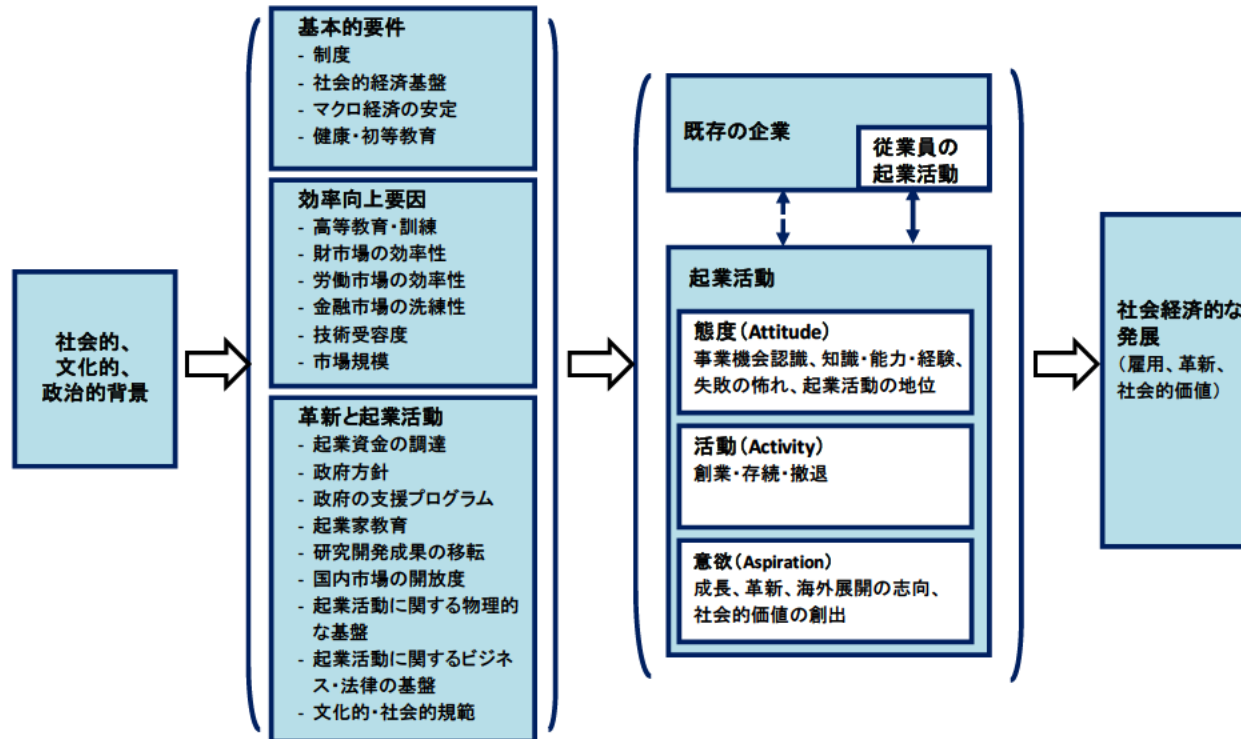
GEM の調査目的は起業活動と国家の経済成長との関係をとらえ、起業活動を活発にするような有効な政策を打ち出すためのフレームワークを作ることである。図表 1.1 は GEM の理論モデルを視覚化したものである。

これまで国家経済や産業の成長を説明するフレームワークとして、産業組織論の市場構造→企業活動→経済成果という因果関係モデルが用いられてきた。このフレームワークによると、国家を取り巻く一般的な環境（制度や規則、金融市場の効率性、労働市場の流動性、国内市場の開放度など）が、企業や業界の活動（研究開発や広告宣伝の程度など）に影響し、その結果として国家の経済成長（国内総生産や雇用など）の水準が決定される。しかし、このフレームワークの重大な欠点は、分析が静的なものに限定されることにある。既存の企業のどのような活動が、経済成果にどの程度影響するのかを理解することはできる。しかし経済の成長は、時間の経過や活動のプロセスを無視した現象面だけでは説明できない。経済や事業を取り巻く環境の変化に反応し、既存の企業が新しい事業に取り組み、なおかつ起業家が新しい機会を求めて新企業を設立し、ときには環境変化に取り残された企業が消えてゆくプロセスやダイナミズムも国家の経済成長に大きく影響する。

特に GEM が注目するのはモデル中の「起業活動」の部分である。この起業活動は、われわれが3つの A と呼ぶ、「態度(Attitude)」「行動(Activity)」「意欲(Aspiration)」によって構成される。「態度」とは、新しい事業機会が訪れると思っているかどうかや起業家に対する評価のことをいう。それ以外には、起業リスクの感じ方とか、起業家としての知識・能力・経験に関連するものがある。「行動」とは、起業プロセスのダイナミズムに注目するものである。GEM では起業計画、起業準備、実際の起業、事業継続、休業・廃業など、企業のライフサイクルごとの状況の把握に努めている。そして最後の「意欲」とは、起業活動の目標や野心である。成長、海外展開、新製品の開発、社会的価値の創出などさまざまなものが考えられる。そしてこのような起業活動が、国家の経済成長やイノベーションに影響する。図表 1.1 の左端の社会的・文化的・政治的背景についても、起業分野の専門家に対するアンケートを通じて調査している。

本報告書では3つの A のうち、その起業段階での問題に焦点を当てるため、「態度」と「行動」を中心に分析した。

図表 1.1 GEM の概念モデル



2. GEM データの概要

GEM では、18 歳から 64 歳までの「成人」を対象とした「一般調査」(Adult Population Survey: APS)を実施している(調査票は付属資料Ⅱを参照)。この調査は、起業活動の程度、事業機会の認識、起業に必要な知識・能力・経験の有無に加えて、起業家に対する社会的評価など、起業活動に対する平均的な国民の意識も理解できるように設計されている。また、回答者の性別、年齢、所得、教育歴などの属性も尋ねている。

2020 年の GEM 調査に参加したのは、日本を含めて 44 カ国である(各国の調査対象者数は付属資料Ⅰを参照)。

日本におけるデータ収集は 2021 年 1 月～2021 年 2 月にかけて行った。これは例年の調査スケジュールに比べると大幅に遅れたものである。回収したサンプル数は 2,011 人であり、その内訳は男性 1,156 人(57.5%)、女性 855 人(42.5%)である。また年齢階級については、18～24 歳 144 人(7.2%)、25～34 歳 334 人(16.6%)、35～44 歳 466 人(23.2%)、45～54 歳 563 人(28.0%)、55～64 歳 504 人(25.1%)となっている。

昨年調査と比べると、45-54 歳と 55-64 歳のサンプル数が増えた。図表 1.3 に示したように、国全体の年齢階級別分布と比較すると、18-24 歳はやや少ないものの、全体では特定の年齢階級に偏ることなく、バランスの取れたサンプリングができています。

図表 1.2 年齢階級別サンプル数の比較

	2020 年調査		2019 年調査		2018 年調査		2017 年調査		2016 年調査	
年齢階級	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
18-24	83	61	110	116	136	139	125	93	103	142
25-34	150	184	204	151	181	147	164	159	159	210
35-44	279	187	253	203	268	199	256	214	256	205
45-54	333	230	254	253	252	233	283	234	307	193
55-64	311	193	260	223	270	216	268	221	277	168
合計	1156	855	1081	946	1,107	934	1,096	921	1,102	918

注) 各年齢層の合計が総データ数に足りない調査年があるのは、年齢の回答を拒否した回答者がいるためである。

図表 1.3 調査サンプルと国全体の年齢階級別分布

年齢階級	2020 年調査サンプル	国全体
18-24	7.2%	15.7%
25-34	16.6%	18.0%
35-44	23.2%	23.7%
45-54	28.0%	21.8%
55-64	25.1%	20.9%

注) 国全体の分布は、総務省統計局「国勢調査結果」「人口推計」によるものであり、平成 27 年時点の数字である。なお、国全体の年齢階級では、18-24 歳の階級のみ 15-24 歳と異なっているが、その他の年齢階級については同じである。

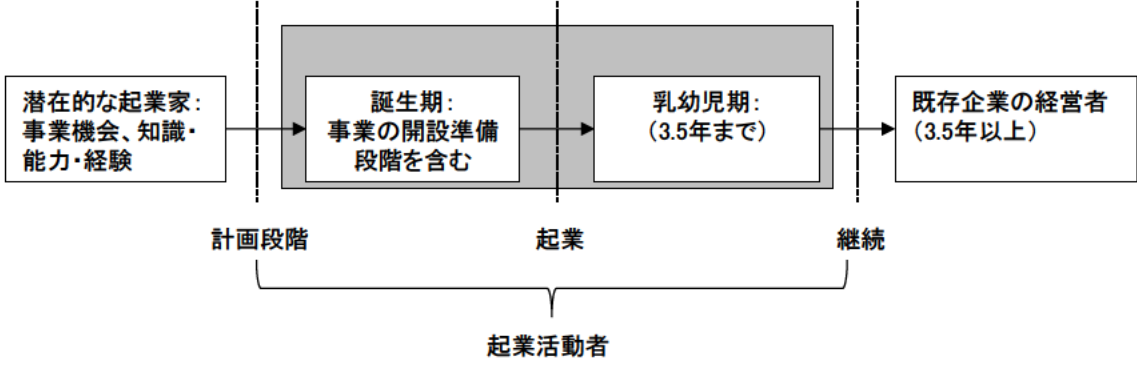
3. 総合起業活動指数 (TEA) とは

GEMの重要な目的の一つは、各国の起業活動の水準を比較するための信頼できる指標を作成することである。そこで、各国の起業活動の活発さをあらわす指標として「総合起業活動指数(Total Early-Stage Entrepreneurial Activity: TEA)」という尺度を開発した。この尺度は、「現在、1 人または複数で、何らかの自営業、物品の販売業、サービス業等を含む新しいビジネスをはじめようとしていますか」、「現在、1 人または複数で、雇用主のために通常の仕事の一環として、新しいビジネスや新しいベンチャーをはじめようとしていますか」、そして「現在、自営業、物品の販売業、サービス業等の会社のオーナーまたは共同経営者の1 人として経営に関与していますか」などの質問に基づき作成されている。

GEMでは、下記のように定義する「誕生期」と「乳幼児期」の合計を各国の起業活動者としており、これらの起業家が成人人口に占める割合(%)がTEAである(図表1.4)。

「誕生期」は、独立・社内を問わず、新しいビジネスを始めるための準備を行っており、かつまだ給与を受け取っていないまたは受け取っている場合その期間が3カ月未満である人、「乳幼児期」はすでに会社を所有している経営者で、当該事業からの報酬を受け取っている期間が3カ月以上3.5年未満の人と定義されている。

図表 1.4 起業活動の指標



第2章 起業活動の状況 (Activity ; 行動)

1. 総合起業活動指数 (TEA) と国家の経済力

GEM の研究によると、経済発展の段階が低い経済では企業への就職機会が少ないために起業する傾向が強いが (生計確立型起業)、経済発展に伴い起業活動が低下する。これは、開発が進むにつれて企業による雇用創出が増える結果と考えられる。そしてさらに経済が発展すると生活のためというよりも事業機会を活かすために起業する傾向が強くなる (事業機会型起業)。経済の発展段階によって起業活動の質は異なる。

そこで、分析に当たっては、経済の発展段階を勘案するために、要素主導型経済 (Factor-Driven Economies : 6 カ国)、効率主導型経済 (Efficiency-Driven Economies : 7 カ国)、イノベーション主導型経済 (Innovation-Driven Economies : 31 カ国) の3つの経済圏に分類した¹ (図表 2.1)。

図表 2.2 は調査対象国の総合起業活動指数 (以下、TEA) をみたものである。日本の TEA は 6.5 となっており、昨年の 5.4 から大幅上昇となった。44 カ国中で、日本よりも低い国は、イタリアなどの7か国である。

図表 2.3 は経済圏ごとに TEA をプロットし直したものである。経済圏ごとの TEA の平均値は、要素主導型経済 21.5 (2019 年 11.2、2018 年 18.0、2017 年 16.4、2016 年 16.8、2015 年 21.4、2014 年 23.3、2013 年 21.1、2012 年 23.7)、効率主導型経済 18.4 (2019 年 14.9、2018 年 16.2、2017 年 14.9、2016 年 14.2、2015 年 14.7、2014 年 13.0、2013 年 14.4、2012 年 13.1)、イノベーション主導型経済 12.0 (2019 年 12.3、2018 年 10.1、2017 年 9.2、2016 年 8.9、2015 年 8.3、2014 年 8.5、2013 年 7.9、2012 年 7.1) であり、経済発展の段階が低い方が起業活動の水準は高いという傾向がみられる。

図表 2.4 は横軸に各国の1人あたり GDP (経済発展の段階を示す) を、縦軸に TEA をプロットして描いたものである。近似曲線からは、TEA は経済発展の低い段階では高いが、経済が発展するに伴い低下する傾向はわずかであるものの、読み取ることはできる。また、日本はこの近似曲線上にある。

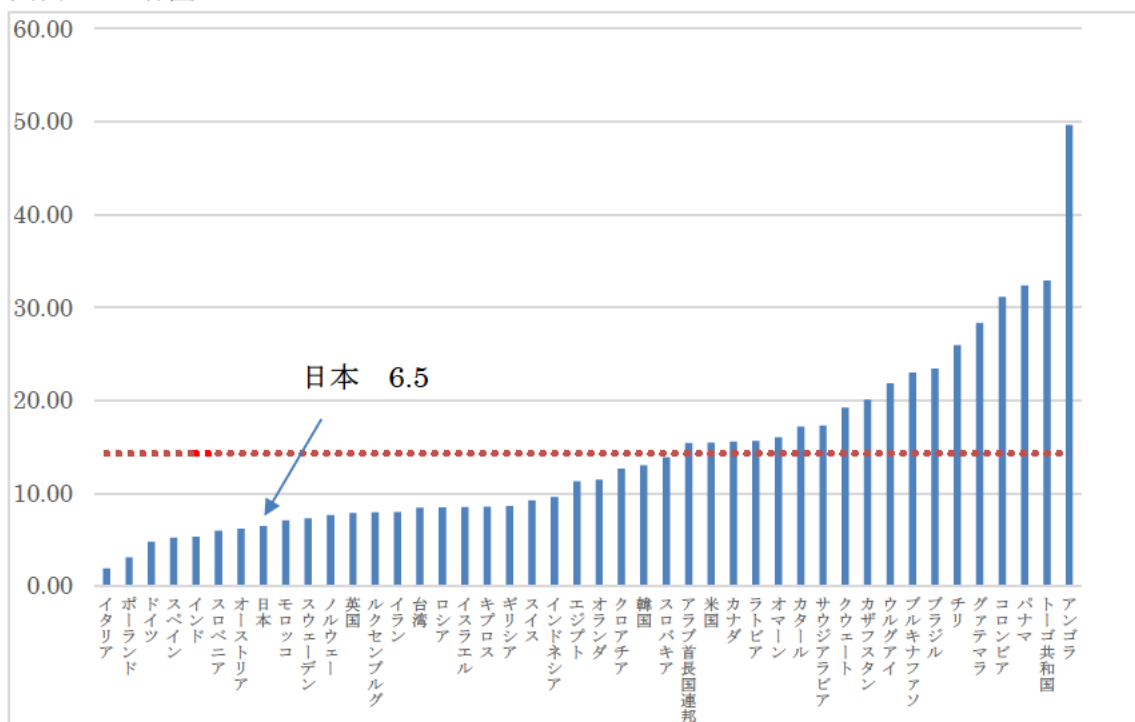
図表 2.5 は米国、フランス、イタリア、イギリス、ドイツ、日本、中国の7カ国 (以下「主要7カ国」) について 2001 年から時系列で比較したものである (ドイツは 2007 年、イタリアは 2011 年、中国は 2001 年、2004 年、2008 年、2020 年、フランスは 2014 年、2019 年、2020 年の調査に参加していない)。米国は引き続き高いものの、2020 年調査では日本が躍進したこともあり、米国の次に、イギリス、日本、ドイツのグループがあり、イタリアが最も低いという構造になっている。

¹ この分類は、Schwab, Klaus, ed. (2013) *The World Competitiveness Report 2013-2014*, Geneva, World Economic Forum による。なお、同レポートにおいて要素主導型から効率主導型、効率主導型からイノベーション主導型への移行段階にあるとされている国々については、GEM の *Global Entrepreneurship Monitor 2015 Global Report* と同様、それぞれ要素主導型、効率主導型に分類している。

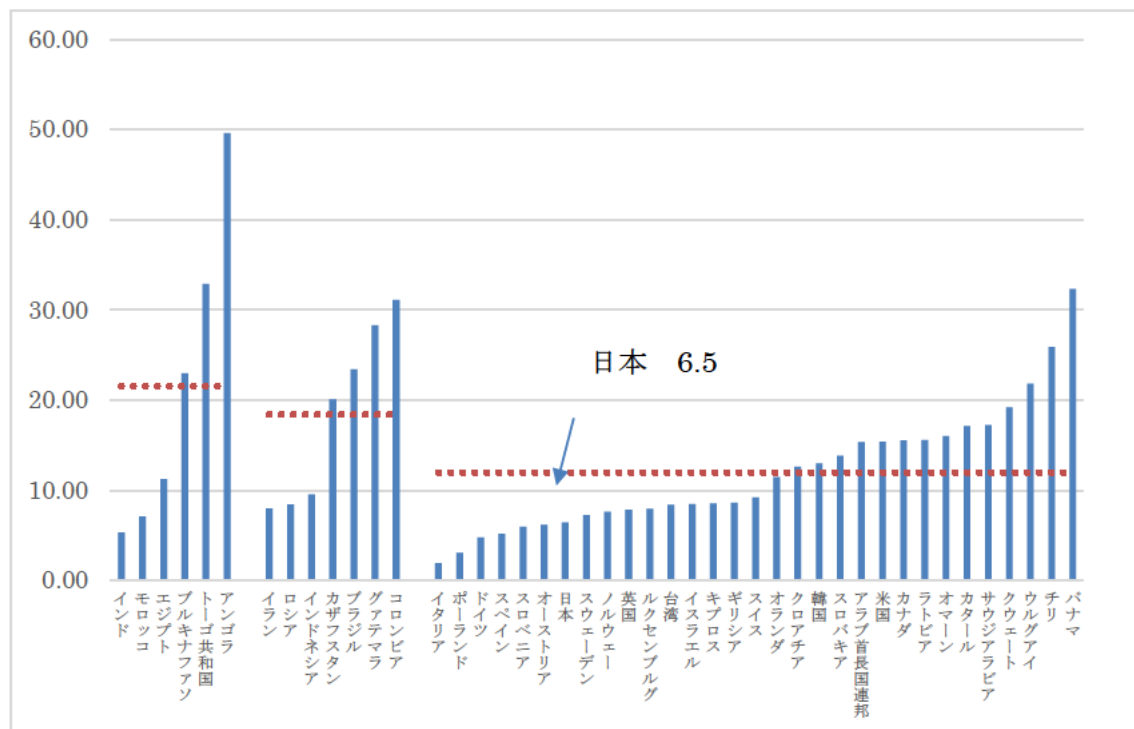
図表 2.1 調査参加国

	要素主導型経済 (6 개국)	効率主導型経済 (7 개국)	イノベーション主導型経済 (31 개국)
中南米・カリブ(6 개국)		ブラジル、コロン ビア、グアテマラ	チリ、パナマ、ウルグアイ
中近東・アフリカ(12 개국)	エジプト、モロッコ、ブル キナファソ、トーゴ共和 国、アンゴラ	イラン	イスラエル、オマーン、カタ ール、サウジアラビア、アラ ブ首長国連邦、クウェート
アジア・オセアニア(6 개국)	インド	インドネシア、カ ザフスタン	日本、台湾、韓国
ヨーロッパ・北米(20 개국)		ロシア	イタリア、オーストリア、ポ ーランド、スペイン、ドイツ、 スロベニア、ギリシア、スウ エーデン、ノルウェー、英 国、スイス、ルクセンブル グ、オランダ、クロアチア、 キプロス、スロバキア、ラト ビア、米国、カナダ

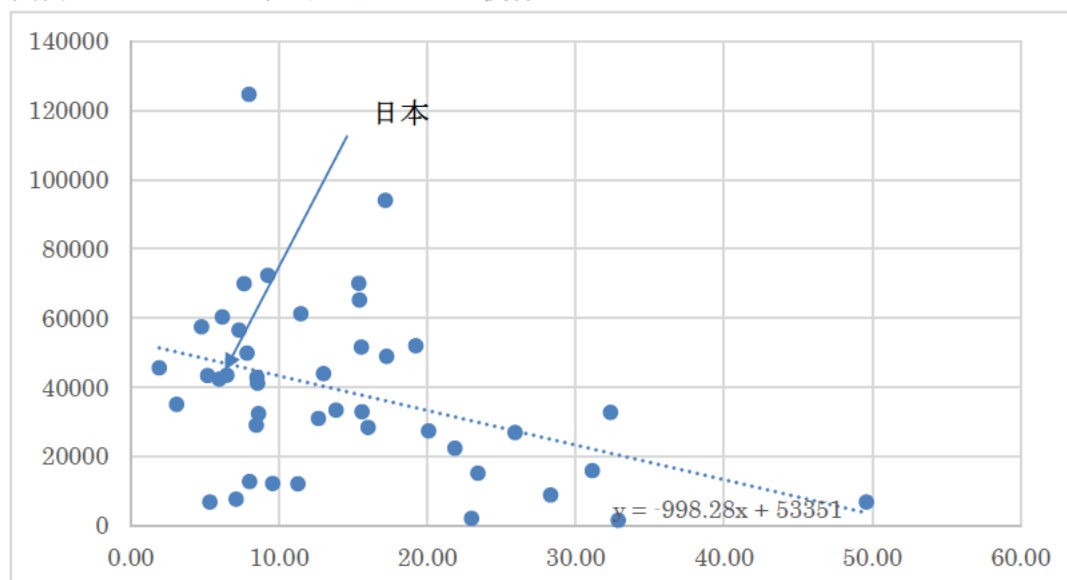
図表 2.2 各国の TEA



図表 2.3 経済圏別各国の TEA



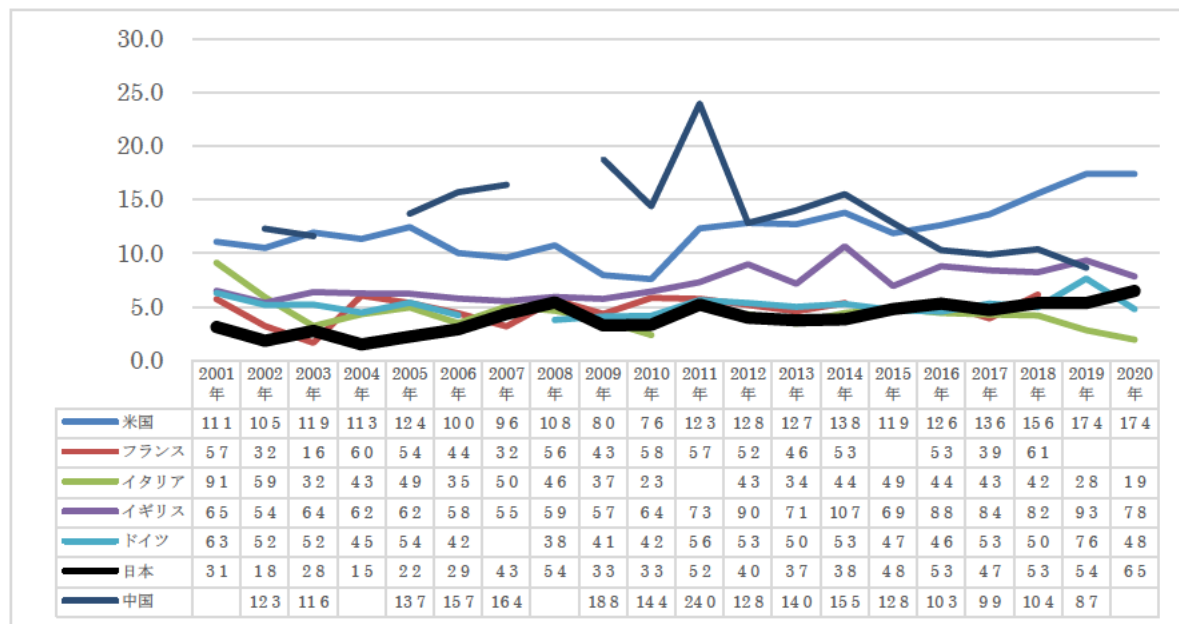
図表 2.4 TEA と 1 人あたり GDP の関係



資料 : IMF World Economic Outlook 2020

注) 横軸は TEA, 縦軸は一人当たりの GDP (2019 年) を US ドル単位で示している。

図表 2.5 主要7か国の TEA の推移



2. 事業機会型起業家と生計確立型起業家

※2019年調査からは、事業機会型と生計確立型の分類を行わなくなった。ここでは参考として2018年調査の記述を掲載する※

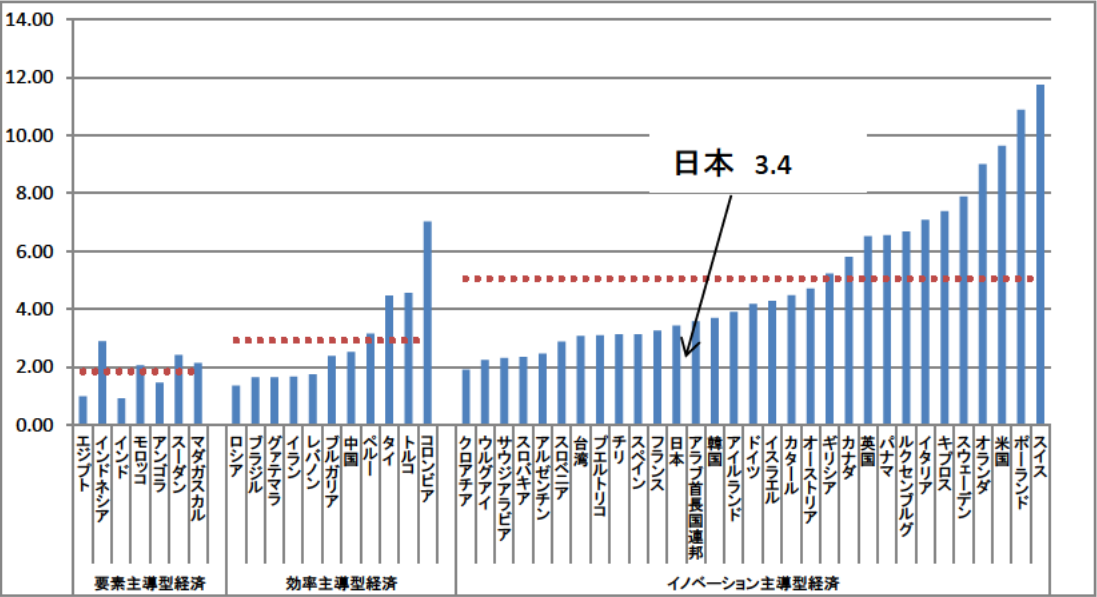
起業活動の動機は多様だが、GEMでは事業機会を追求するために起業するタイプ（事業機会型起業家）と起業以外に選択肢がなく、必要に迫られて起業するタイプ（生計確立型起業家）に区分している²。調査回答者総数に占める事業機会型起業家、生計確立型起業家の割合をそれぞれ事業機会型起業活動率、生計確立型起業活動率とし、生計確立型起業活動率に対する事業機会型起業活動率の比率を図表2.6に経済圏別に表した。この数値が高い（低い）ほど、事業機会型起業家（生計確立型起業家）が相対的に多く、この値が1であれば事業機会型起業家と生計確立型起業家が同数ということになる。

経済圏別の平均をみると、要素主導型経済では1.9倍（2017年3.5倍、2016年2.1倍、2015年2.5倍、2014年2.6倍、2013年2.9倍、2012年1.9倍）、効率主導型経済では2.9倍（2017年3.6倍、2016年3.6倍、2015年2.8倍、2014年3.3倍、2013年3.0倍、2012年3.2倍）であり、イノベーション主導型経済の5.1倍（2017年5.3倍、2016年5.6倍、2015年4.9倍、2014年5.9倍、2013年5.9倍、2012年5.5倍）を下回る。要素主導型や効率主導型経済では、イノベーション主導型経済と比べて相対的に生計確立型起業家が多いという傾向は今年度調査でも観察された。

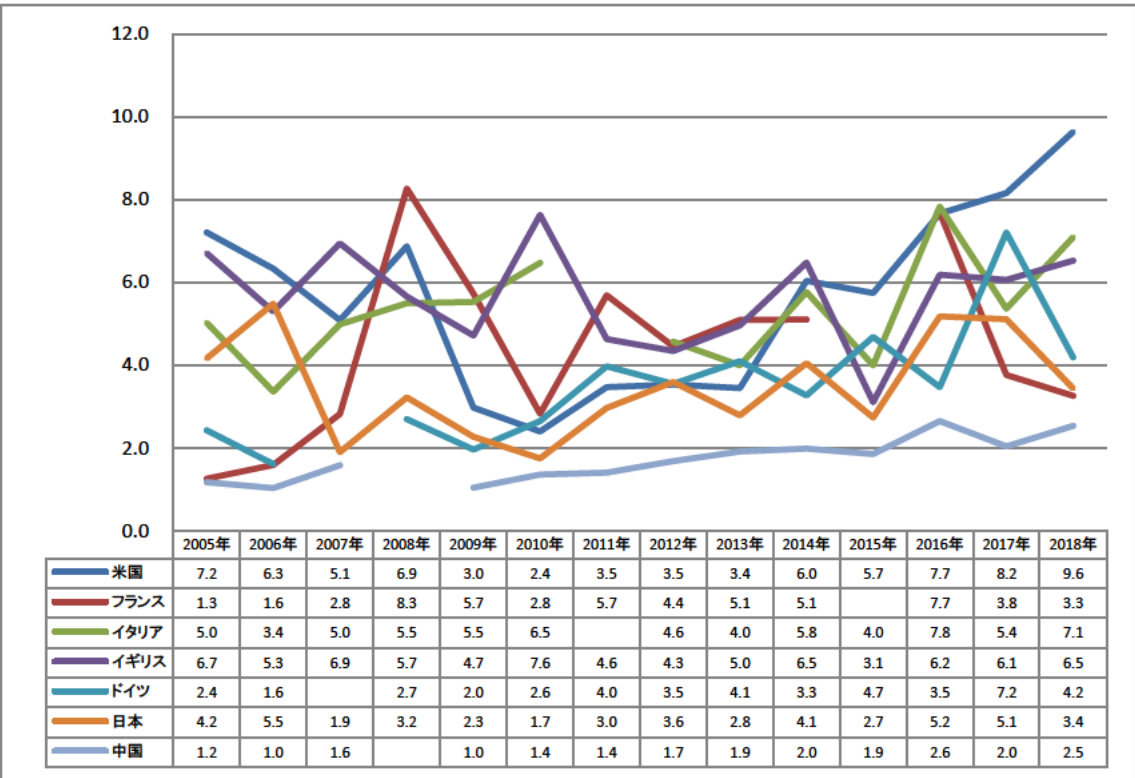
図表2.7は主要7カ国の推移を示したものである。日本については、主要7カ国の間では、中国、フランスに次いで低く、相対的に生計確立型起業家が多いことを示している。

² 「このビジネスの立ち上げに関わっているのは、ビジネスチャンスを生かすためですか。それとも仕事に関してこれより良い選択肢がないからですか。」という質問に対して「ビジネスチャンスを生かすため」と回答したものを事業機会型起業家、「仕事に関してこれより良い選択肢がない」と回答したものを生計確立型起業家とした。

図表 2.6 事業機会型 TEA/生計確立型 TEA (倍率)



図表 2.7 事業機会型 TEA/生計確立型 TEA (倍率) の推移



3. 男女別の起業活動の状況

図表 2.8 は女性の TEA に対する男性の TEA の比率（男性 TEA 比率）を表したものである。この比率が 1 のときは男性と女性の起業家数が同じであることを、1 より小さいときは女性の起業家が男性のそれを上回ることを示す。

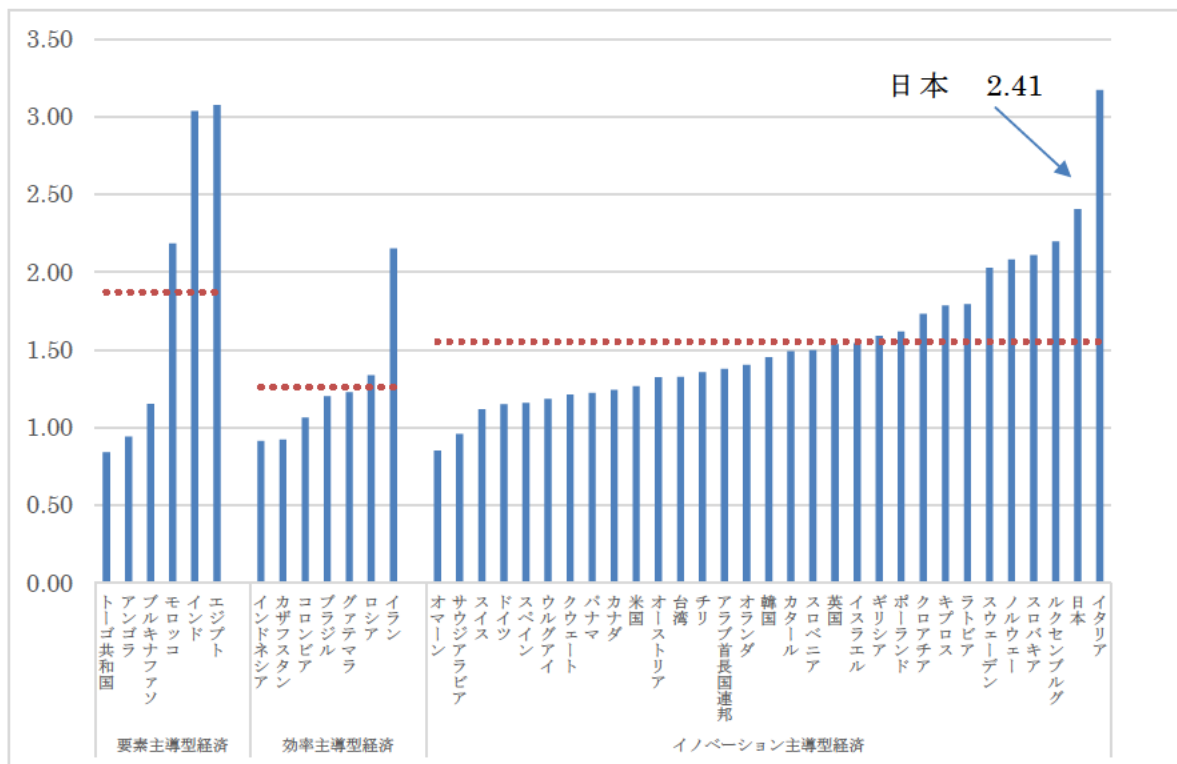
従来の傾向どおり、2020 年もほとんどの国の男性 TEA 比率は 1 を上回る。男性 TEA 比率が 1 を下回っている国は、トーゴ共和国、アンゴラ、インドネシア、カザフスタン、オマーン、サウジアラビアの 6 か国である。

経済圏別にみると、要素主導型経済、効率主導型経済、そしてイノベーション主導型経済になるにつれて、男性の起業活動水準が女性と比べて相対的に高くなる傾向は最近維持されていたが、2019 年と同様に、要素主導型経済と、他の効率主導型経済とイノベーション主導経済の 2 つのグループの間にこのような傾向が見られるにとどまった。

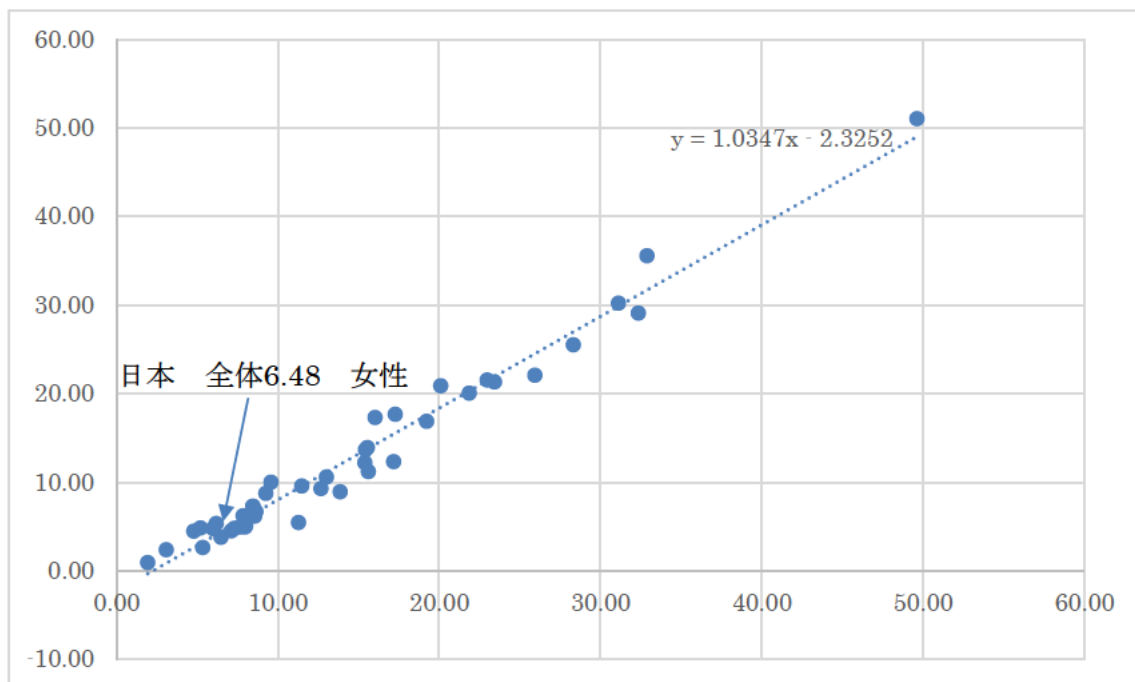
図表 2.9 では、縦軸に国全体の（男女合計の）TEA、横軸に女性の TEA をとり、両者の関係をみている。この図表からは、国全体の TEA が高いほど、女性の TEA が高くなる傾向が読み取れる。もしくは女性の TEA が高くなると、国全体の TEA も高い。

図表 2.10 は米国、ドイツ、英国、そして日本における男女別の TEA の推移を示したものである。ほぼすべての年において女性の TEA は男性と比べて低いことが確認できる。

図表 2.8 男性の TEA/女性の TEA

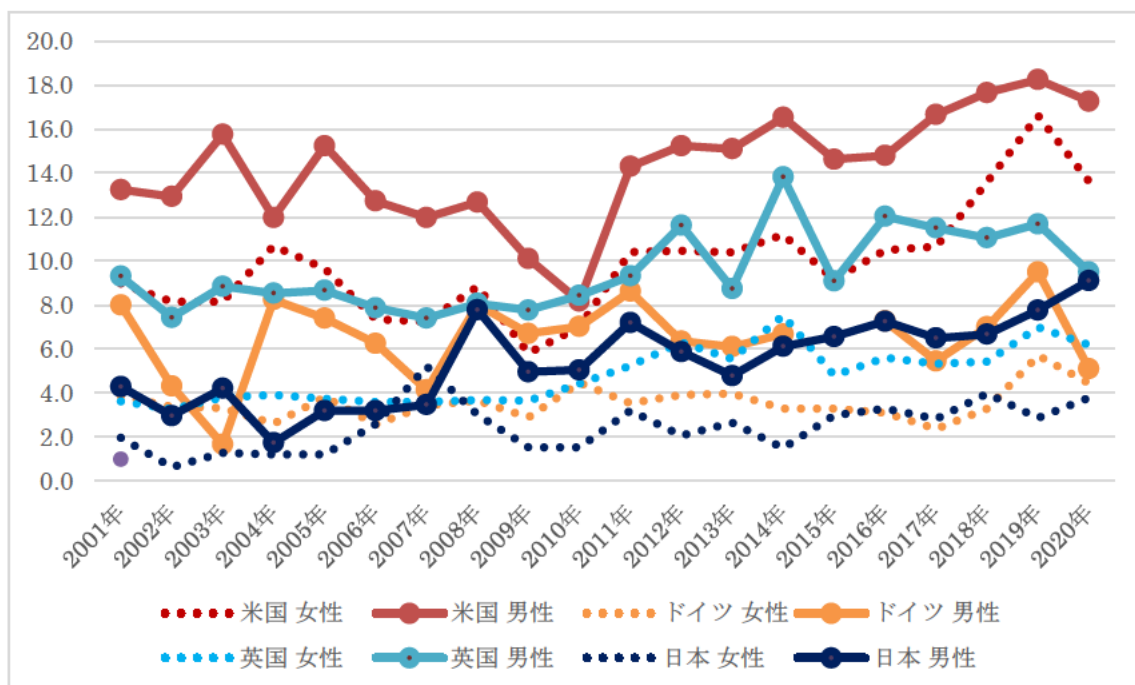


図表 2.9 国全体の TEA と女性 TEA の関係



注) 横軸が女性の TEA であり、縦軸が国全体の TEA を取っている。

図表 2.10 性別 TEA の推移



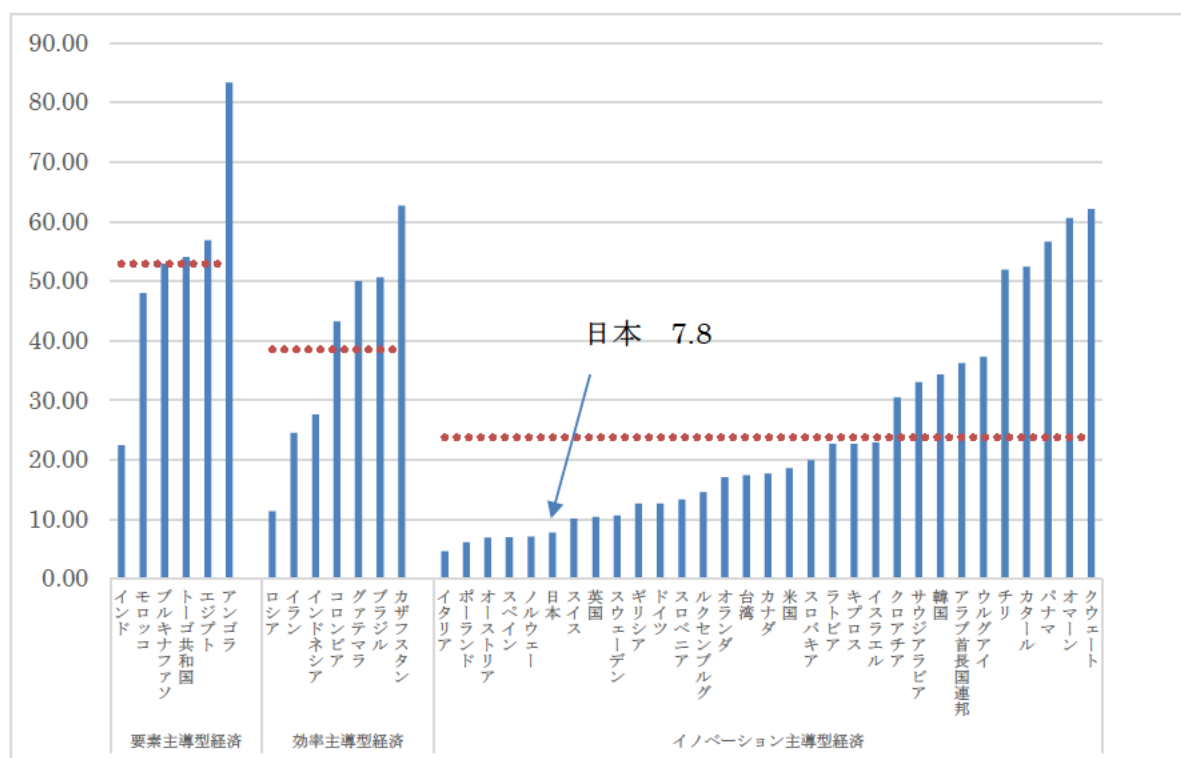
注) 実線が男性 TEA、破線が女性 TEA である。国の違いは色で示している。

4. 将来の起業計画

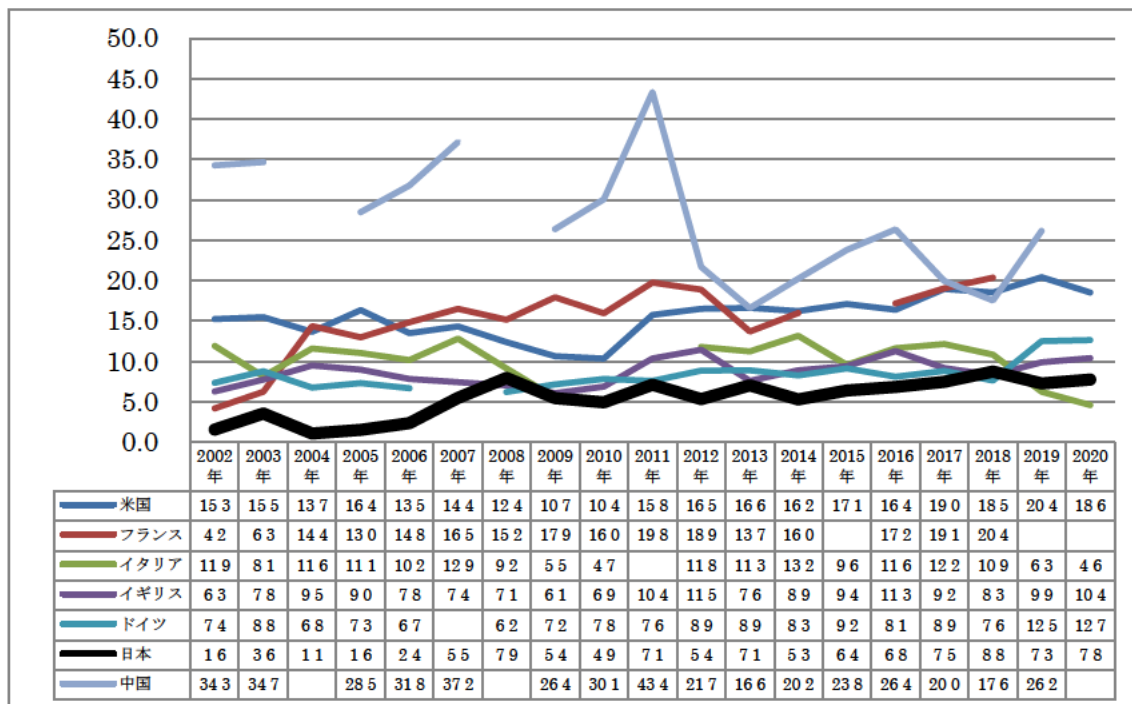
GEMでは、現在の起業活動だけでなく、将来の計画についても尋ねている。図表2.11には「今後3年以内に、1人または複数で、自営業・個人事業を含む、新しいビジネスを計画している」成人人口の割合（起業計画率）が示されている。経済圏別にみると要素主導型経済が平均52.9（2019年42.5、2018年48.7、2017年35.7、2016年35.2、2015年43.3、2014年43.2、2013年46.5、2012年48.9）、効率主導型経済が平均38.6（2019年30.3、2018年31.7、2017年30.1、2016年29.8、2015年28.7、2014年25.2、2013年28.3、2012年29.0）、イノベーション主導型経済が平均23.8（2019年24.4、2018年22.1、2017年18.1、2016年18.1、2015年13.9、2014年14.8、2013年14.4、2012年12.7）となっており、経済発展の段階の低い方が高い。

図表2.12は、将来の起業計画についての主要7カ国の推移である。日本の起業計画率は、2014年に落ち込んだが、2015年はやや回復、2016年はさらに上昇し、2017年は7.5まで回復し、2018年は8.8と過去最高の水準となった。2019年は7.3とやや低下し、2020年は7.8に回復した。

図表 2.11 将来の起業計画



図表 2.12 将来の起業計画の推移



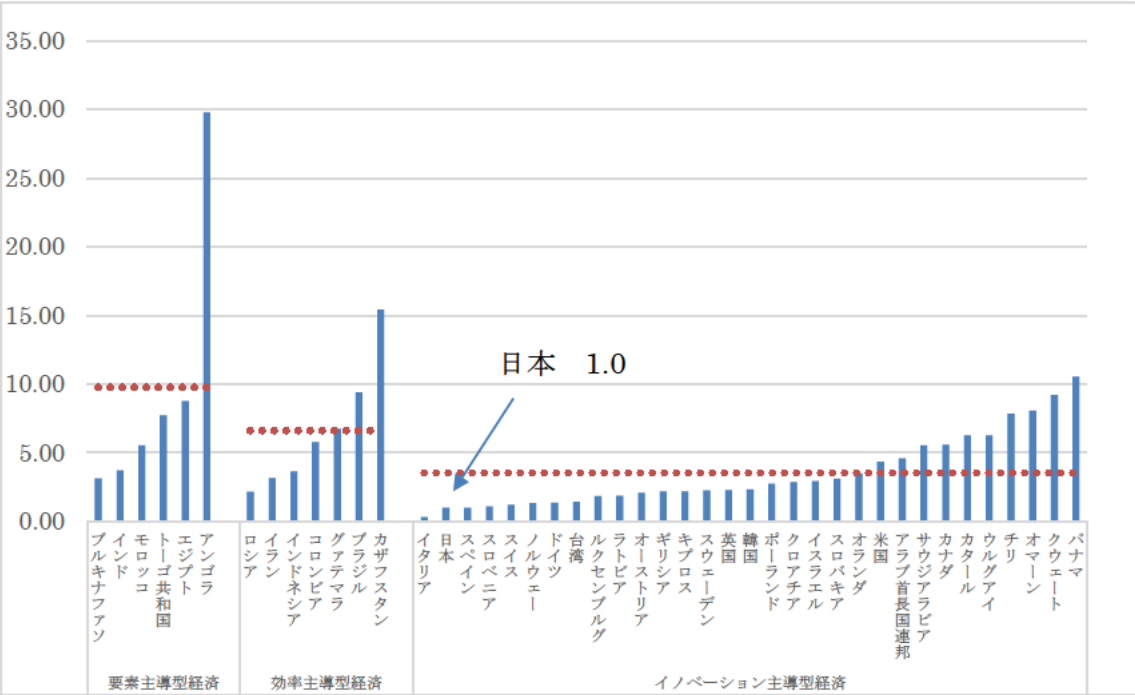
5. 休業・廃業

GEMでは、事業の休業・廃業についても調査している。図表2.13には「過去12カ月以内に、所有、経営していた何らかの自営業、物品の販売業、サービス業を休業または廃業しましたか」という質問を基に、休業または廃業したという成人人口の割合（休業・廃業率）を経済圏別に示した。

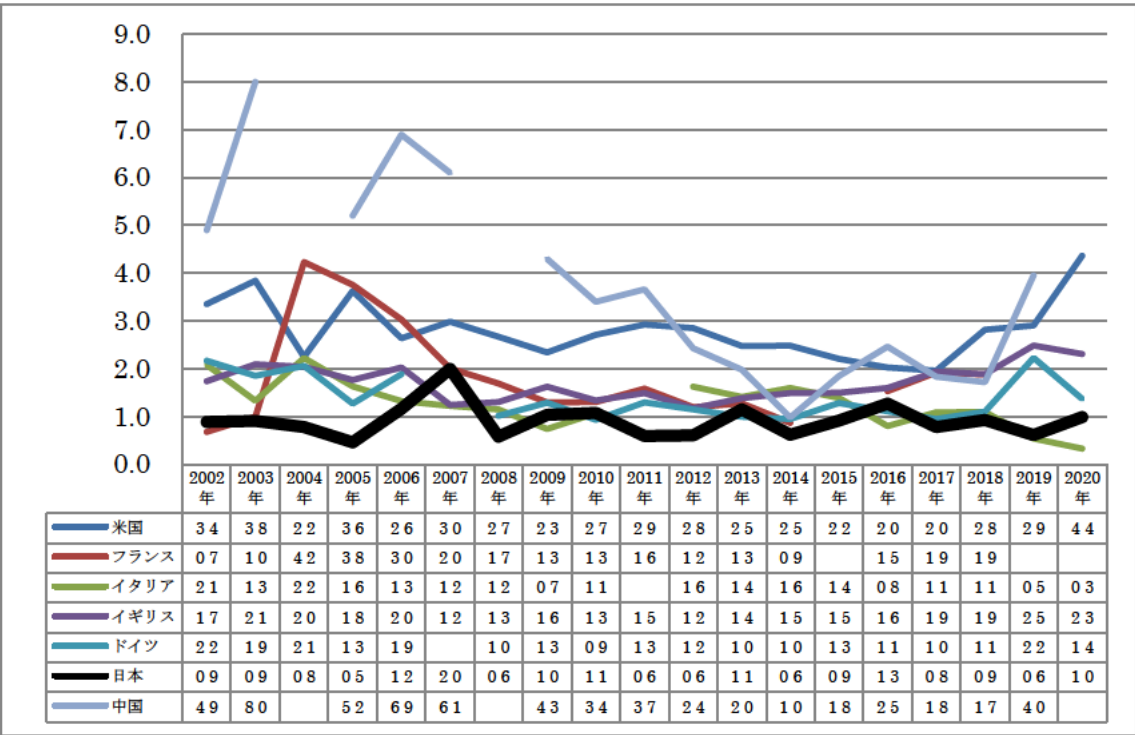
各経済圏の平均値は、要素主導型経済が9.8、効率主導型経済6.6と、イノベーション主導型経済（3.5）を上回る。TEAと休業・廃業率は正の相関を示しており、要素主導型経済や効率主導型経済ではTEAが高く参入が活発であるが、休業・廃業も多いといえる。

図表2.14の主要7カ国の推移をみると、日本は引き続き低い水準であるが、最近では起業活動が低迷しているイタリアの休業・廃業率が低い。

図表 2.13 休業・廃業



図表 2.14 休業・廃業の推移



第3章 起業活動を取り巻く環境（Attitude；態度）

1. 起業活動の社会への浸透

起業活動が活発な国・地域か、そうでないかを探るための指標の一つとして、起業家や起業家精神の社会への浸透度が考えられる。社会学の制度理論によると、起業家が社会的に認知され、起業家というキャリアの選択や起業活動それ自体が正当化されていれば、それらの存在が当然のことだと思われるようになり、結果として、起業活動が活発化する。

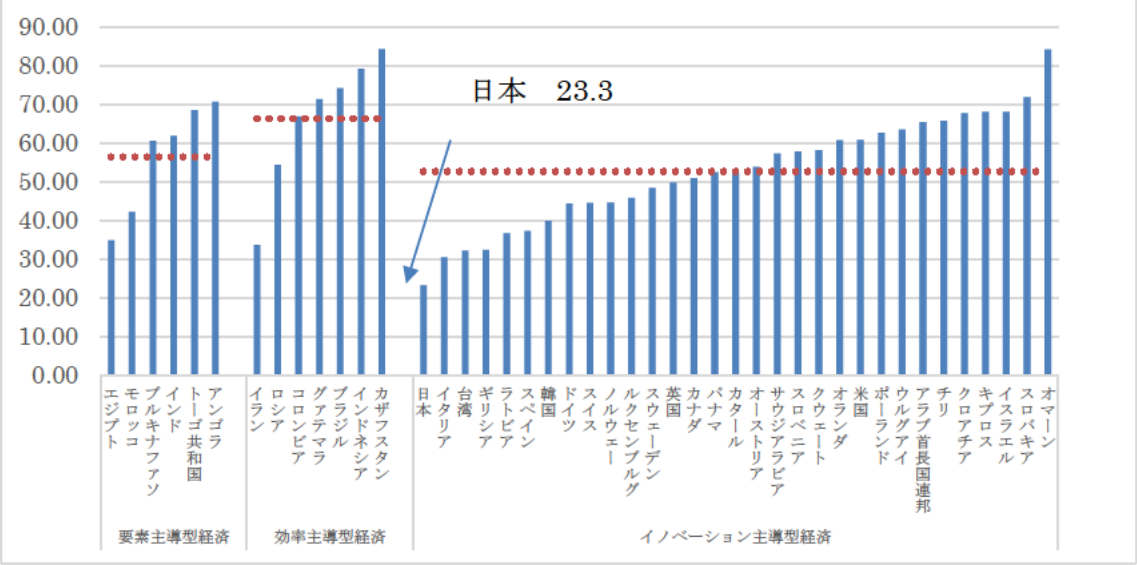
加えて、本質問項目は起業家ネットワークの存在についても参考になる。多くの研究が指摘するように、起業のプロセスにおいて起業家を取り巻くネットワークが重要な役割を果たす。GEM では起業家の社会への浸透やネットワークの存在、さらにロールモデルとしての存在を知るために「過去2年間に、新しく事業を始めた人を個人的に知っていますか」という質問をした。図表 3.1 は、新しく事業を始めた人を個人的に知っているとする成人人口の割合（起業活動浸透（ロールモデル）指数）である。

経済圏別に起業活動浸透（ロールモデル）指数をみると、要素主導型経済の平均は 56.5（2019 年 52.7、2018 年 45.5、2017 年 49.3、2016 年 51.3、2015 年 55.4、2014 年 49.6、2013 年 56.4、2012 年 56.4）、効率主導型経済が 66.3（2019 年 53.1、2018 年 40.0、2017 年 42.0、2016 年 40.9、2015 年 39.6、2014 年 39.8、2013 年 38.9、2012 年 36.3）、イノベーション主導型経済が 52.7（2019 年 53.2、2018 年 37.0、2017 年 35.6、2016 年 34.5、2015 年 32.6、2014 年 31.6、2013 年 29.7、2012 年 30.9）となっており、2020 年調査では、効率主導型経済で最も高くなっている。

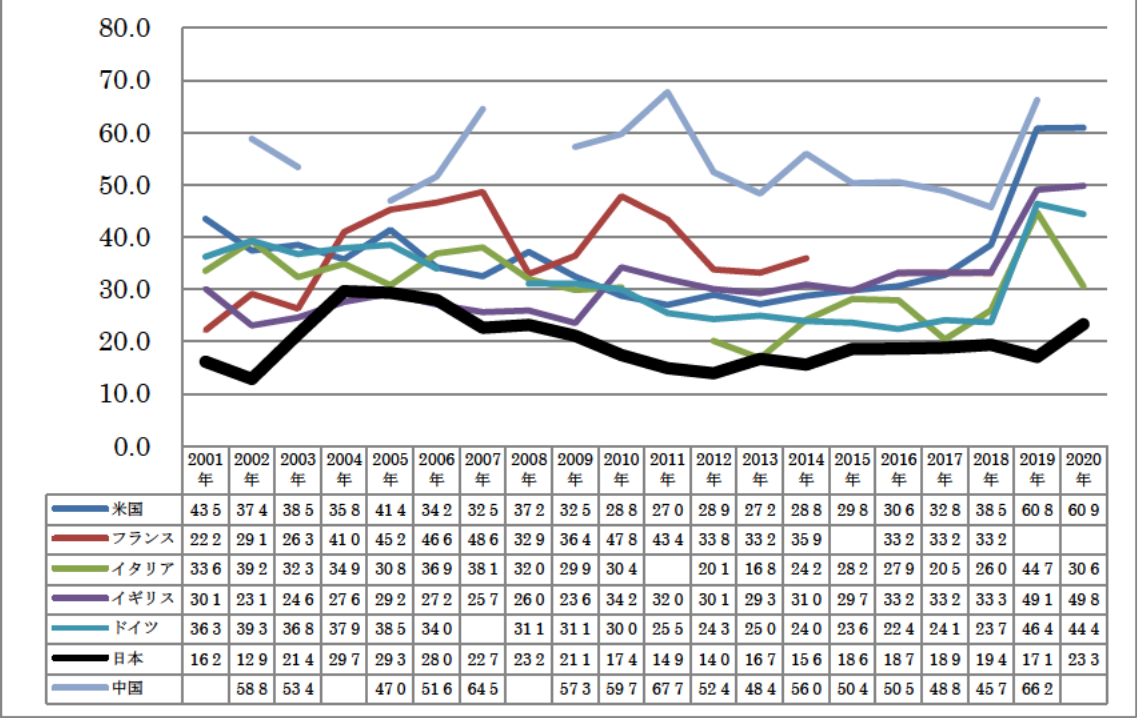
イノベーション主導型経済のなかで最も高いのはオマーン（84.2）であり、次いでスロバキア（71.9）が続く。日本は 23.3 とイノベーション主導型経済の中では最も低い。この設問には、「個人的に知っているか」という条件が付いており、メディアを通して知っているだけではイエスという回答にならないことに留意したい。

図表 3.2 をみると、日本の起業活動浸透（ロールモデル）指数は、2005 年以降ほぼ一貫して低下した後、2013 年にはやや上昇、2014 年にはやや低下、2015 年調査では再び微増し、2016 年、そして 2017 年はその傾向を維持した。2018 年もわずかであるが前年に比べて上昇したものの、2019 年は再び低下した。しかしながら、2020 年は 2009 年調査以来の 20 年に回復した。

図表 3.1 起業活動の浸透（ロールモデル指数）



図表 3.2 起業活動の浸透（ロールモデル指数）の推移



2. 失敗に対する恐れ

図表 3.3 は、「失敗することに対する怖れがあり、起業を躊躇している」という成人人口の割合（失敗脅威指数）をみたものである。経済圏別の平均は、要素主導型経済では 41.3

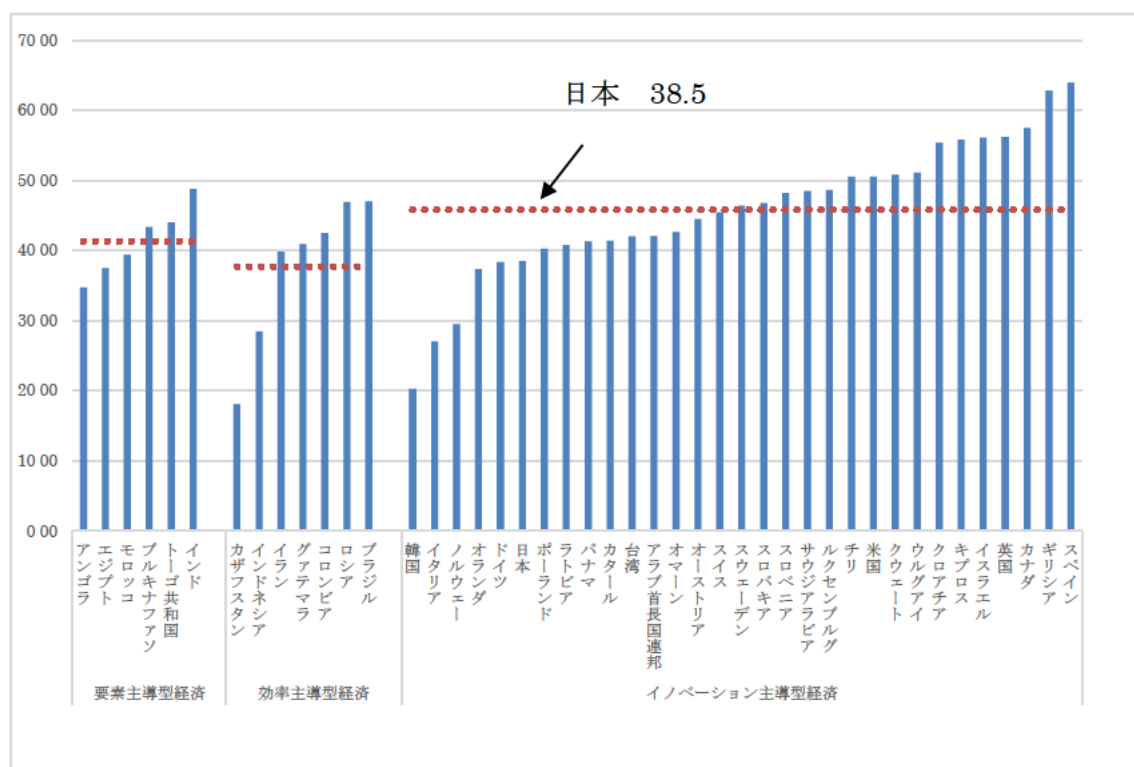
(2019 年 47.4、2018 年 35.9、2017 年 37.3、2016 年 33.2、2015 年 33.1、2014 年 32.3、2013 年 30.9、2012 年 27.8)、効率主導型経済では 37.7 (2019 年 44.6、2018 年 40.7、2017 年 39.1、2016 年 38.6、2015 年 38.1、2014 年 35.5、2013 年 38.4、2012 年 36.6)、イノベーション主導型経済では 45.8 (2019 年 42.6、2018 年 40.4、2017 年 43.2、2016 年 43.5、2015 年 43.2、2014 年 42.1、2013 年 43.2、2012 年 44.5)と、イノベーション主導型経済では、失敗に対する怖れによって起業を躊躇している成人人口の割合が高くなっている。昨年度とは反対の結果となった。

イノベーション主導型経済についてみると、最近では、ギリシャが再び上昇して 62.8 となった (2019 年 46.7、2018 年 68.0、2017 年 70.2、2016 年 70.2、2015 年 64.2、2014 年 70.6、2013 年 69.1)。

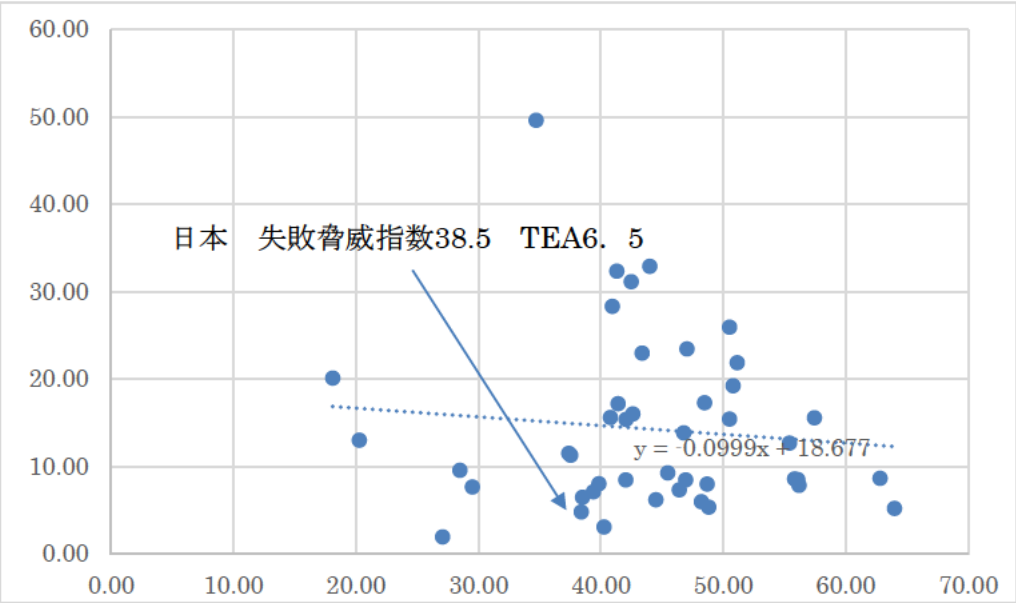
図表 3.4 からは、失敗脅威指数と TEA の関係性はほとんど読み取れなくなったことが確認できる。

失敗脅威指数の推移を示した図表 3.5 によると、2020 年は米国と英国で上昇したことが (リスクに不寛容になっている傾向が見られたことが)、特徴の一つである。

図表 3.3 失敗に対する恐れ (失敗脅威指数)

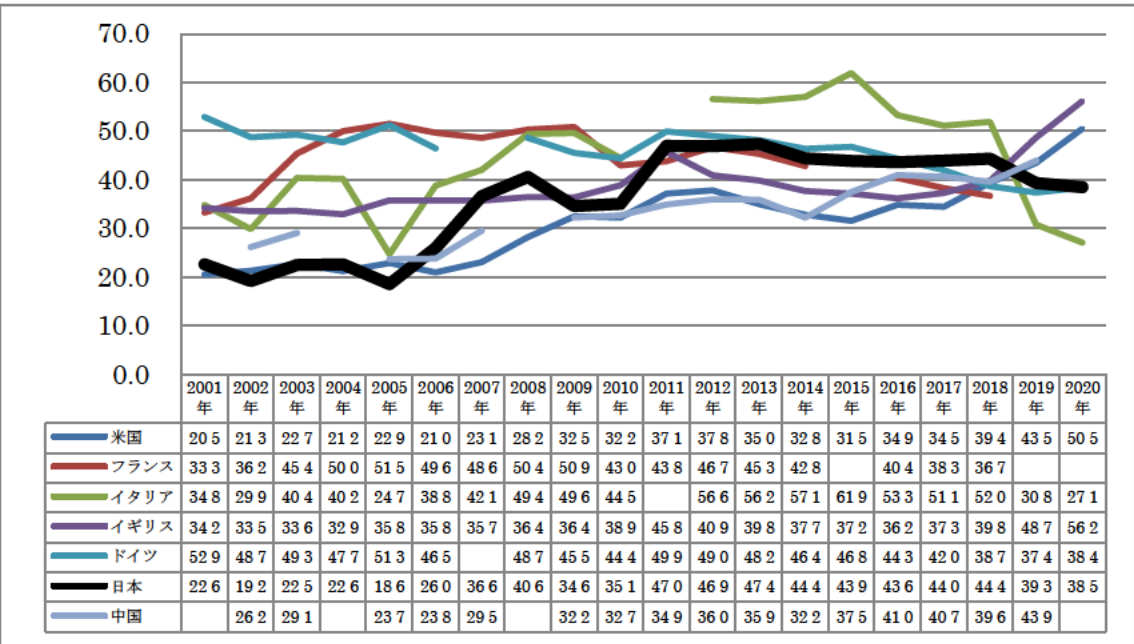


図表 3.4 TEA と失敗脅威指数との関係



注) 縦軸が失敗脅威指数、横軸が TEA である。

図表 3.5 失敗脅威指数の推移



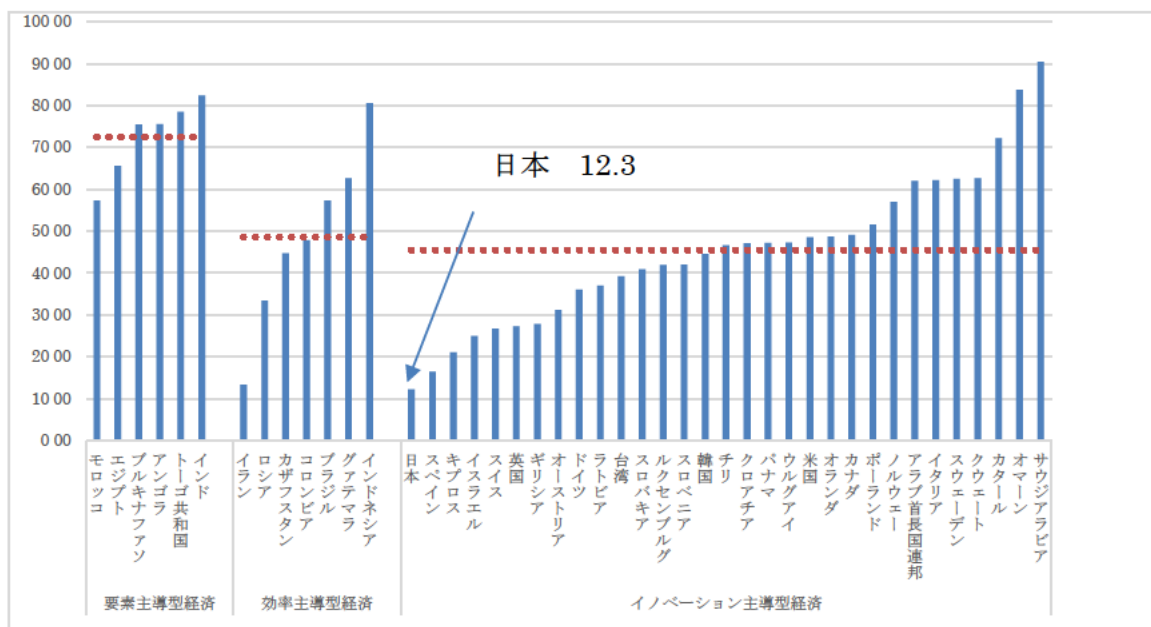
3. 事業機会の認識

起業活動とは、有望な事業機会を認識し、そのような事業機会を実現するために人材や資金などの経営資源を結集し、その結果として新しいビジネスの誕生に導くプロセスである。そこで、GEMでは「事業機会の認識」に関して、「今後6ヶ月以内に、自分が住む地域に起業に有利なチャンスが訪れると思いますか」を尋ねている。ここでは、このようなチャンスが訪れるとする成人人口の割合（事業機会認識指数）をみていく。

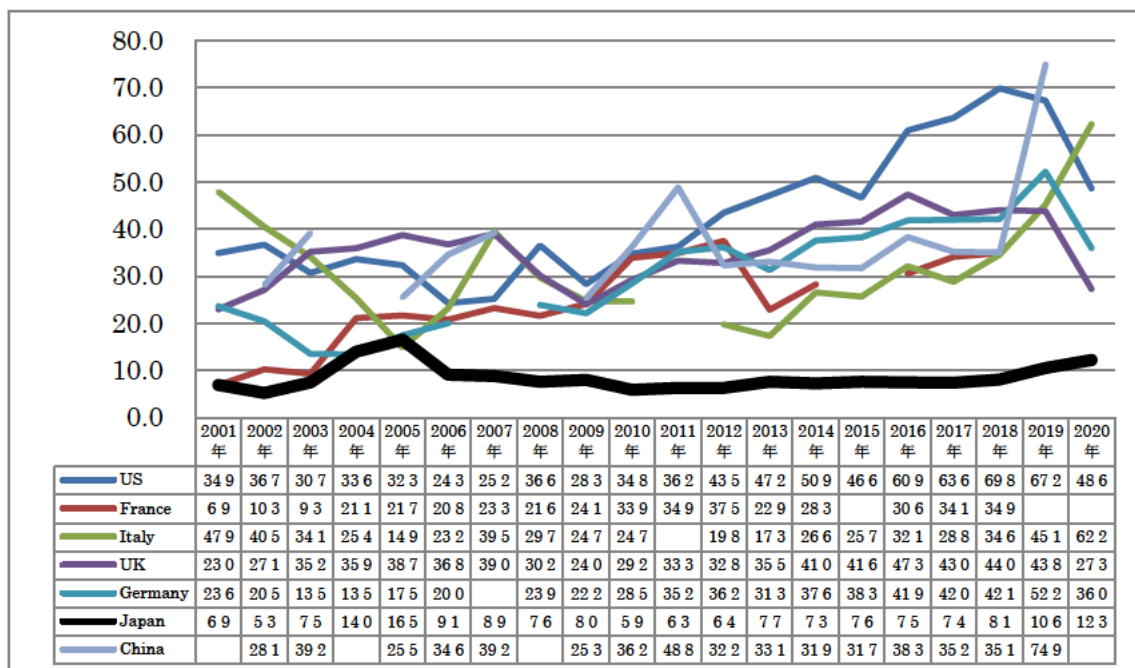
図表3.6で経済圏別に事業機会認識指数をみると、要素主導型経済では平均72.5（2019年64.7、2018年50.5、2017年41.5、2016年44.4、2015年53.8、2014年54.6、2013年60.8、2012年63.3）、効率主導型経済では48.6（2019年51.6、2018年39.6、2017年43.8、2016年42.4、2015年41.1、2014年42.4、2013年41.7、2012年41.5）、イノベーション主導型経済では45.5（2019年52.7、2018年46.6、2017年43.7、2016年40.1、2015年38.4、2014年38.8、2013年33.4、2012年32.1）となっており、2017年、2018年、2019年調査では、経済の発展段階との関連性は弱まったものの、2020年調査ではやや復活した。TEAとの相関係数（国レベルのデータによるもの。個票ベースではない）は、統計的にも1%水準で引き続き有意である。

図表3.7によると、日本の事業機会認識指数は2006年にひと桁に低下し、それ以降、ふた桁になることがなかったが、2019年ではかろうじてふた桁の10.6となり、2020年もその傾向が続いている。しかし、他の主要国と比べて低い水準が続いている。

図表 3.6 事業機会の認識



図表 3.7 事業機会認識指数の推移



4. 知識・能力・経験

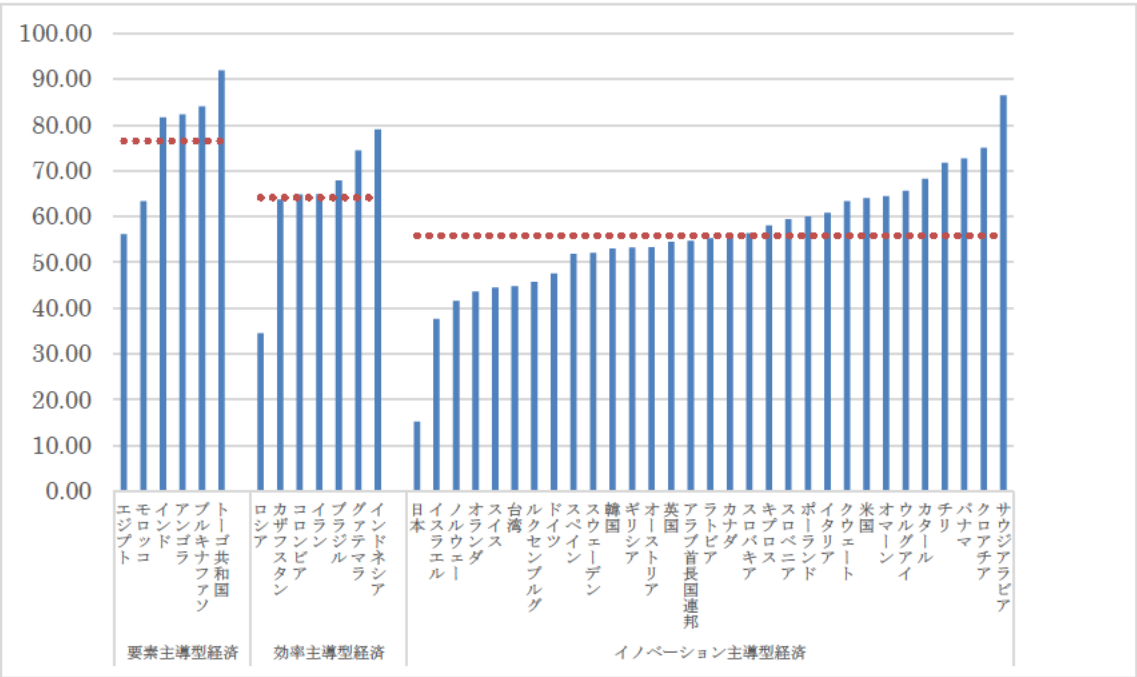
事業機会を実際のビジネスとして成立させるためには経営資源を調達し、事業のシステムを構築し、リーダーシップを発揮して組織を運営管理することが必要になる。したがって、起業に当たっては、事業機会を認識するだけでなく、それを実現するための知識・能力・経験が欠かせない。

GEMでは、知識・能力・経験の指標を作成するために「新しいビジネスを始めるために必要な知識、能力、経験を持っていますか」という質問を行っている。図表3.8はこれらを持っているとする成人人口の割合（知識・能力・経験指数）をみたものである。

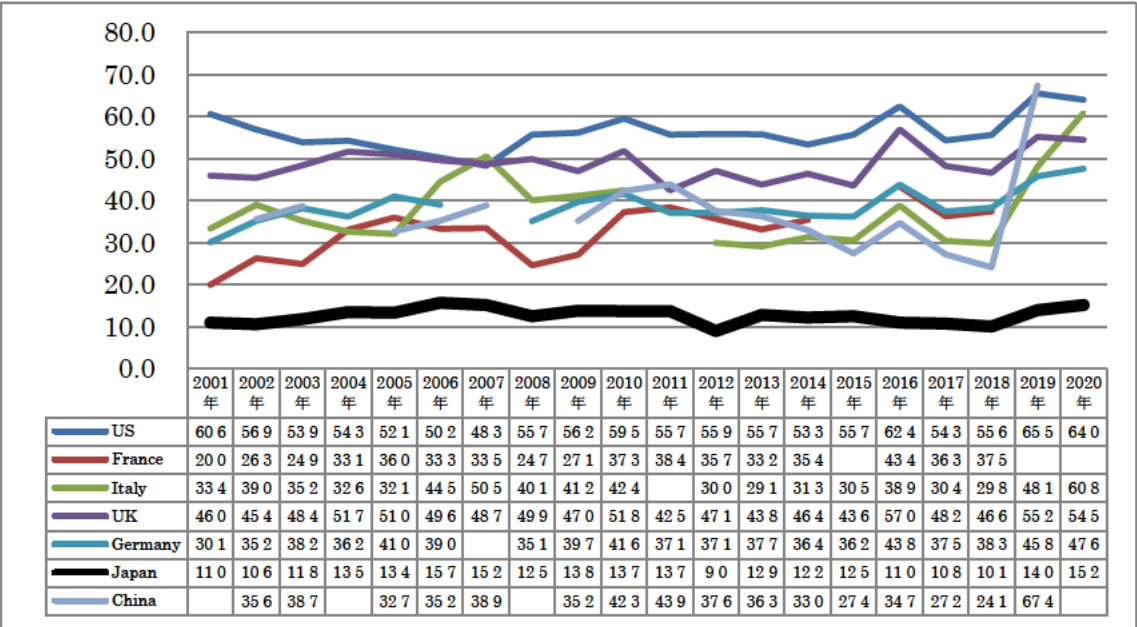
各経済圏の平均は、要素主導型経済では76.6（2019年70.3、2018年55.8、2017年53.8、2016年55.7、2015年65.8、2014年64.7、2013年68.7、2012年70.5）、効率主導型経済では64.2（2019年63.0、2018年52.3、2017年53.5、2016年54.5、2015年53.0、2014年54.9、2013年51.8、2012年52.4）、イノベーション主導型経済では55.8（2019年54.8、2018年45.4、2017年45.6、2016年42.6、2015年40.7、2014年42.0、2013年40.6、2012年38.3）である。TEAとの相関係数（国レベルのデータによるもの。個票ベースではない）は、最近では相関係数が0.5を上回り、統計的にも1%水準で有意である。

図表3.9からは、日本の知識・能力・経験指数は2001年以降一貫して他国を大きく下回ることには変化はないが、それでも最近2年間ではやや上昇傾向がみられる。

図表 3.8 知識・能力・経験



図表 3.9 知識・能力・経験指数の推移



5. 起業活動に対する評価

前述の制度理論を踏まえると、起業家や起業活動に対する社会からの評価が高いほど、起業活動が活発になると考えられる。そこで、GEMでは「起業家という職業に対する評価」「起業家の社会的な地位」「メディアによる起業家への注目」といった起業家や起業活動に対する社会的な評価について調査を行っている。

図表3.10は、起業家という職業の選択に関する結果であり、「あなたの国の多くの人たちは、新しいビジネスを始めることが望ましい職業の選択であると考えている」という記述に賛成する成人人口の割合を示している。経済圏別の平均は、要素主導型経済（79.3）、効率主導型経済（72.3）、イノベーション主導型経済（62.9）となっており、2020年に関しては経済発展段階ごとに数値は分かれ、経済段階に応じた変化が観察された。

この割合が最も高いのは、グアテマラの94.3である。

日本（22.7）は、すべての国の中で最も低い。また、イタリアの2019年の数値はやや異常値とも思われるものであることに留意しておきたい。設問の方法が2019年から変更になった影響かもしれないが、イタリアは（この設問に関しては）2020年調査を実施していないので確認には至っていない。

図表3.11は主要7カ国の推移を示したものである。2003年にこの質問が設けられて以来、2019年のイタリアの数値を無視すれば日本の水準は一貫して他国を大きく下回っており、2020年調査でも同じ結果となっている。

次に、起業家の社会的な地位に対する評価について、「あなたの国では、新しくビジネスを始めて成功した人は高い地位と尊敬をもつようになる」という記述に賛成する成人人口の割合をみていく。

図表3.12によると、この割合は要素主導型経済では82.5となっており、2015年、2016年、2017年、2018年、そして2019年と同様、イノベーション主導型経済（74.3）、効率主導型経済（79.3）を上回る。

イノベーション主導型経済では、日本は68.0と最下位ではないが、イノベーション主導型経済の平均である（74.3）を下回る。

時系列で主要7カ国の推移をみた図表3.13によると、ここではイタリアの2019年の数値は異常値のように見えるが、そのことを除けば、2008年以降、日本とそれ以外の国との差が開いたままで定着している。しかしながら、2019年では、調査以降初めて60の大台を超え、その傾向が2020年も維持されたことは明るい兆しの一つである。

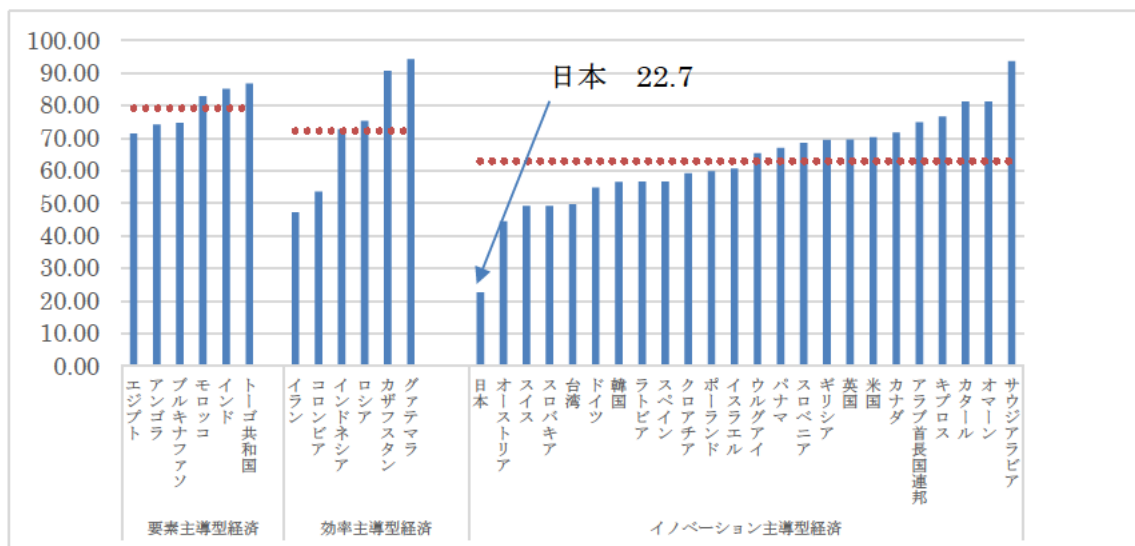
最後に、図表3.14には、「あなたの国で、あなたは新しいビジネスの成功物語について公共放送でしばしば目にする」という記述に賛成するという成人人口の割合を示している。

経済圏別の平均は、2020年は要素主導型経済が76.1と最も高く、効率主導型経済が66.8、イノベーション主導型経済67.6となっている。

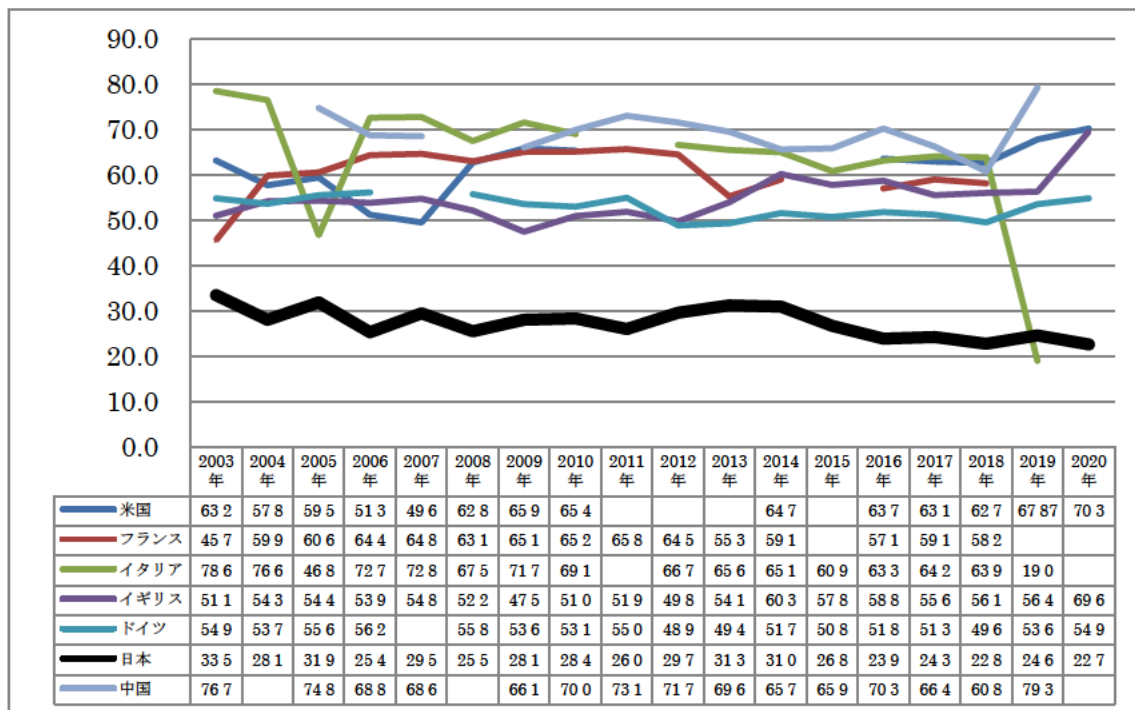
日本は61.1であり、イノベーション主導型経済の平均を下回っている。

図表3.15で時系列の推移をみると、日本ではおおむね50～60の間で推移している。

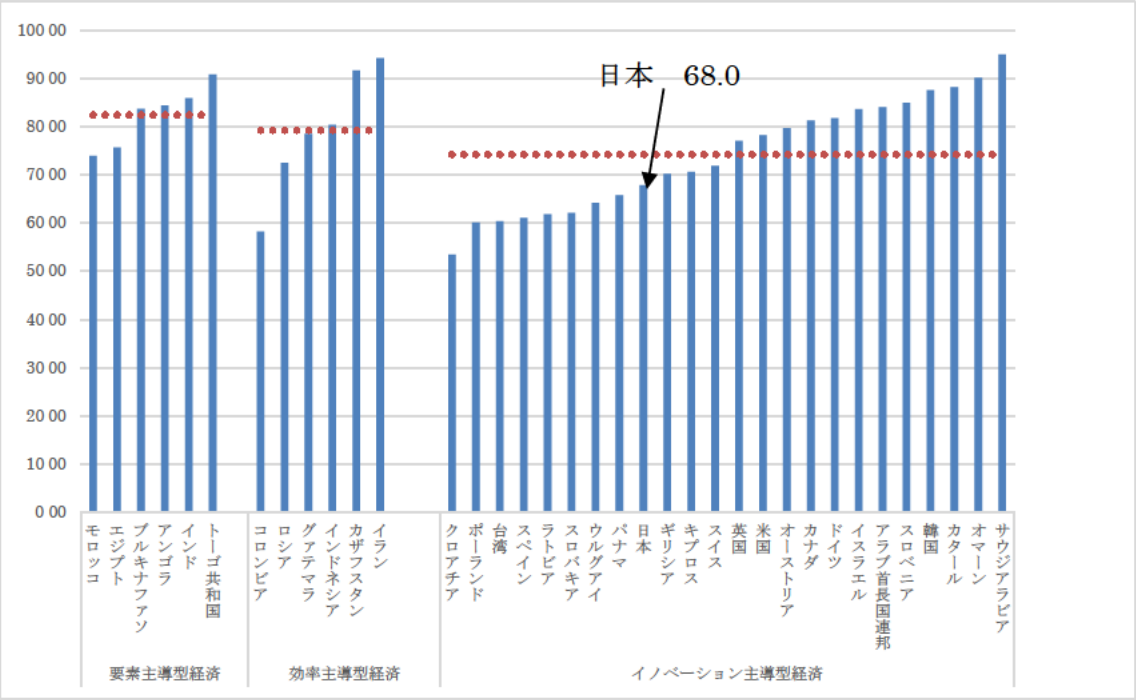
図表 3.10 職業選択に対する評価



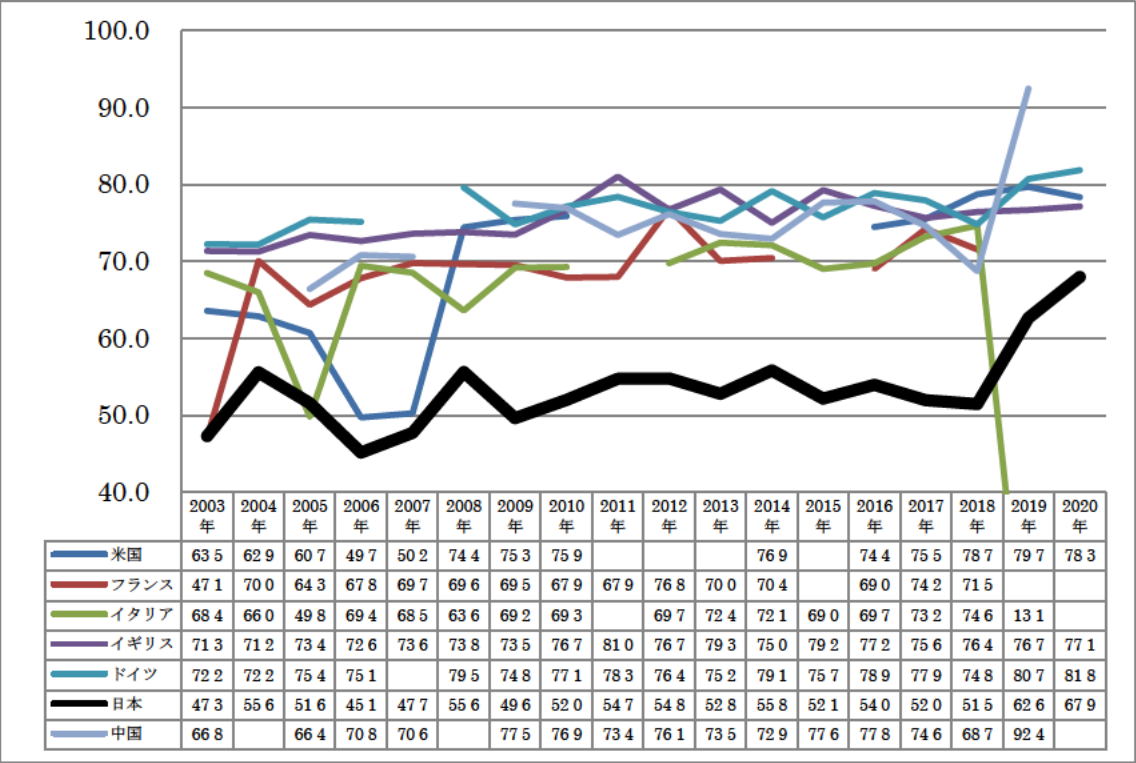
図表 3.11 職業選択に対する評価の推移



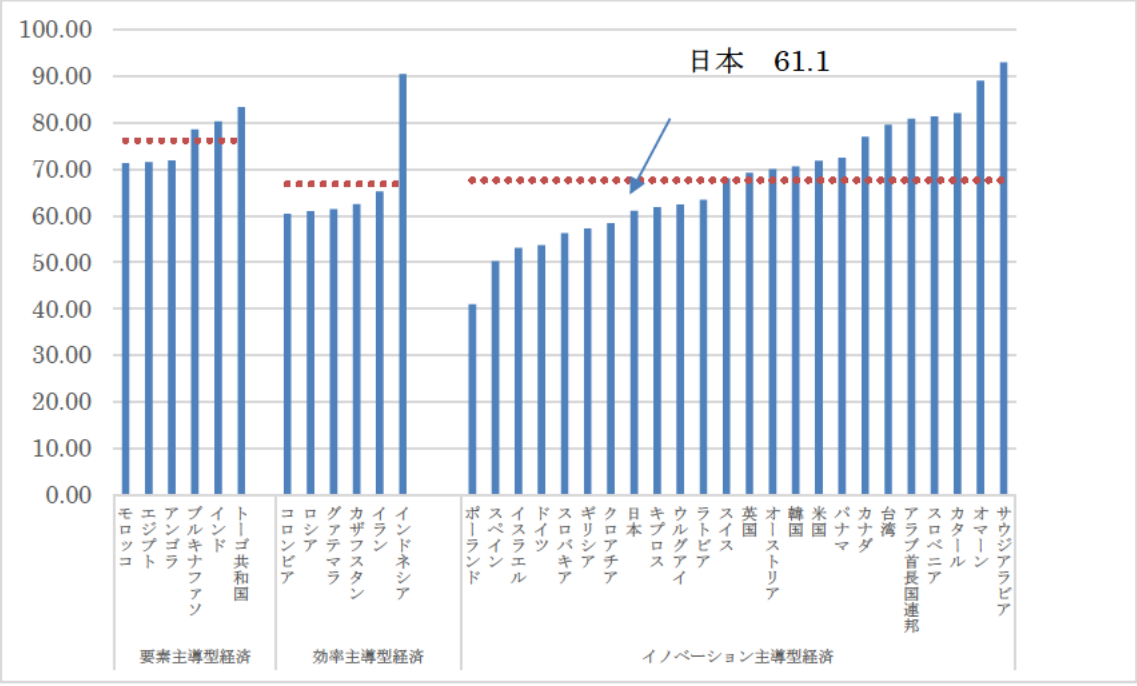
図表 3.12 起業家の社会的な地位に対する評価



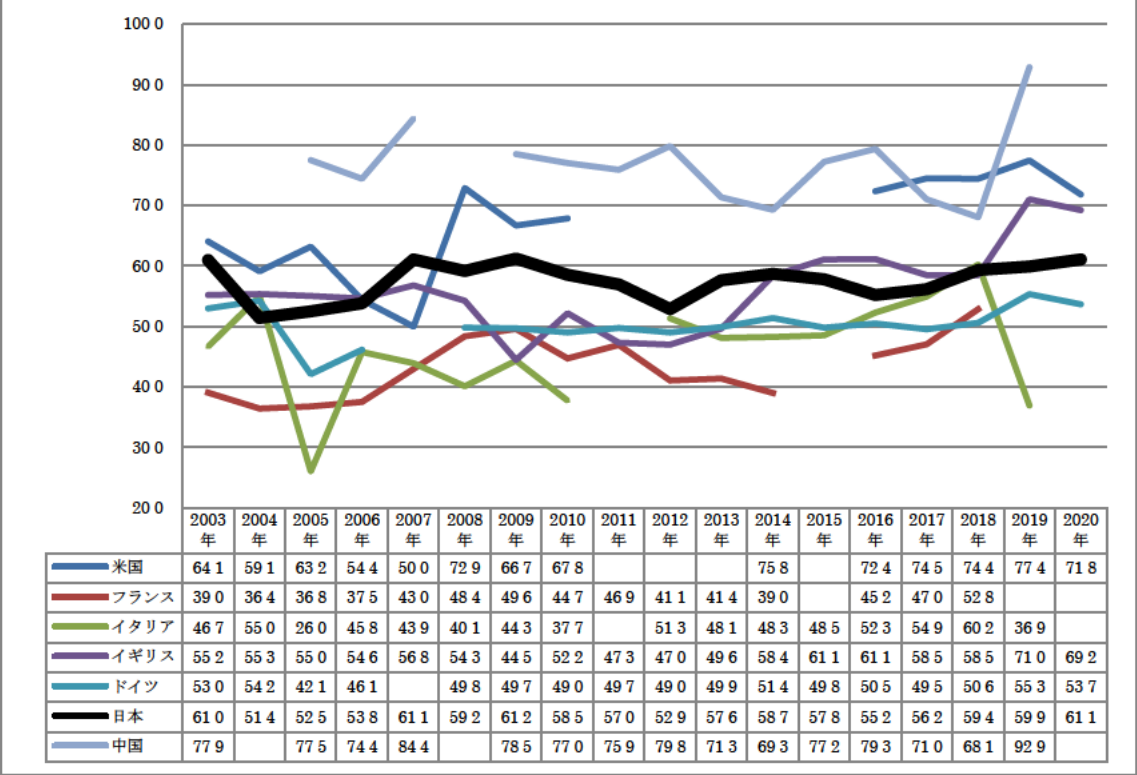
図表 3.13 起業家の社会的な地位に対する評価の推移



図表 3.14 メディアからの注目



図表 3.15 メディアからの注目の推移



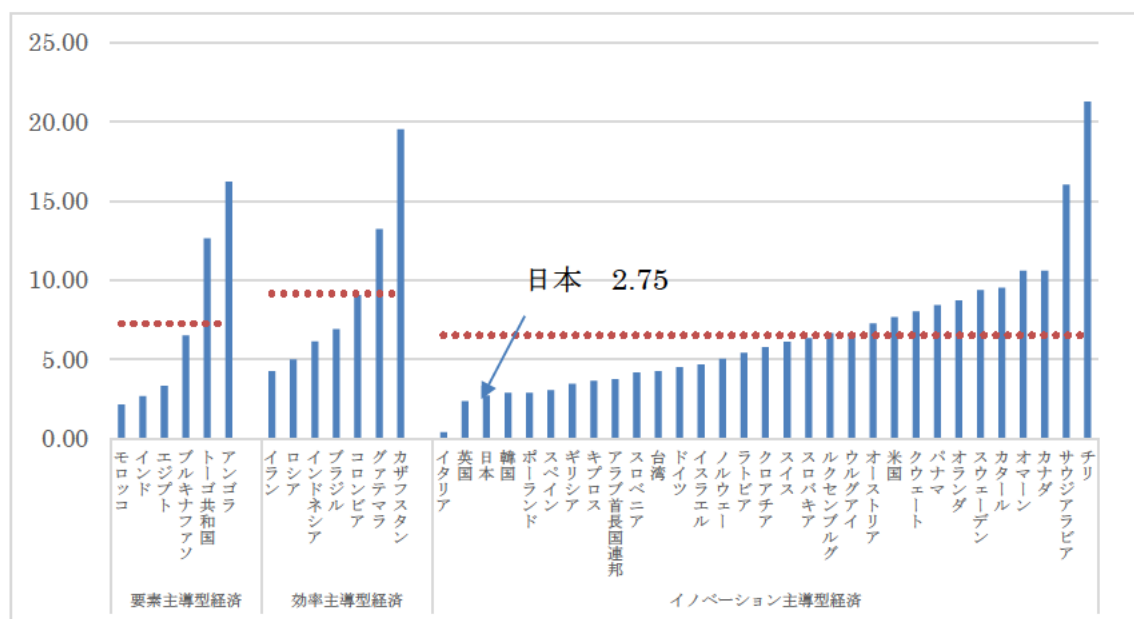
6. ビジネスエンジェル（個人投資家）

起業活動は多くの個人投資家によって支えられている。したがって、個人投資家による資金供給を促進する税制や風土を生み出すことは、起業活動の活発化につながる可能性がある。

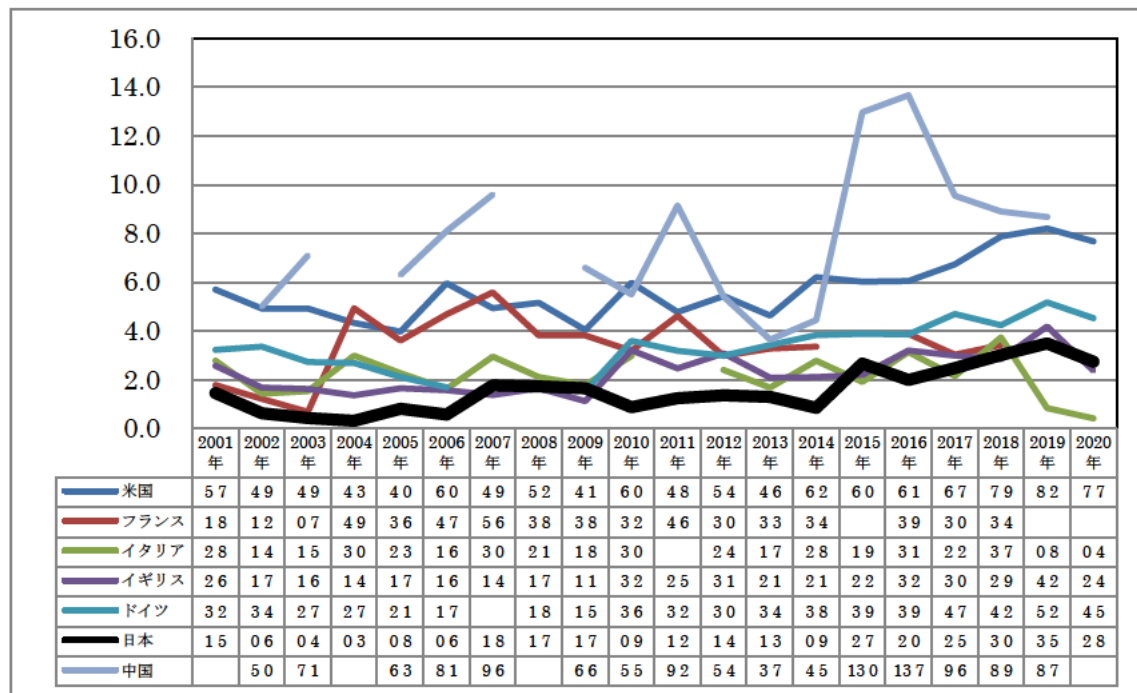
図表3.16は、「過去3年間に、他の人がはじめた新しいビジネスに個人的に資金提供をした」成人人口の割合を示している。経済圏別にこの割合の平均をみると、2018年調査とはまったく逆になり、要素主導型経済が最も低く、次に効率主導型経済、イノベーション主導型経済と続いている。

次に、個人投資家の割合を時系列でみた図表 3.17 によると、日本では 2000 年代前半には 0.5 前後だったが、2000 年代後半以降おおむね 1～2 の間で推移し、2015 年以降は上昇傾向がみられ、2019 年は 2018 年の過去最高の 3.0 をさらに上回り、3.5 となったが、2020 年はやや低下した。他の先進国と比べると、2020 年はイタリアと英国を上回った。

図表 3.16 個人投資家の活動



図表 3.17 個人投資家の活動の推移

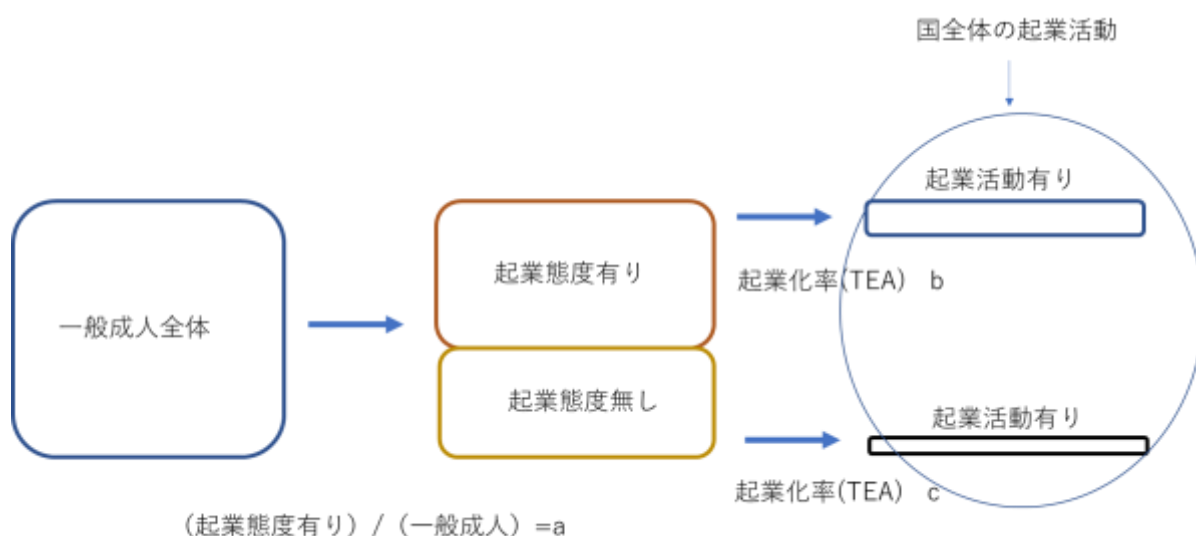


第4章 総合起業活動指数の上昇に関する考察（2020年）

2020年調査では、総合起業活動指数（TEA）が2019年の5.4から大幅に上昇し、6.5となった。この要因については、次のモデルを使って考察する³。

基本的な考え方は、Reynolds and White（1997）⁴に拠っている。すなわち一般成人は二通りに分かれ、起業態度を有するものと起業態度を有しないもののいずれかになる⁵。そして、起業態度を有するものは、さらに起業活動を始めるものと始めないものに分かれる。同様に、起業態度を有しないものも、起業活動を始めるものと始めないものに分かれる（図表4.1）。

図表 4.1 国の起業活動水準決定モデル



つまり、1 国の一般成人のうち、起業態度を有する割合を a 、起業態度を有するものからの起業化率を b （TEA に相当）、起業態度を有しないものからの起業化率（TEA に相当）を c とすると、1 国の起業活動水準 $f(a, b, c)$ は次の式で示される。

³ このフレームワークの分析を初めて行ったのは、高橋徳行（2017）「リーマンショック後に生じた日本の起業活動の変化」『企業家研究』第 14 号、pp. 83-91. である。

⁴ Reynolds, Paul and White, Sammis (1997) *The Entrepreneurial Process: Economic Growth, Men, Women, and Minorities*, Quorum Books

⁵ GEM で使用している次の 3 つの設問の中で 1 つもイエスがなかったものを起業態度無しとして、1 つでもイエスがあったものを起業態度有りと分類した。

ロールモデル指数（Knowent）：「過去 2 年以内に新たにビジネスを始めた人を個人的に知っているか」という質問に「はい」と回答した人数を成人人口 100 人当たりの人数で示したもの。起業家との距離の近さやロールモデルの存在の有無を表す指標と考えられる

事業機会認識指数（Opport）：「今後 6 カ月以内に、自分が住む地域に起業に有利なチャンスが訪れると思うか」という質問に「はい」と回答した人数を成人人口 100 人当たりの人数で示したもの。新しい事業機会にどれだけ目を配らせているかを表す指標と考えられる

知識・能力・経験指数（Suskil）：「新しいビジネスを始めるために必要な知識・能力・経験を持っているか」という質問に「はい」と回答した人数を成人人口 100 人当たりの人数で示したもの。事業を始めるために必要な知識・能力・経験を有しているかを表す指標と考えられる

起業活動水準の決定モデル $f(a, b, c) = (a * b) + (1 - a) * c$

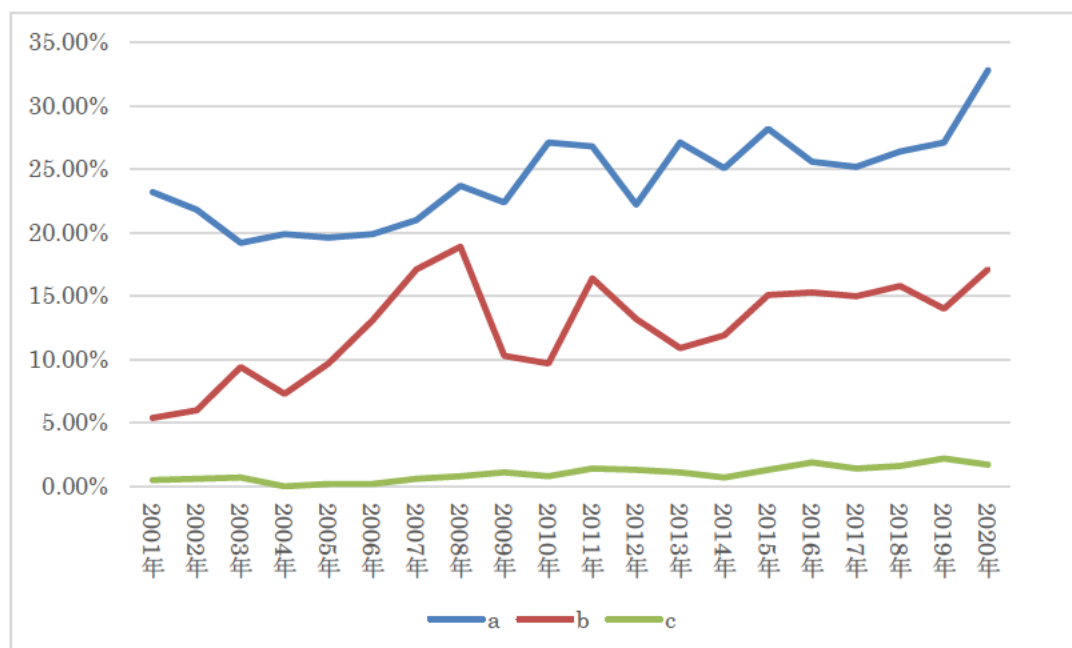
このモデルでは、国の起業活動の水準は 3 つの変数で決まることになり、次にこのモデルにしたがってわが国の TEA が 2020 年にどのように変化したのかを分析する。

図表 4.2 は、a,b,c の推移を 2001 年から見たものである。

図表 4.2① 3 つの変数の推移（日本）

	日本		
	a	b	c
2001 年	23.20%	5.4%	0.50%
2002 年	21.80%	6.00%	0.60%
2003 年	19.20%	9.40%	0.70%
2004 年	19.90%	7.30%	0.00%
2005 年	19.60%	9.70%	0.20%
2006 年	19.90%	13.10%	0.20%
2007 年	21.00%	17.10%	0.60%
2008 年	23.70%	18.90%	0.80%
2009 年	22.40%	10.30%	1.10%
2010 年	27.10%	9.70%	0.80%
2011 年	26.80%	16.40%	1.40%
2012 年	22.20%	13.20%	1.30%
2013 年	27.10%	10.90%	1.10%
2014 年	25.10%	11.90%	0.70%
2015 年	28.20%	15.10%	1.30%
2016 年	25.60%	15.30%	1.90%
2017 年	25.20%	15.00%	1.40%
2018 年	26.40%	15.80%	1.60%
2019 年	27.10%	14.00%	2.20%
2020 年	32.80%	17.10%	1.70%

図表 4.2② 3つの変数の推移（日本）



図表 4.2 を見ると、起業態度有りのグループの TEA と起業態度無しのグループの TEA には大きな違いがあることがわかる。

そこで、この決定モデルを使って、「起業態度有り」グループと「起業態度無し」グループが 1 国の TEA の水準にどの程度の貢献をしているのかを計算したものが図表 4.3 になる⁶。

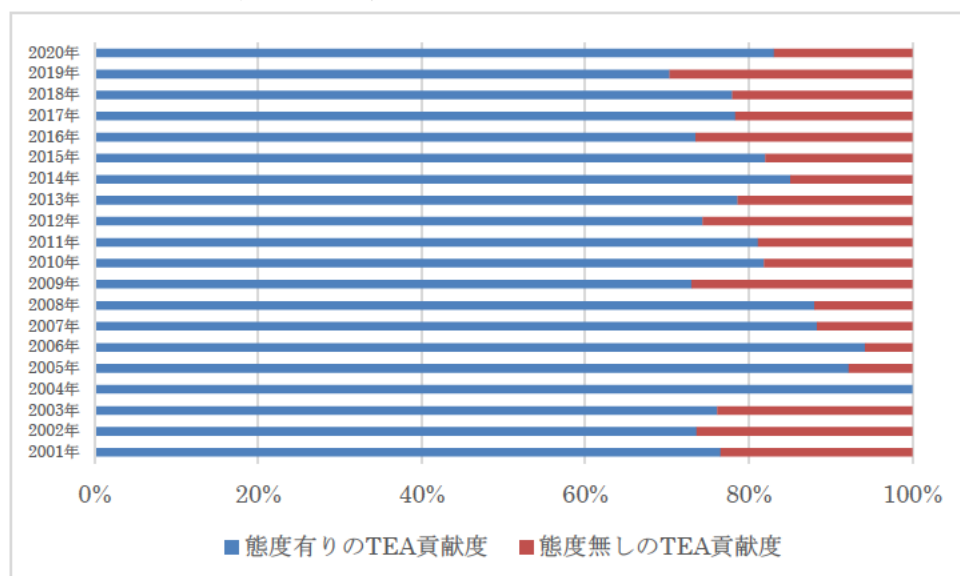
⁶ 計算方法は、それぞれ（起業態度有りの調査対象全体に占める割合）×（起業態度有りグループの TEA）と（起業態度無しの調査対象全体に占める割合）×（起業態度無しグループの TEA）である。a, b, c で表すと、起業態度有りの全体の中での貢献度は $a \times b$ であり、起業態度無しの全体の中での貢献度は、 $(1-a) \times c$ となる。2 つを足し合わせると、国全体の TEA に等しくなる。

図表 4.3① 態度有りのグループと態度無しのグループの全体の TEA に対する貢献度（実数）

	態度有りの TEA 貢献度	態度無しの TEA 貢献度	全体の TEA
2001 年	1.25%	0.38%	1.64%
2002 年	1.31%	0.47%	1.78%
2003 年	1.80%	0.57%	2.37%
2004 年	1.45%	0.00%	1.45%
2005 年	1.90%	0.16%	2.06%
2006 年	2.61%	0.16%	2.77%
2007 年	3.59%	0.47%	4.07%
2008 年	4.48%	0.61%	5.09%
2009 年	2.31%	0.85%	3.16%
2010 年	2.63%	0.58%	3.21%
2011 年	4.40%	1.02%	5.42%
2012 年	2.93%	1.01%	3.94%
2013 年	2.95%	0.80%	3.76%
2014 年	2.99%	0.52%	3.51%
2015 年	4.26%	0.93%	5.19%
2016 年	3.92%	1.41%	5.33%
2017 年	3.78%	1.05%	4.83%
2018 年	4.17%	1.18%	5.35%
2019 年	3.79%	1.60%	5.40%
2020 年	5.61%	1.14%	6.75%

注）第 4 章で使っているデータは、それぞれの調査年の個票データであり、ウェイト付けをする前のものなので、全体の TEA は他の章で紹介した数字と若干異なっている。

図表 4.3② 態度有りのグループと態度無しのグループの全体の TEA に対する貢献度（全体を 100%とした場合の割合）



注) 例えば、2020 年の場合、「態度有りの TEA 貢献度」は、 $5.61 \div (5.61 + 1.14)$ で計算している。

以上から次のようなことが言える。

- 日本の TEA は、起業態度有りのグループの TEA に対する貢献度と起業態度無しのグループの TEA に対する貢献度によって決定される。
- この中で、起業態度有りの貢献度の方が圧倒的に大きい
- また、起業態度有りの貢献度は、起業態度有りのグループの大きさと、起業態度有りのグループの TEA の水準によって決まる
- このように考えると、2020 年は起業態度有りのグループの大きさが増大したことに加えて起業態度有りのグループの TEA も上昇した
- このいわゆるダブル効果によって、2020 年の TEA は 2019 年に比べて大きく上昇した。

第5章 COVID-19に関する特別調査について

GEM 調査は、通常、毎年1月中旬から2月上旬の間に、世界大会を開催し、そこで前年調査結果を **Global Report** として発表し、その後は次の調査サイクルに入る。そのため、世界大会で次の調査で使う質問票の内容を固めることになっている。

しかし、2020年の調査サイクルは、いったん世界大会で固めた質問票に新たな設問を加えることになった。原因は、言うまでもなく、COVID-19の世界的な感染拡大である。

どのような設問が新たに加わったのかは、資料として添付した「**GEM2020 - 起業意識調査 - 調査票**」を参照されたい。

COVID-19に関する設問は大きく二つに分かれている。一つは、調査対象者全員に尋ねるものであり、もう一つは、起業活動もしくは事業活動に従事している人に尋ねたものである。調査対象全員に尋ねる設問は2つであり、次のような設問である。

コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、2020年になって所有していたり経営していたりしたビジネスや事業を止めてしまった人を個人的に知っていますか。知っている場合は、何人くらいですか（いない、1人、2~4人、5人以上、わからない、無回答の選択肢がある）

コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、2020年になって新たにビジネスや事業を始めた人を個人的に知っていますか。知っている場合は、何人くらいですか（いない、1人、2~4人、5人以上、わからない、無回答の選択肢がある）

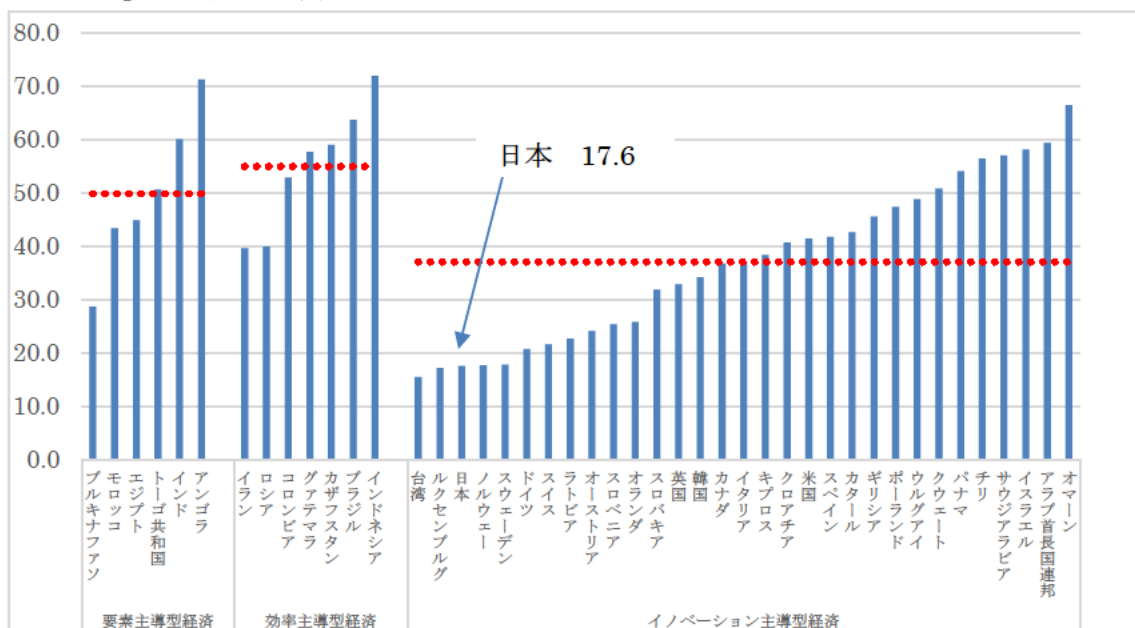
「事業をやめた人を知っているか」の設問に対しては、日本は100人中17.6人が「知っている」と回答している（「知っている」と回答した人の中には2~4人知っている、5人以上知っているも含まれる）。イノベーション主導型の平均は37.1であり、それと比べるとかなり低い（**図表 5.1**）。

次に、「事業を始めた人を知っているか」の設問への回答を見ると、日本は100人中10.2人が「知っている」と回答している（「知っている」と回答した人の中には2~4人知っている、5人以上知っているも含まれる）。イノベーション主導型の平均は22.3であり、それと比べるとかなり低い（**図表 5.2**）。

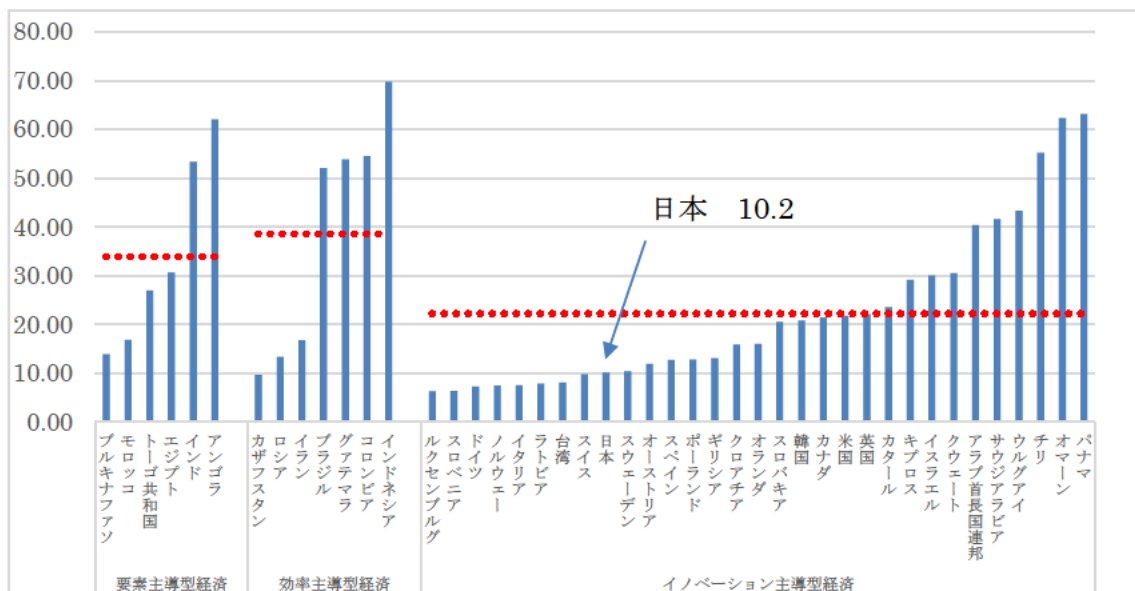
「やめた人を知っている割合」よりも「始めた人を知っている割合」が高いのは、ペルーとコロンビアの2か国だけであり、それ以外の国は「やめた人を知っている割合」が「始めた人を知っている割合」を上回っている。

予想された結果であるが、「始めた人を知っている割合」もかなり存在していることが確認された調査結果である。しかし、どんな人が「始めたのか」までは、今回調査では尋ねていない。

図表 5.1 COVID-19 によって事業をやめた人を知っているか（調査対象 100 人あたり「知っている」と回答した数）



図表 5.2 COVID-19 によって事業を始めた人を知っているか（調査対象 100 人あたり「知っている」と回答した数）



次に、起業活動もしくは事業活動をしている人に限定した尋ねた設問である。こちらの設問は、起業活動や事業活動に対する影響（成長期待の変化など）と政策に対する政策評価の2つに分かれる。これらの設問の場合、日本ではサンプル数が調査対象全体の5%程度になるので、単年度だけで、その結果に評価を加えることは難しい。あくまでも、参考として主

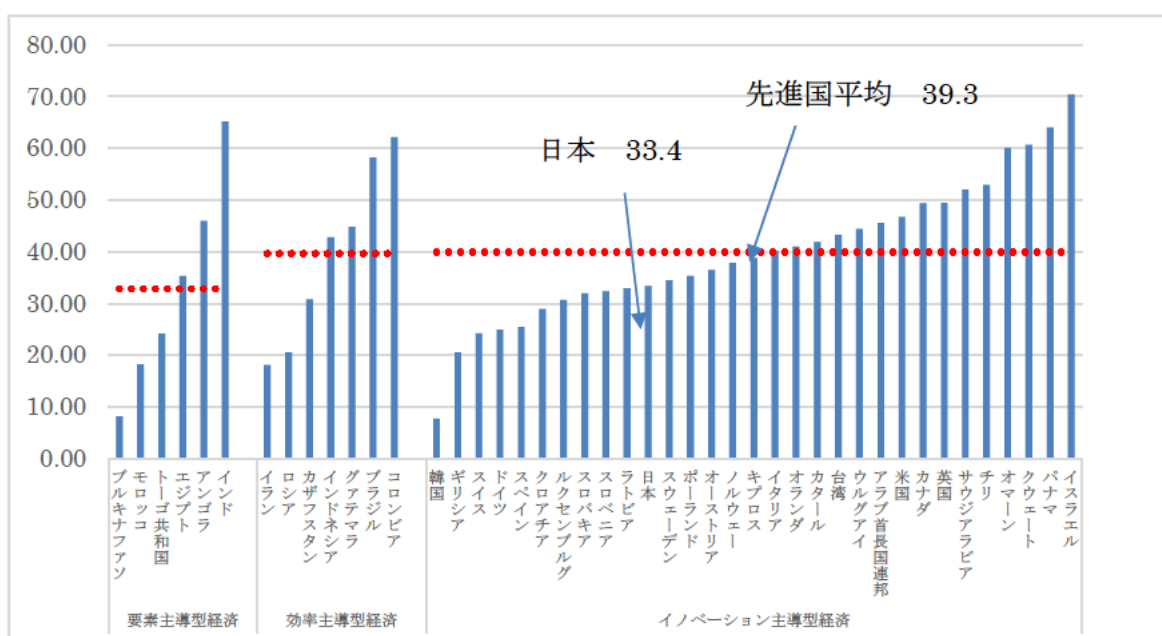
な結果を、次に図表によって示す。

ひと言で言い表すならば、COVID-19 の起業活動や事業活動に与えた影響の 2 面性が確認された結果と言える。起業活動従事者も既存事業従事者も、新しい事業機会を手がける割合が一定数いる一方で、成長期待が著しく低くなった経営者も決して少なくない。

傾向のようなことが言えるとする、比較的若い企業が多く含まれている起業活動従事者の方が、新しい事業機会を手がける割合が高く、成長期待が著しく低くなったという割合は低い。

環境変化への対応能力の違いを示している可能性はあると思われる。

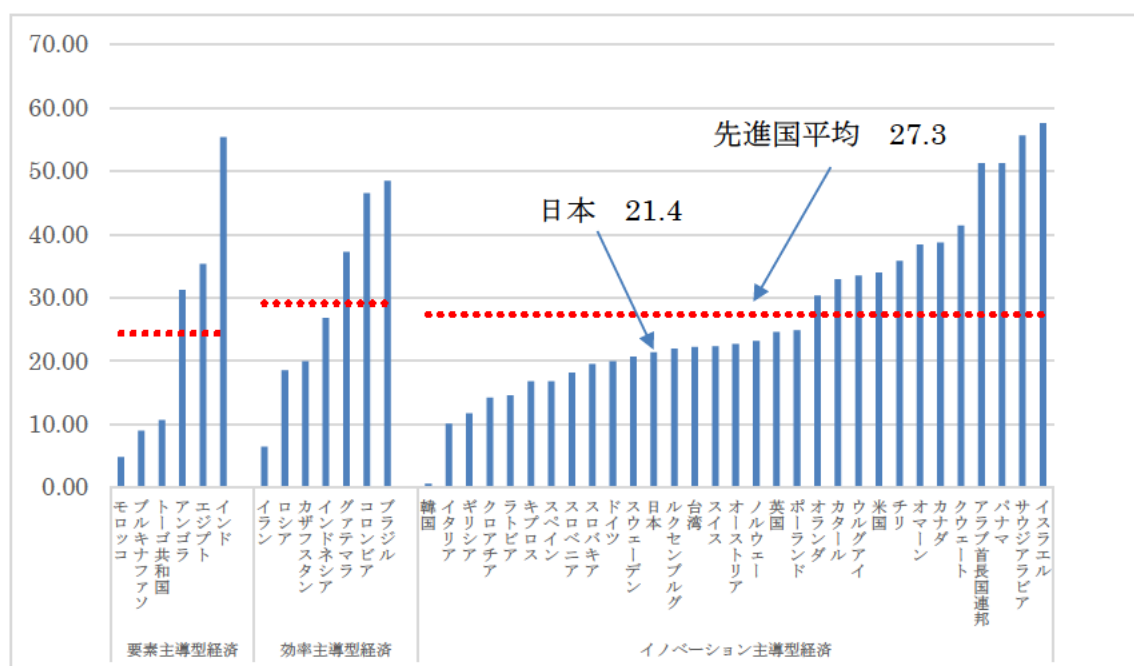
図表 5.3 COVID-19 によって新たに生まれた事業機会を手がけている割合（起業活動従事者）



注)

1. 「現在 1 人または複数で、何らかの自営業、物品の販売業、サービス業を営む新しいビジネスを始めようとしている」もしくは、「現在 1 人または複数で、雇用主のために主たる仕事の一環として新しいビジネスを始めようとしている」のいずれか両方に「はい」と回答した人に対して、「コロナウイルス感染拡大によって生まれた事業機会もしくはビジネスチャンスをつがけている」という質問を行い、「まったくその通りと思う」と「どちらかと言えばその通りと思う」と回答した人の割合を縦軸に示している。
2. 所有権に関する質問への回答が加味されていないので、TEA にカウントされる人とされない人が混在している。

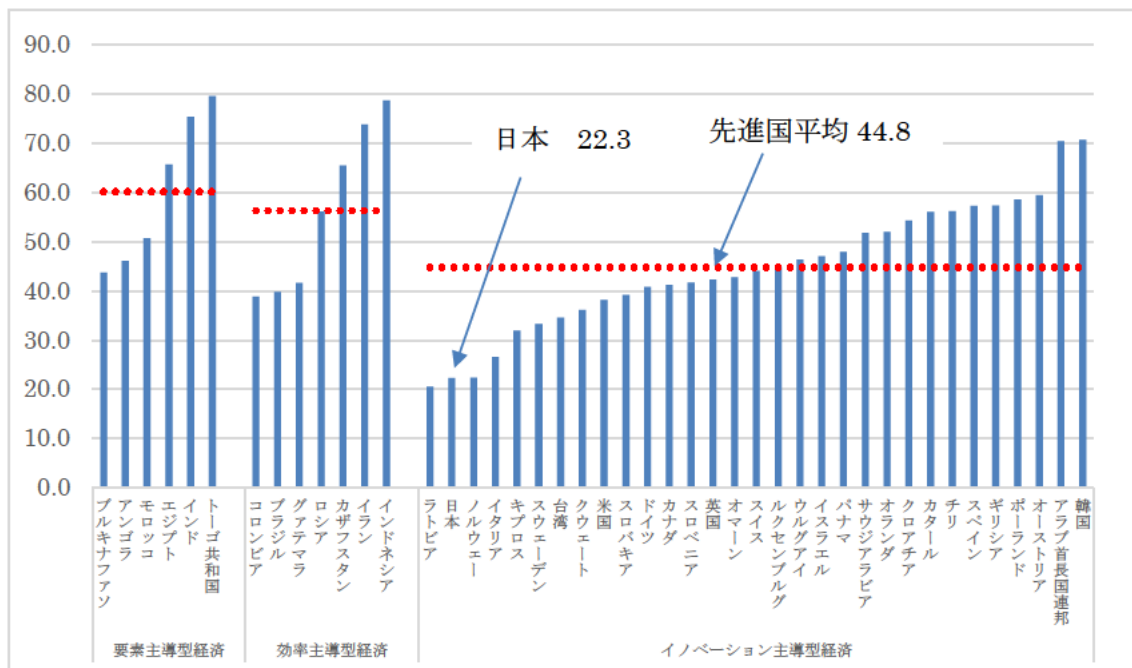
図表 5.4 COVID-19 によって新たに生まれた事業機会を手がけている割合（既存事業従事者）



注)

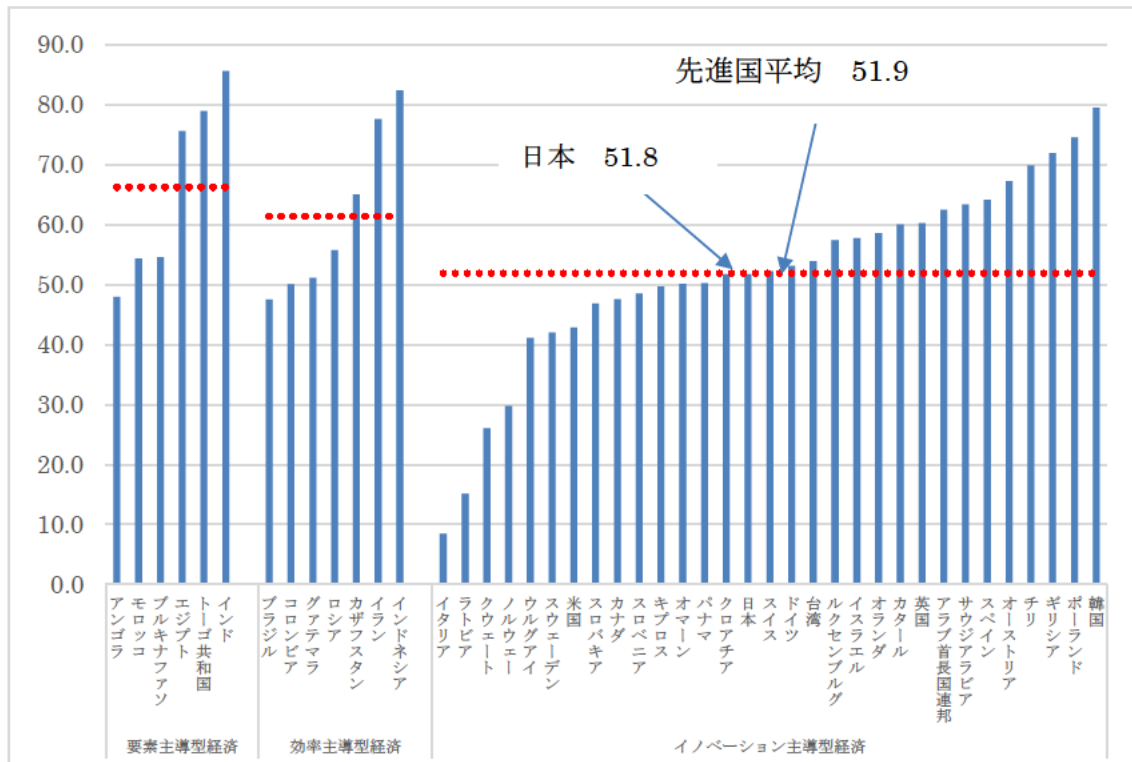
1. 「現在、自営業、物品の販売業、サービス業等の会社のオーナー、共同経営者の1人、もしくは自営業主として経営に関与していますか」もしくは、「現在、あなたが雇われている仕事の一環として、その雇用主のために、会社のオーナーまたは共同経営者の1人として経営に関与していますか」のいずれか両方に「コロナウイルス感染拡大によって生まれた事業機会もしくはビジネスチャンスを手がけている」という質問を行い、「まったくその通りと思う」と「どちらかと言えばその通りと思う」と回答した人の割合を縦軸に示している。
2. 業歴等に関する設問への回答が加味されていないので、TEAにカウントされる人とされない人が混在している。

図表 5.5 今後の成長への期待が著しく低くなった割合（起業活動従事者）



注) 図表 5.3 に同じ

図表 5.6 今後の成長への期待が著しく低くなった割合（既存事業活動従事者）



注) 図表 5.4 に同じ

付属資料（Ⅰ）一般調査のデータ

付属資料（Ⅰ）一般調査のデータ		
	付表1 各国の調査対象数(18-64才)	
	国名	調査対象者数
要素主導型経済		
20	エジプト	2,786
91	インド	3,317
212	モロッコ	3,527
226	ブルキナファソ	2,325
228	トーゴ共和国	2,093
244	アンゴラ	2,000
効率主導型経済		
57	コロンビア	2,107
62	インドネシア	2,500
98	イラン	3,144
502	グアテマラ	2,905
701	カザフスタン	2,100
イノベーション主導型経済		
1	米国	1,782
30	ギリシア	2,000
31	オランダ	1,749
34	スペイン	26,075
39	イタリア	2,000
41	スイス	1,509
43	オーストリア	4,529
44	英国	1,591
46	スウェーデン	3,755
47	ノルウェー	2,000
48	ポーランド	8,000
49	ドイツ	3,001
56	チリ	8,365
81	日本	2,011
82	韓国	2,000
101	カナダ	2,439
352	ルクセンブルグ	2,011
357	キプロス	2,006
371	ラトビア	1,629
385	クロアチア	2,000
386	スロベニア	1,566
421	スロバキア	2,000
507	パナマ	2,000
598	ウルグアイ	1,736
886	台湾	2,229
965	クウェート	2,092
966	サウジアラビア	4,027
968	オマーン	2,000
971	アラブ首長国連邦	2,004
972	イスラエル	2,000
974	カタール	3,043

付表2 起業活動率 (Total Early-Stage Entrepreneurial Activity: TEA)																					
国名	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
要素主導型経済																					
7 ロシア																6.3%		※2018年以降は再度効率主導型経済に移行			
20 エジプト								13.1%		7.0%		7.8%			※2015年以降は効率主導型			9.8%	6.7%	11.3%	
62 インドネシア																		14.1%		※2020年以降は再度効率主導型経済に移行	
63 フィリピン						20.4%							18.5%	18.4%	17.2%						
84 ベトナム													15.4%	15.3%	13.7%		23.3%				
91 インド	10.8%	17.9%				10.4%	8.5%	11.5%					9.9%	6.6%	10.8%	10.6%	9.3%	11.4%	15.0%	5.3%	
92 パキスタン										9.1%	9.1%	11.6%							3.6%		
98 イラン								9.2%	12.1%	12.4%	14.5%	10.8%	12.3%	16.0%	12.9%	12.8%	※2017年以降は効率主導型経済に移行				
212 モロッコ									15.8%						※2015年以降は効率主導型			6.6%	11.4%	7.1%	
213 アルジェリア									16.7%		9.3%	8.8%	4.9%								
218 リビア												11.2%									
221 セネガル															38.6%						
226 ブルキナファソ														21.7%	29.8%	33.5%				23.0%	
228 トーゴ共和国																				32.9%	
233 ガーナ										33.9%		36.5%	25.8%								
234 ナイジェリア											35.0%	35.0%	39.9%								
237 カメルーン														37.4%	25.4%	27.6%					
244 アンゴラ								22.7%		32.4%		32.4%	22.2%	21.5%				40.8%		49.6%	
249 スーダン																		22.2%			
251 エチオピア												14.7%									
256 ウガンダ			29.3%	31.6%					33.7%	31.3%		35.8%	25.2%	36.5%							
260 ザンビア										32.6%		41.5%	39.9%								
261 マダガスカル																	21.8%	20.7%	19.5%		
265 マラウイ												35.6%	28.1%								
267 ボツワナ												27.7%	20.9%	32.8%	33.2%						
582 ベネズエラ		27.3%		25.0%		20.2%		18.7%		15.4%											
591 ボリビア								29.8%		38.6%				27.4%							
676 トンガ								17.4%													
678 パヌアツ										52.2%											
701 カザフスタン							9.4%								11.0%	10.2%	11.3%		※2020年以降は効率主導型経済に移行		
880 バングラデシュ											12.8%										
961 レバノン								15.0%							※2015年以降は効率主導型経済に移行						
963 シリア								8.5%													
966 サウジアラビア								4.7%	9.4%								※2016以降は効率主導型経済に移行			17.3%	
967 イエメン								24.0%													
970 パレスチナ								8.6%	10.4%			9.8%									
1809 ドミニカ							16.8%	20.4%													

効率主導型経済																										
7	ロシア	5.9%	2.5%				4.9%	2.7%	3.5%	3.9%	3.9%	4.6%	4.3%	5.8%	4.7%	※2016年以降は要素主導型					5.5%	9.3%	8.5%			
20	エジプト															7.4%	14.3%	13.3%			11.3%	※2018年 以降は要素主導型経済に移行				
27	南アフリカ	6.5%	6.5%	4.3%	5.4%	5.1%	5.3%			7.8%	5.9%	8.9%	9.1%	7.3%	10.6%	7.0%	9.2%	6.9%	11.0%		10.8%					
36	ハンガリー	10.9%	6.6%		4.3%	1.9%	6.0%	6.9%	6.6%	9.1%	7.1%	6.3%	9.2%	9.7%	9.3%	7.9%	7.9%									
40	ルーマニア							4.0%	4.0%	5.0%	4.3%	9.9%	9.2%	10.1%	11.3%	10.8%										
48	ポーランド	8.0%	4.4%		8.8%							9.0%	9.4%	9.3%	9.2%	9.2%	10.7%	8.9%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行							
51	ペルー				40.3%		40.1%	25.9%	25.6%	20.9%	27.2%	22.9%	20.2%	23.4%	28.8%	22.2%	25.1%	24.6%	22.4%							
52	メキシコ	17.9%	12.4%			5.9%	5.3%			13.1%		10.5%	9.6%	12.1%	14.8%	19.0%	21.0%	9.6%	14.1%		13.0%					
54	アルゼンチン	9.9%	14.2%	19.7%	12.8%	9.5%	10.2%	14.4%	16.5%	14.7%	14.2%	20.8%	18.9%	15.9%	14.4%	17.7%	14.5%	6.0%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行							
55	ブラジル	13.8%	13.5%	12.9%	13.5%	11.3%	11.7%	12.7%	12.0%	15.3%	17.5%	14.9%	15.4%	17.3%	17.2%	21.0%	19.6%	20.3%	17.9%	23.3%	23.4%					
56	チリ		15.7%	16.9%		11.1%	9.2%	13.4%	13.0%	14.9%	16.8%	23.7%	22.6%	24.3%	26.8%	25.9%	24.2%	23.8%			25.9%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行				
57	コロンビア						22.5%	22.7%	24.5%	22.4%	20.6%	21.4%	20.1%	23.7%	18.5%	22.7%	27.3%	18.7%	21.2%		31.1%	※2019年 以降はイノベーション主導型経済に移行				
60	マレーシア						11.1%			4.4%	5.0%	4.9%	7.0%	6.6%	5.9%	2.9%	4.7%	21.6%	0.0%							
62	インドネシア						19.3%								25.5%	14.2%	17.7%	14.1%	7.5%		9.6%	※2018年 以降は要素主導型経済に移行				
66	タイ		18.9%			20.7%	15.2%	26.9%				19.5%	18.9%	17.7%	23.3%	13.7%	17.2%	21.6%	19.7%							
86	中国		12.3%	11.6%		13.7%	15.7%	16.4%		18.8%	14.4%	24.0%	12.8%	14.0%	15.5%	12.8%	10.3%	9.9%	10.4%	8.7%						
90	トルコ						6.1%	5.6%	6.0%		8.6%	11.9%	12.2%				16.1%		14.2%							
98	イラン																	13.3%	9.7%	10.7%	8.0%					
212	モロッコ																4.4%	5.6%	8.8%	※2018年 以降は要素主導型経済に移行						
216	チュニジア									9.4%	6.1%		4.8%			10.1%										
246	バルバドス											12.6%	17.1%		12.7%	21.0%										
264	ナミビア												18.2%													
359	ブルガリア																3.5%	4.8%	3.7%	6.0%						
370	リトアニア											11.3%	6.7%	12.4%	11.3%											
371	ラトヴィア					6.6%	6.6%	4.5%	6.5%	10.5%	9.7%	11.9%	13.4%	13.3%	13.3%	14.1%	14.2%	14.2%			※2019年 以降はイノベーション主導型経済に移行					
372	エストニア												14.3%	13.1%	※2014年以降はイノベーション主導型経済に移行											
374	アルメニア																				21.0%					
375	ベラルーシ																				5.8%					
381	セルビア						8.6%	7.6%	4.9%																	
382	モンテネグロ										14.9%															
383	コソボ															4.0%										
385	クロアチア		3.6%	2.6%	3.7%	6.1%	8.6%	7.3%	7.6%	5.6%	5.5%	7.3%	8.3%	8.3%	8.0%	7.7%	8.4%	8.9%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行							
387	ボスニア・ヘルツェゴビナ								9.0%	4.4%	7.7%	8.1%	7.8%	10.3%	7.4%			4.0%								
389	(北) マケドニア								14.5%		8.0%		7.0%	6.6%	6.6%	6.1%	6.5%				6.2%					
501	ベリーズ															7.1%		9.5%								
421	スロバキア											14.2%	10.2%	9.5%			28.8%	11.8%			13.8%					
502	グアテマラ									25.1%	16.3%	19.3%		12.3%	20.4%	17.7%	20.1%	24.8%	27.5%	25.1%						
503	エルサルバドル												15.3%		19.5%		14.3%									
506	コスタリカ										13.5%		15.0%		11.3%											
507	パナマ									9.6%		20.8%	9.5%	20.6%	17.1%	12.8%	13.2%	16.2%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行							
593	エクアドル			27.2%				17.2%	15.8%	21.3%		26.6%	36.0%	32.6%	33.6%	31.8%	29.6%		36.2%							
597	スリナム													5.1%	2.1%											
598	ウルグアイ					12.6%	12.2%	11.9%	12.2%	11.7%	16.7%	14.6%	14.1%	14.1%	14.3%	14.1%	14.7%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行								
701	カザフスタン														13.7%						20.1%					
876	ジャマイカ					17.0%	20.3%		15.6%	22.7%	10.5%	13.7%		13.8%	13.8%		9.9%									
961	レバノン																30.1%	21.2%	24.1%	24.1%						
962	ヨルダン			18.3%						10.2%								8.2%			9.1%					
966	サウジアラビア																	11.4%	11.5%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行						
995	ジョージア (グルジア)														7.2%		8.6%									

イノベーション主導型経済																					
1	米国	11.1%	10.5%	11.9%	11.3%	12.4%	10.0%	9.6%	10.8%	8.0%	7.6%	12.3%	12.8%	12.7%	13.8%	11.9%	12.6%	13.6%	15.6%	17.4%	15.4%
30	ギリシャ			6.8%	5.8%	6.5%	7.9%	5.7%	9.9%	8.8%	5.5%	8.0%	6.5%	5.5%	7.9%	6.7%	5.7%	4.8%	6.3%	8.2%	
31	オランダ	5.9%	4.6%	3.6%	5.1%	4.4%	5.4%	5.2%	5.2%	7.2%	7.2%	8.2%	10.3%	9.3%	9.5%	7.2%	11.0%	9.9%	12.3%	10.4%	11.5%
32	ベルギー	4.2%	3.0%	3.9%	3.5%	3.9%	2.7%	3.1%	2.9%	3.5%	3.7%	5.7%	5.2%	4.9%	5.4%	6.2%					
33	フランス	5.7%	3.2%	1.6%	6.0%	5.4%	4.4%	3.2%	5.6%	4.3%	5.8%	5.7%	5.2%	4.6%	5.3%		5.3%	3.9%	6.1%		
34	スペイン	6.3%	4.6%	6.8%	5.1%	5.7%	7.3%	7.6%	7.0%	5.1%	4.3%	5.8%	5.7%	5.2%	5.5%	5.7%	5.2%	6.2%	6.4%	6.1%	5.2%
39	イタリア	9.1%	5.9%	3.2%	4.3%	4.9%	3.5%	5.0%	4.6%	3.7%	2.3%		4.3%	3.4%	4.4%	4.9%	4.4%	4.3%	4.2%	2.8%	1.9%
41	スイス		7.1%	7.4%		6.1%		6.3%		7.7%	5.0%	6.6%	5.9%	8.2%	7.1%	7.3%	8.2%	8.5%	7.4%	9.8%	9.2%
43	オーストリア					5.3%		2.4%					9.6%		8.7%		9.6%		10.9%		6.2%
44	英国	6.5%	5.4%	6.4%	6.2%	6.2%	5.8%	5.5%	5.9%	5.7%	6.4%	7.3%	9.0%	7.1%	10.7%	6.9%	8.8%	8.4%	8.2%	9.3%	7.8%
45	デンマーク	7.2%	6.5%	5.9%	5.3%	4.8%	5.3%	5.4%	4.4%	3.6%	3.8%	4.6%	5.4%		5.5%						
46	スウェーデン	5.7%	4.0%	4.1%	2.9%	4.0%	3.4%	4.2%			4.9%	5.8%	6.4%	8.2%	6.7%	7.2%	7.6%	7.3%	6.8%	8.2%	7.3%
47	ノルウェー	7.4%	8.7%	7.5%	7.0%	9.2%	9.1%	6.5%	8.7%	8.5%	7.7%	6.9%	6.8%	6.3%	5.7%	5.7%			5.2%	5.4%	7.6%
48	ポーランド																		5.2%	5.4%	3.1%
49	ドイツ	6.3%	5.2%	5.2%	4.5%	5.4%	4.2%		3.8%	4.1%	4.2%	5.6%	5.3%	5.0%	5.3%	4.7%	4.6%	5.3%	5.0%	7.6%	4.8%
54	アルゼンチン																		9.1%		
56	チリ																		25.1%		25.9%
57	コロンビア																			22.3%	※2020年以降は効率主導型経済に移行
61	オーストラリア	14.7%	8.7%	11.6%	13.4%	10.9%	12.0%				7.8%	10.5%			13.1%	12.8%	14.6%	12.2%		10.5%	
64	ニュージーランド	15.4%	14.0%	13.6%	14.7%	17.6%															
65	シンガポール	6.0%	5.9%	4.9%	5.7%	7.2%	4.8%					6.6%	11.6%	10.7%	11.0%						
81	日本	3.1%	1.8%	2.8%	1.5%	2.2%	2.9%	4.3%	5.4%	3.3%	3.3%	5.2%	4.0%	3.7%	3.8%	4.8%	5.3%	4.7%	5.3%	5.4%	6.5%
82	韓国	14.3%	14.5%						10.0%	7.0%	6.6%	7.8%	6.6%	6.9%		9.3%	6.7%	13.0%	14.6%	14.9%	13.0%
101	カナダ	10.3%	8.8%	8.0%	8.8%	9.3%	7.1%							12.2%	13.0%	14.7%	16.7%	18.8%	18.7%	18.2%	15.6%
351	ポルトガル	6.6%			4.0%			8.8%			4.5%	7.5%	7.7%	8.2%	10.0%	9.5%	8.2%			12.9%	
352	ルクセンブルグ												#REF!	7.1%	10.2%	9.2%	9.1%	10.7%	10.2%	8.0%	
353	アイルランド	11.4%	9.1%	8.1%	7.7%	9.8%	7.4%	8.2%	7.6%		6.8%	7.2%	6.1%	9.2%	6.5%	9.3%	10.9%	8.9%	9.6%	12.4%	
354	アイスランド		11.3%	11.2%	13.6%	10.7%	11.3%	12.5%	10.1%	11.4%	10.6%							7.3%			
357	キプロス																12.0%		3.9%	12.2%	8.5%
358	フィンランド	8.2%	4.6%	6.9%	4.4%	5.0%	5.0%	6.9%	7.3%	5.2%	5.7%	6.3%	6.0%	5.3%	5.6%	6.6%	6.7%				
371	ラトヴィア																			15.4%	
372	エストニア														9.4%	13.1%	16.2%	19.4%			
385	クロアチア																		9.6%	10.5%	12.7%
386	スロベニア		4.6%	4.0%	2.6%	4.4%	4.6%	4.8%	6.4%	5.4%	4.7%	3.7%	5.4%	6.5%	6.3%	5.9%	8.0%	6.9%	6.4%	7.8%	6.0%
420	チェコ						7.8%						7.6%		7.3%						
421	スロバキア															10.9%	9.6%	※2016年以降は再	12.1%	13.3%	13.8%
507	パナマ																		13.8%	22.7%	32.4%
598	ウルグアイ																		15.7%		21.9%
787	プエルトリコ							3.1%						8.3%	10.0%	8.5%	10.3%	10.6%	11.6%	13.4%	
868	トリニダード・トバゴ										15.1%	22.7%	15.0%	19.5%	14.6%						
852	香港		3.4%	3.2%	3.0%			9.9%		3.6%							9.4%				
886	台湾		4.3%								8.4%	7.9%	7.5%	8.2%	8.5%	7.3%	8.2%	8.6%	9.5%	8.4%	8.4%
966	サウジアラビア																		12.1%	14.0%	17.3%
968	オマーン																			6.9%	16.0%
971	アラブ首長国連邦						3.7%	8.4%		13.3%		6.2%					5.7%	9.0%	10.7%	16.4%	15.4%
972	イスラエル	5.3%	7.1%		6.6%			5.4%	6.4%	6.1%	5.7%		6.5%	10.0%		11.8%	11.3%	12.8%	12.7%	12.7%	8.5%
974	カタール														16.4%		7.8%	7.4%	8.5%	14.7%	17.2%

付表3 女性起業活動率と男性起業活動率				
	国名	女性起業活動率 (a)	男性起業活動率 (b)	(a) / (b)
要素主導型経済				
20	エジプト	5.44	16.73	0.33
91	インド	2.62	7.94	0.33
212	モロッコ	4.49	9.81	0.46
226	ブルキナファソ	21.52	24.76	0.87
228	トーゴ共和国	35.56	29.84	1.19
244	アンゴラ	51.05	48.05	1.06
効率主導型経済				
7	ロシア	7.28	9.74	0.75
55	ブラジル	21.31	25.59	0.83
57	コロンビア	30.19	32.15	0.94
62	インドネシア	10.00	9.14	1.09
98	イラン	5.07	10.92	0.46
502	グアテマラ	25.52	31.32	0.81
701	カザフスタン	20.88	19.25	1.08
イノベーション主導型経済				
1	米国	13.63	17.26	0.79
30	ギリシア	6.66	10.59	0.63
31	オランダ	9.55	13.40	0.71
34	スペイン	4.81	5.57	0.86
39	イタリア	0.92	2.93	0.32
41	スイス	8.72	9.75	0.89
43	オーストリア	5.31	7.03	0.76
44	英国	6.18	9.50	0.65
46	スウェーデン	4.79	9.70	0.49
47	ノルウェー	4.92	10.23	0.48
48	ポーランド	2.36	3.81	0.62
49	ドイツ	4.44	5.11	0.87
56	チリ	22.08	29.90	0.74
81	日本	3.79	9.11	0.42
82	韓国	10.57	15.34	0.69
101	カナダ	13.89	17.25	0.81
352	ルクセンブルグ	4.94	10.86	0.45
357	キプロス	6.14	10.98	0.56
371	ラトビア	11.17	20.04	0.56
385	クロアチア	9.27	16.06	0.58
386	スロベニア	4.75	7.10	0.67
421	スロバキア	8.91	18.80	0.47
507	パナマ	29.09	35.57	0.82
598	ウルグアイ	20.06	23.75	0.84
886	台湾	7.26	9.63	0.75
965	クウェート	16.86	20.41	0.83
966	サウジアラビア	17.67	16.97	1.04
968	オマーン	17.31	14.73	1.18
971	アラブ首長国連邦	12.18	16.77	0.73
972	イスラエル	6.71	10.35	0.65
974	カタール	12.32	18.36	0.67

付表4 起業計画																				
【質問】今後3年以内に、1人または複数で、自営業・個人事業を含む新しいビジネスをはじめることを見込んでいる（「はい」と回答した割合）																				
	国名	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
要索主導型経済																				
7	ロシア															5.0%	※2018年以降は再度効率主導型経済に移行			
20	エジプト						40.4%		24.9%		43.6%			※2015年以降は効率主導型経済に移行	60.2%	62.9%	56.9%			
62	インドネシア															24.1%	※2020年以降は再度効率主導型経済に移行			
63	フィリピン				45.8%							45.0%	45.6%	45.6%						
84	ベトナム											28.8%	22.7%	26.2%		32.4%		34.9%		
91	インド	32.5%			31.9%	49.9%	32.7%					25.5%	9.6%	13.4%	19.7%	14.1%	24.8%	29.2%	22.4%	
92	パキスタン									32.4%	26.9%	27.9%								
98	イラン						37.5%	28.8%	32.7%	33.4%	22.3%	33.1%	27.5%	37.8%	46.8%					
212	モロッコ							26.6%						※2015年以降は効率主導型経済に移行	43.9%	41.4%	48.0%			
213	アルジェリア							26.1%		44.2%	22.4%	36.5%								
218	リビア											64.1%								
221	セネガル													72.9%						
226	ブルキナファソ												48.5%	64.5%	71.9%					
228	トーゴ共和国																	54.0%		
233	ガーナ									63.1%		58.6%	41.4%							
234	ナイジェリア									57.7%	47.3%	41.0%								
237	カメルーン												57.7%	40.6%	44.4%					
244	アンゴラ						33.0%		60.5%		70.6%	47.0%	44.7%				83.4%		83.3%	
249	スーダン																69.1%			
251	エチオピア											27.3%								
256	ウガンダ		56.3%	46.5%				58.1%	76.9%		71.8%	58.4%	58.6%							
260	ザンビア								70.0%		60.5%	52.0%								
261	マダガスカル															45.0%	35.5%	43.9%		
265	マラウイ											72.4%	71.0%							
267	ボツワナ											74.2%	60.7%	66.0%	65.0%					
582	ベネズエラ		49.7%		47.8%		29.5%		35.2%		28.4%									
591	ボリビア						42.7%		58.3%				50.7%							
676	トンガ							9.3%												
678	バヌアツ								60.9%											
701	カザフスタン				16.1%									23.7%	23.4%	51.5%				
880	バングラデシュ									32.0%										
961	レバノン							27.0%						※2015年以降は効率主導型経済に移行						
963	シリア							56.4%												
966	サウジアラビア							37.2%	6.0%					※2016年以降は効率主導型経済に移行						
967	イエメン							26.5%												
970	パレスチナ							26.2%	31.1%		37.5%									
1809	ドミニカ					0.411	0.372													

効率主導型経済																			
7 ロシア	4.1%				8.4%	5.0%	5.3%	4.6%	4.3%	6.2%	3.8%	4.7%	5.7%	※2016年より要素主導型経済に移行			5.1%	14.0%	11.4%
20 エジプト													39.5%	65.5%	57.6%	※2018年より要素主導型経済に移行			
27 南アフリカ		12.2%	15.6%	10.7%	9.3%		16.9%	13.3%	19.6%	17.6%	14.0%	15.4%	11.8%	13.0%	12.4%	15.2%	15.9%		
36 ハンガリー	8.5%		4.1%	2.3%	9.6%	8.7%	6.6%	15.9%	14.9%	21.9%	15.3%	17.4%	16.0%	17.0%	18.1%				
40 ルーマニア					13.6%	11.5%	9.4%	10.7%	27.7%	30.8%	26.8%	32.7%	31.1%						
48 ポーランド	3.8%		21.9%						26.9%	24.2%	21.4%	19.4%	22.4%	23.5%	11.2%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行			
51 ベルギー			62.8%		39.1%	38.8%	40.4%	33.8%	38.7%	41.6%	51.7%	38.3%	55.7%	44.4%	48.9%	48.7%	47.3%		
52 メキシコ	27.8%			19.2%	18.3%		30.4%		28.6%	25.8%	22.9%	23.5%	22.1%	18.8%	16.1%	18.8%	0.0%	23.0%	
54 アルゼンチン	18.0%	25.6%	25.8%	22.2%	18.3%	26.9%	23.2%	21.0%	27.9%	35.9%	34.7%	35.4%	28.9%	30.9%	28.8%	14.0%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行		
55 ブラジル	40.3%	38.6%	36.4%	24.2%	19.8%	25.0%	25.0%	21.0%	26.6%	32.3%	37.3%	29.4%	22.2%	23.5%	28.1%	18.7%	26.2%	34.2%	50.6%
56 チリ	43.0%	46.5%		13.0%	27.1%	32.7%	38.2%	43.1%	43.6%	48.6%	44.9%	47.3%	48.8%	52.2%	47.9%	47.3%		51.9%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行
57 コロンビア					68.7%	66.5%	66.9%	64.0%	46.2%	58.5%	56.9%	57.2%	51.3%	51.8%	53.0%	56.9%	50.2%	43.3%	※2019年 以降はイノベーション主導型経済に移行
60 マレーシア					7.4%			5.6%	7.1%	11.2%	15.7%	13.3%	12.1%	6.6%	6.4%	28.3%			
62 インドネシア					39.0%						39.6%	30.7%	30.8%	29.7%	28.3%			27.6%	※2018年 以降は要素主導型経済に移行
66 タイ	25.3%			42.0%	33.6%	30.4%				35.2%	23.7%	23.5%	22.4%	20.0%	23.5%	44.9%	35.6%		
86 中国	34.3%	34.7%		28.5%	31.8%	37.2%		26.4%	30.1%	43.4%	21.7%	16.6%	20.2%	23.8%	26.4%	20.0%	17.6%	26.2%	
90 トルコ					22.7%	22.2%	23.8%		21.9%	11.3%	18.8%				36.8%		35.5%		
98 イラン															42.3%	37.4%	42.3%	24.5%	
212 モロッコ													30.5%	37.2%	30.7%	※2018年 以降は要素主導型経済に移行			
216 チュニジア							57.6%	24.2%		23.8%			33.7%						
246 バルバドス									11.5%	23.8%		14.6%	24.7%						
264 ナミビア										49.4%									
359 ブルガリア													6.4%	8.7%	5.6%		5.0%		
370 リトアニア									20.6%	19.4%	25.7%	22.3%							
371 ラトヴィア				14.1%	16.0%	6.0%	9.9%	13.3%	24.5%	28.0%	26.9%	26.7%		23.5%	22.3%	21.8%		※2019年 以降はイノベーション主導型経済に移行	
372 エストニア										20.1%	22.9%	※2014年以降はイノベーション主導型経済に移行							
374 アルメニア																			
375 ベラルーシ																			
381 セルビア					36.4%	33.7%	24.3%												
382 モンテネグロ								40.9%											
383 コソボ												8.5%							
385 クロアチア	8.5%	8.3%	5.5%	8.4%	11.1%	12.5%	12.1%	9.7%	9.8%	21.6%	23.6%	24.1%	22.9%	20.9%	22.3%	22.8%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行		
387 ボスニア・ヘルツェゴビナ							32.2%	20.5%	18.6%	21.6%	24.9%	25.2%	21.7%		6.8%				
389 (北) マケドニア							45.8%		28.8%		29.1%	30.9%		24.4%	26.6%		22.0%		
421 スロバキア									24.4%	15.6%	20.3%	※2014年以降はイ			12.8%	14.9%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行		
501 ベリーズ												11.6%	51.7%						
502 グアテマラ							26.1%	29.9%	29.2%		40.0%	41.9%	40.7%	39.2%	46.1%	49.2%	51.6%		
503 エルサルバドル										40.7%	23.0%			33.5%					
506 コスタリカ							20.2%			38.8%	31.8%								
507 パナマ						15.0%	27.2%	16.4%	34.7%	27.2%	16.8%	13.3%	23.7%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行					
593 エクアドル			49.0%		42.5%	32.1%	48.7%			54.3%	49.4%	46.3%	49.0%	42.7%	52.3%		53.0%		
597 スリナム										13.9%	4.9%								
598 ウルグアイ				19.5%	20.7%	23.1%	26.1%	34.6%	42.5%	24.3%	27.7%	28.8%	31.2%	29.3%	32.2%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行			
701 カザフスタン												23.2%					62.6%		
876 ジャマイカ			30.4%	39.1%	21.5%	31.3%	38.1%	21.4%	40.2%	34.0%			39.6%						
961 レバノン												47.8%	45.9%	40.0%	39.4%				
962 ヨルダン			41.3%				29.3%						21.0%				31.2%		
966 サウジアラビア													25.8%	33.7%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行				
995 ジョージア (グルジア)											16.7%	15.3%							

イノベーション主導型経済																								
1 米国	15.3%	15.5%	13.7%	16.4%	13.5%	14.4%	12.4%	10.7%	10.4%	15.8%	16.5%	16.6%	16.2%	17.1%	16.4%	19.0%	18.5%	20.4%	18.6%					
30 ギリシャ		13.6%	13.4%	15.4%	14.1%	13.7%	16.6%	17.2%	13.9%	12.3%	10.4%	8.9%	10.4%	10.7%	9.3%	7.4%	9.1%	14.4%						
31 オランダ	5.1%	5.7%	6.5%	6.2%	5.6%	5.5%	5.3%	7.4%	7.1%	9.8%	10.1%	10.3%	10.8%	11.1%	10.9%	10.4%	10.9%	12.2%	17.1%					
32 ベルギー	6.2%	6.6%	6.9%	7.7%	7.3%	7.3%	7.8%	6.9%	8.9%	12.0%	10.7%	9.2%	12.4%	12.6%										
33 フランス	4.2%	6.3%	14.4%	13.0%	14.8%	16.5%	15.2%	17.9%	16.0%	19.8%	18.9%	13.7%	16.0%		17.2%	19.1%	20.4%							
34 スペイン	7.7%	6.7%	5.4%	5.9%	6.4%	6.8%	7.7%	5.5%	6.7%	9.7%	12.0%	9.3%	8.0%	6.1%	6.1%	6.8%	6.8%	8.1%	7.0%					
39 イタリア	11.9%	8.1%	11.6%	11.1%	10.2%	12.9%	9.2%	5.5%	4.7%		11.8%	11.3%	13.2%	9.6%	11.6%	12.2%	10.9%	6.3%	4.6%					
41 スイス	11.2%	11.8%	8.8%			9.6%	10.5%	7.8%	10.3%	8.3%	11.3%	8.8%	9.5%	10.9%	12.3%	9.8%	15.1%	10.1%						
43 オーストリア			7.6%		6.5%						11.6%	10.7%		13.0%		16.3%		7.0%						
44 英国	6.3%	7.8%	9.5%	9.0%	7.8%	7.4%	7.1%	6.1%	6.9%	10.4%	11.5%	7.6%	8.9%	9.4%	11.3%	9.2%	8.3%	9.9%	10.4%					
45 デンマーク	9.1%	7.3%	9.9%	9.0%	8.1%	7.7%	7.4%	3.8%	7.5%	8.9%	8.4%	8.4%												
46 スウェーデン	13.3%	13.9%	11.7%	15.7%	11.1%	10.4%			10.4%	10.4%	11.7%	11.0%	10.1%	10.0%	10.4%	10.0%	11.4%	15.3%	10.6%					
47 ノルウェー	13.5%	9.5%	11.3%	11.4%	10.4%	8.9%	10.7%	11.8%	10.6%	10.9%	6.7%	6.2%	6.2%	6.1%	8.1%			7.8%	7.1%					
48 ポーランド																	10.2%	7.6%	6.1%					
49 ドイツ	7.4%	8.8%	6.8%	7.3%	6.7%		6.2%	7.2%	7.8%	7.6%	8.9%	8.9%	8.3%	9.2%	15.4%	8.9%	7.6%	12.5%	12.7%					
54 アルゼンチン																	17.7%							
56 チリ																	50.2%	55.9%	51.9%					
57 コロンビア																		42.2%	※2020年以降は効率的な経済に移行					
61 オーストラリア	10.7%	14.8%	20.2%	15.0%	14.7%				10.8%	14.5%			12.0%	17.0%	15.4%			16.2%						
64 ニュージーランド	18.8%	17.2%	18.6%	18.7%																				
65 シンガポール	12.7%	11.2%	13.5%	17.0%	11.8%					15.3%	21.4%	20.3%	15.0%											
81 日本	1.6%	3.6%	1.1%	1.6%	2.4%	5.5%	7.9%	5.4%	4.9%	7.1%	5.4%	7.1%	5.3%	6.4%	6.8%	7.5%	8.8%	7.3%	7.8%					
82 韓国	24.2%						22.4%	13.9%	11.8%	17.2%	14.6%	13.6%		9.8%	28.1%	25.0%	32.6%	33.0%	34.3%					
101 カナダ	11.7%	10.0%	12.4%	14.6%	8.7%						17.0%	16.8%	17.4%	21.2%	23.1%	24.0%		21.3%	17.7%					
351 ポルトガル			3.8%			13.7%			10.4%	14.9%	16.2%	16.0%	18.4%	18.7%	15.9%			24.4%						
352 ルクセンブルグ											19.2%	16.4%	19.1%	18.3%	16.5%	20.3%		18.4%	14.5%					
353 アイルランド	12.7%	11.3%	11.0%	12.6%	9.8%	11.2%	10.0%		8.4%	8.4%	8.0%	14.7%	8.3%	18.5%	16.9%	14.8%	19.1%	18.9%						
354 アイスランド	17.2%	18.3%	19.5%	19.4%	20.0%	20.9%	17.2%	20.1%	19.1%															
357 キプロス															20.1%	18.4%	16.4%	24.9%	22.6%					
358 フィンランド	6.8%	8.3%	5.4%	6.2%	7.0%	8.7%	7.9%	6.1%	7.3%	8.1%	9.4%	9.3%	9.1%	13.3%	12.0%									
371 ラトヴィア																		28.0%						
372 エストニア													10.6%	19.0%	21.7%	22.3%								
385 クロアチア																	22.4%	25.6%	30.5%					
386 スロベニア	11.5%	12.6%	9.9%	10.3%	9.1%	11.1%	10.1%	11.4%	9.8%	10.0%	14.7%	14.7%	12.3%	10.0%	14.3%	16.7%	16.3%	16.6%	13.3%					
420 チェコ					12.8%					14.6%	15.3%													
421 スロバキア													19.0%	18.8%	※2016年より再度効率主導	19.2%		19.8%	19.9%					
507 パナマ																	20.4%	48.6%	56.6%					
598 ウルグアイ																	27.8%		37.3%					
787 プエルトリコ					15.4%						16.8%	19.4%	14.6%	25.3%	24.7%	28.8%		31.2%						
852 香港	8.5%	8.9%	8.0%		16.3%	9.9%									19.7%									
868 トリニダード・トバゴ									32.2%	37.1%	37.8%	30.9%	33.7%											
886 台湾	19.3%								27.8%	29.7%	26.8%	29.1%	28.1%	27.5%	28.3%	29.5%	27.4%	16.8%	17.4%					
966 サウジアラビア																	33.3%	35.7%	33.0%					
968 オマーン																		63.8%	60.6%					
971 アラブ首長国連邦					8.5%	39.8%	42.9%		6.4%						49.3%	56.3%	43.5%	47.1%	36.2%					
972 イスラエル	17.5%		20.4%			15.8%	18.2%	17.5%	16.1%		14.5%	26.7%		26.3%	25.6%	30.6%	31.9%	30.4%	22.9%					
974 カタール													55.5%		42.3%	18.8%	31.1%	50.6%	52.4%					

付表5 休業・廃業																														
【質問】過去12ヶ月以内に、所有、経営していた何らかの自営業、物品の販売業、サービス業を休業または廃業した（「はい」と回答した割合）																														
	国名	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020										
要素主導型経済																1.5%														
7 ロシア														※2018年以降は再度効率主導型経済に移行																
20 エジプト																	4.4%		2.7%		3.6%	※2015年以降は効率主導型経済に移行			6.1%	7.0%	8.8%			
62 インドネシア																								0.8%	※2020年以降は再度効率主導型経済に移行					
63 フィリピン																	8.2%					9.4%	9.3%	8.4%						
84 ベトナム																					2.5%	1.6%	2.3%		2.5%					
91 インド														5.3%			15.0%	10.2%	4.8%				1.4%	0.9%	1.8%	1.7%	2.4%	3.8%	2.9%	3.7%
92 パキスタン																				1.8%	1.2%	1.4%							3.5%	
98 イラン																		3.2%	4.0%	4.1%	4.6%	2.7%	3.7%	4.1%	4.1%	4.7%				3.2%
212 モロッコ																		2.2%				※2015年以降は効率主導型経済に移行			6.1%	2.4%	5.6%			
213 アルジェリア																			5.2%		4.9%	5.9%	2.0%							
218 リビア																					5.5%									
221 セネガル																							7.9%							
226 ブルキナファソ																						8.2%	5.6%	6.3%				3.1%		
228 トーゴ共和国																												7.7%		
233 ガーナ																				17.6%		11.0%	6.5%							
234 ナイジェリア																					1.1%	5.5%	5.5%							
237 カメルーン																							12.7%	7.0%	7.7%					
244 アンゴラ																		19.4%		14.4%		13.1%	8.8%	8.7%				18.8%		29.8%
249 スーダン																											7.8%			
251 エチオピア																					1.8%									
256 ウガンダ															23.8%	30.0%					19.9%	23.8%	22.0%	18.1%	17.0%					
260 ザンビア																					19.7%		13.2%	13.4%						
261 マダガスカル																										5.1%	3.3%		2.6%	
265 マラウイ																						28.2%	28.2%							
267 ボツワナ																						13.8%	14.9%	12.4%	12.3%					
582 ベネズエラ															12.6%		5.7%		2.1%		1.8%	2.3%								
591 ボリビア																			6.1%		5.8%			5.0%						
676 トンガ																			2.5%											
678 パヌアツ																					16.6%									
701 カザフスタン																		2.5%						2.3%	2.2%	5.1%				
880 バングラデシュ																					2.0%									
961 レバノン																			3.1%			※2015年以降は効率主導型経済に移行								
963 シリア																			4.1%											
966 サウジアラビア																			1.5%	2.6%		※2016年以降は効率主導型経済に移行								
967 イエメン																			2.0%											
970 パレスチナ																			5.9%	4.0%		5.0%								
1809 ドミニカ																		4.8%	4.2%											

効率先導型経済																					
7 ロシア	0.9%					1.3%	1.0%	0.8%	1.8%	0.7%	1.2%	0.8%	1.4%	0.9%		※2016年より要素主導型 1.5%			2.4%	2.2%	
20 エジプト															4.8%	7.3%	8.2%				
27 南アフリカ		3.4%	3.2%	2.9%	2.1%		4.5%	3.5%	3.8%	4.9%	4.1%	3.9%	3.4%	4.0%	4.4%	5.4%			4.2%		
36 ハンガリー	2.6%		0.6%	0.5%	1.1%	1.3%	0.9%	2.5%	1.7%	1.6%	2.8%	2.5%	2.7%	2.1%	1.4%						
40 ルーマニア						2.1%	2.2%	2.9%	2.0%	3.2%	2.7%	3.4%	2.5%	2.6%							
48 ポーランド	0.9%		3.9%							3.4%	2.4%	2.6%	2.9%	2.1%	3.1%	2.1%	※2018年以降はイノベーション主導型経済に移行				
51 ベルギー			11.4%		9.4%	6.2%	7.9%	6.2%	6.7%	3.9%	4.9%	3.3%	6.2%	6.7%	4.8%	4.7%	6.6%				
52 メキシコ	8.0%			9.0%	6.2%		11.1%		4.4%	3.1%	2.6%	4.8%	4.0%	4.9%	2.4%	2.7%		3.1%			
54 アルゼンチン	9.8%	10.4%	10.6%	9.5%	8.9%	6.4%	7.7%	4.2%	3.0%	3.0%	3.3%	3.8%	3.4%	4.1%	4.3%	2.4%	※2018年以降はイノベーション主導型経済に移行				
55 ブラジル	8.1%	8.1%	7.4%	5.8%	4.5%	4.5%	2.2%	2.4%	3.0%	2.5%	3.2%	2.8%	2.5%	4.7%	3.8%	3.5%	3.2%	4.8%	9.4%		
56 チリ	8.5%	9.5%		9.1%	3.0%	3.4%	4.6%	4.3%	4.0%	4.9%	3.4%	5.5%	5.5%	6.0%	4.8%	5.5%	※2018年以降はイノベ-		7.8%		
57 コロンビア					10.5%	5.9%	5.2%	4.1%	3.7%	4.6%	4.5%	3.0%	3.0%	4.7%	5.3%	4.4%	3.3%		5.8%	※2019年以降はイノベーション主導型経済に移行	
60 マレーシア					1.4%			1.2%	1.6%	2.1%	1.2%	1.2%	1.7%	1.0%	1.5%	5.1%					
62 インドネシア					5.8%								1.9%	2.2%	2.7%	1.9%	3.2%		3.7%	※2018年以降は要素主導型経済に移行	
66 タイ	7.1%			6.1%	3.3%	3.4%				3.4%	1.5%	2.3%	2.9%	2.4%	3.3%	5.7%	5.5%				
86 中国	4.9%	8.0%		5.2%	6.9%	6.1%		4.3%	3.4%	3.7%	2.4%	2.0%	1.0%	1.8%	2.5%	1.8%	1.7%	4.0%			
90 トルコ					3.8%	1.8%	2.9%		3.4%	2.5%	3.3%				3.7%		3.2%				
98 イラン																4.4%	4.1%		5.2%	3.2%	
212 モロッコ														1.8%	3.0%	3.4%	※2018年以降は要素主導型経済に移行				
216 チュニジア								2.7%	3.2%		3.5%			3.3%							
246 バルバドス													2.3%	2.6%	3.3%						
264 ナミビア													7.4%								
359 ブルガリア															1.2%	1.4%	1.0%	1.6%			
370 リトアニア										1.5%	1.5%	1.8%	1.9%								
371 ラトヴィア				2.0%	2.0%	0.6%	1.1%	2.1%	2.6%	2.1%	2.2%	1.8%		2.5%	2.5%	3.0%		※2019年以降はイノベーション主導型経済に移行			
372 エストニア										2.5%	1.3%	※2014年以降はイノベーション主導型経済に移行									
374 アルメニア																		4.3%			
375 ベラルーシ																		1.4%			
381 セルビア					2.0%	2.8%	1.7%														
382 モンテネグロ									4.4%												
383 コソボ													4.0%								
385 クロアチア	1.7%	1.3%	1.3%	1.8%	1.8%	1.9%	2.0%	2.8%	1.6%	2.1%	2.9%	2.8%	2.6%	1.7%	3.4%	1.9%	※2018年以降はイノベーション主導型経済に移行				
387 ボスニア・ヘルツェゴビナ							2.6%	2.3%	3.3%	4.0%	3.4%	3.7%	2.8%			0.6%					
389 (北) マケドニア							3.8%		1.6%		3.1%	2.5%		2.1%	1.6%	2.8%		2.6%			
501 ベリーズ										4.5%	3.0%	3.4%	※2014年以降はイノベ-				3.0%				
421 スロバキア													3.7%		8.5%		※2020年以降はイノベーション主導型経済に移行				
502 グアテマラ							5.4%	3.6%	3.3%			2.4%	3.1%	2.9%	2.5%	4.1%	5.1%	4.3%			
503 エルサルバドル											5.7%		9.4%		5.2%						
506 コスタリカ									1.4%		2.6%		3.5%								
507 パナマ							0.7%		1.7%	1.4%	2.8%	3.5%	1.8%	2.3%	2.4%	※2018年以降はイノベーション主導型経済に移行					
593 エクアドル			13.4%			3.8%	4.5%	3.8%		5.3%	6.2%	6.1%	6.4%	7.2%	6.8%		5.9%	#N/A			
597 スリナム												0.6%	0.1%					#N/A			
598 ウルグアイ					9.5%	5.9%	6.1%	3.4%	2.4%	2.6%	3.6%	2.4%	3.5%	3.0%	4.7%	3.4%	※2018年以降はイノベーション主導型経済に移行				
701 カザフスタン													1.9%	※2015年以降は要素主導型経済に移行					15.4%		
876 ジャマイカ			13.4%	5.3%		6.1%	8.5%	6.4%				5.8%	5.6%	4.4%	4.1%						
961 レバノン															4.5%	5.4%	4.5%				
962 ヨルダン			9.9%				4.6%								3.9%			8.3%			
966 サウジアラビア															3.5%	6.7%	※2018年以降はイノベーション主導型経済に移行				
995 ジョージア (グルジア)													1.8%		3.1%						

イノベーション主導型経済																				
1 米国	3.4%	3.8%	2.2%	3.6%	2.6%	3.0%	2.7%	2.3%	2.7%	2.9%	2.8%	2.5%	2.2%	2.0%	2.0%	2.8%	2.9%	4.4%		
30 ギリシャ		3.0%	2.6%	3.0%	2.7%	1.8%	2.3%	1.8%	2.6%	2.4%	3.7%	4.1%	2.2%	3.0%	3.8%	4.7%	2.8%	2.0%		
31 オランダ	1.7%	1.6%	1.2%	1.5%	0.8%	0.5%	1.0%	1.8%	0.9%	1.4%	1.5%	1.6%	1.3%	1.7%	2.1%	2.1%	1.9%	1.6%	3.5%	
32 ベルギー	1.3%	1.5%	1.0%	1.3%	1.1%	0.6%	1.2%	0.8%	0.6%	0.4%	1.4%	1.0%	1.0%	0.9%						
33 フランス	0.7%	1.0%	4.2%	3.8%	3.0%	2.0%	1.7%	1.3%	1.3%	1.6%	1.2%	1.3%	0.9%		1.5%	1.9%	1.9%			
34 スペイン	4.9%	1.5%	1.5%	1.4%	1.2%	0.6%	1.0%	1.4%	1.3%	1.5%	1.6%	1.4%	1.3%	1.1%	1.2%	1.3%	1.2%	1.2%	1.0%	
39 イタリア	2.1%	1.3%	2.2%	1.6%	1.3%	1.2%	1.2%	0.7%	1.1%		1.6%	1.4%	1.6%	1.4%	0.8%	1.1%	1.1%	0.5%	0.3%	
41 スイス	2.0%	1.4%		1.7%		1.5%		1.3%	1.4%	1.6%	0.9%	1.4%	0.6%	1.0%	1.3%	0.4%	1.0%	1.2%	1.2%	
43 オーストリア				1.3%		1.3%					2.3%	1.7%			2.0%		3.1%	2.1%		
44 英国	1.7%	2.1%	2.0%	1.8%	2.0%	1.2%	1.3%	1.6%	1.3%	1.5%	1.2%	1.4%	1.5%	1.5%	1.6%	1.9%	1.9%	2.5%	2.3%	
45 デンマーク	1.8%	1.5%	2.0%	1.8%	1.8%	0.9%	1.1%	0.5%	1.3%	1.5%	1.1%		1.5%							
46 スウェーデン	3.2%	4.2%	2.2%	2.3%	2.2%	1.4%			2.2%	2.5%	1.6%	1.7%	1.6%	1.9%	2.1%	2.1%	2.8%	2.3%	2.3%	
47 ノルウェー	2.5%	2.7%	2.6%	3.4%	2.8%	1.4%	2.7%	2.4%	1.9%	1.4%	1.1%	1.2%	1.5%	1.1%				1.8%	1.3%	
48 ボーランド																	1.4%	2.4%	2.8%	
49 ドイツ	2.2%	1.9%	2.1%	1.3%	1.9%		1.0%	1.3%	0.9%	1.3%	1.2%	1.0%	1.0%	1.3%	1.1%	1.0%	1.1%	2.2%	1.4%	
54 アルゼンチン																	2.5%			
56 チリ																	5.3%	6.5%	7.8%	
57 コロンビア																		4.2%	※2020年より再度効率主導型経済に移行	
61 オーストラリア	2.7%	3.3%	4.6%	3.8%	3.9%				1.5%	2.7%			2.2%	2.9%	2.4%	2.8%		3.2%		
64 ニュージーランド	4.1%	4.4%	4.8%	3.1%																
65 シンガポール	1.9%	1.5%	2.2%	2.3%	2.2%					1.5%	2.0%	1.9%	1.5%							
81 日本	0.9%	0.9%	0.8%	0.5%	1.2%	2.0%	0.6%	1.0%	1.1%	0.6%	0.6%	1.1%	0.6%	0.9%	1.3%	0.8%	0.9%	0.6%	1.0%	
82 韓国	8.2%						2.6%	2.4%	1.3%	2.4%	2.0%	1.8%		1.1%	0.9%	1.8%	1.5%	1.9%	2.3%	
101 カナダ	2.3%	3.6%	2.3%	2.2%	2.4%							2.6%	2.1%	2.7%	3.4%	3.3%	4.6%	3.6%	5.6%	
351 ポルトガル			1.2%			2.6%			1.5%	1.8%	2.1%	1.7%	2.0%	2.3%	1.2%			1.5%		
352 ルクセンブルグ												2.0%	1.6%	2.9%	2.2%	2.3%	1.9%	2.3%	1.9%	
353 アイルランド	1.8%	2.5%	1.3%	2.2%	1.8%	1.9%	1.8%		1.2%	2.8%	1.2%	1.9%	1.2%	2.1%	1.8%	1.9%	1.9%	2.5%		
354 アイスランド	3.9%	3.7%	3.1%	2.4%	2.8%	2.4%	2.4%	2.8%	3.0%								2.7%			
357 キプロス															2.9%		1.7%	1.5%	2.2%	
358 フィンランド	0.9%	1.4%	1.4%	1.6%	1.9%	0.7%	1.1%	1.1%	1.4%	1.2%	1.1%	1.3%	1.2%	1.5%	1.2%					
371 ラトヴィア																		2.7%		
372 エストニア												1.3%		1.4%	2.7%	2.9%				
385 クロアチア																	2.2%	2.0%	2.9%	
386 スロベニア	0.8%	1.3%	0.9%	1.1%	1.0%	1.2%	1.2%	0.9%	1.1%	1.0%	0.8%	1.9%	1.0%	1.1%	1.3%	1.5%	1.6%	1.4%	1.1%	
420 チェコ					3.8%					1.9%		2.2%								
421 スロバキア													3.3%	3.5%	※2016年より再度効率主		2.5%	2.7%	3.1%	
507 パナマ																	3.1%	4.5%	10.6%	
598 ウルグアイ																	4.9%		6.3%	
787 ブエルトリコ					1.8%							1.3%	2.9%	0.6%	2.1%	1.8%	2.2%	1.3%		
868 トリニダード・トバゴ	3.6%	1.9%	2.1%		3.5%		1.1%								2.4%					
852 香港								2.2%	3.1%	3.8%	3.4%	2.2%								
886 台湾	5.1%								1.6%	2.0%	2.5%	1.9%	2.3%	1.4%	1.8%	1.6%	2.2%	1.4%	1.4%	
966 サウジアラビア																	5.3%	5.1%	5.5%	
968 オマーン																		11.5%	8.1%	
971 アラブ首長国連邦					4.7%	4.7%		3.7%		2.2%					1.3%	4.3%	3.2%	5.5%	4.6%	
972 イスラエル	4.5%		5.6%			1.6%	1.8%	2.2%	2.5%		2.5%	3.2%		3.5%	3.2%	3.6%	3.6%	3.8%	3.0%	
974 カタール													3.0%		3.1%	4.2%	1.9%	6.6%	6.3%	

付表6 起業活動の社会への浸透																				
【質問】過去2年以内に新たにビジネスを始めた人を個人的に知っている（「はい」と回答した割合）																				
国名	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2105	2016	2017	2018	2019	2020
要素主導型経済																				
7 ロシア																37.4%		※2018年以降は再度効率主導型経済に移行		
20 エジプト								43.8%		46.0%		30.6%			※2015年以降は効率主導型経済に移行			11.7%	52.0%	34.9%
62 インドネシア																		72.1%		※2020年以降は再度効率主導型経済に移行
63 フィリピン						51.1%							41.1%	33.3%	46.2%					
84 ベトナム													57.4%	48.6%	64.8%		60.1%			
91 インド	14.9%	25.2%				63.3%	77.4%	60.5%					38.6%	23.1%	37.6%	33.3%	30.8%	31.5%	64.4%	61.9%
92 パキスタン									48.2%	32.2%	37.9%							※2017年以降は効率主導型経済に移行	44.8%	
98 イラン								46.3%	48.3%	41.6%	36.4%	39.9%	42.7%	35.2%	45.9%	50.6%				
212 モロッコ									46.9%						※2015年以降は効率主導型経済に移行			34.1%	51.2%	42.3%
213 アルジェリア									58.8%		48.3%	60.0%	52.6%							
218 リビア													28.4%							
221 セネガル															62.9%					
226 ブルキナファソ														63.3%	69.0%	65.9%				60.7%
228 トーゴ共和国																				68.5%
233 ガーナ										53.0%		55.7%	59.3%							
234 ナイジェリア											85.1%	76.7%	79.8%							
237 カメルーン														58.6%	61.4%	59.0%				
244 アンゴラ								71.0%		68.8%		67.4%	71.6%	72.9%				56.7%		70.7%
249 スーダン																		59.3%		
251 エチオピア												56.0%								
256 ウガンダ			56.7%	73.5%					63.8%	70.3%		68.8%	68.9%	67.9%						
260 ザンビア										70.7%		77.5%	72.7%							
261 マダガスカル																	51.9%	53.5%	51.0%	
265 マラウイ												74.8%	78.2%							
267 ボツワナ												48.3%	45.0%	45.4%	49.1%					
582 ベネズエラ			51.1%		55.3%		47.6%		45.0%		41.9%									
591 ボリビア								46.2%		50.4%				48.1%						
676 トンガ									65.8%											
678 バヌアツ										85.1%										
701 カザフスタン							50.9%								62.0%	61.9%	54.4%			
880 バングラデシュ											37.6%									
961 レバノン								45.4%							※2015年以降は効率主導型経済に移行					
963 シリア								30.9%												
966 サウジアラビア								36.9%	46.5%						※2016年以降は効率主導型経済に移行					
967 イエメン								37.2%												
970 パレスチナ								45.2%	52.7%		39.7%									
1809 ドミニカ							55.5%	59.3%												

効率先導型経済																					
7	ロシア	40.5%	33.9%				41.1%	16.9%	35.5%	31.6%	34.0%	37.5%	33.8%	39.3%	41.4%	※2016年より要素主導型 35.6%				57.2%	54.5%
20	エジプト															18.1%	18.9%	15.0%	※2020年以降は再度要素主導型経済に移行		
27	南アフリカ	26.6%	24.5%	32.8%	32.1%	31.1%	34.2%		44.9%	39.8%	38.6%	33.1%	30.2%	31.4%	29.0%	35.0%	31.0%	30.2%	28.3%		
36	ハンガリー	37.0%	34.2%		32.0%	25.3%	26.3%	29.9%	29.9%	31.7%	32.8%	28.6%	27.6%	28.0%	28.7%	31.4%	27.1%				
40	ルーマニア							41.6%	37.9%	35.5%	39.1%	29.4%	30.4%	28.3%	28.6%	32.1%					
48	ポーランド	36.9%	30.0%		48.9%							39.0%	40.9%	37.8%	39.0%	43.2%	47.4%	46.1%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行		
51	ベルー				59.4%		55.1%	54.6%	56.1%	58.8%	63.9%	56.7%	45.9%	46.0%	52.6%	48.2%	48.9%	49.4%	53.2%		
52	メキシコ	25.7%	54.1%			37.1%	33.0%		52.7%		54.6%	47.2%	41.7%	56.5%	47.7%	47.9%	50.8%	34.2%	46.4%		
54	アルゼンチン	31.9%	36.7%	34.4%	34.5%	38.3%	35.5%	36.2%	35.2%	33.7%	41.7%	34.2%	33.9%	35.4%	29.7%	33.3%	31.6%	28.4%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行		
55	ブラジル	37.3%	40.2%	34.0%	37.4%	42.1%	40.4%	34.4%	47.9%	38.9%	43.4%	39.4%	33.6%	38.0%	37.7%	51.7%	41.3%	42.7%	34.4%	51.6%	
56	チリ		42.6%	43.5%		46.8%	47.9%	47.4%	45.5%	49.0%	49.5%	37.3%	41.8%	42.2%	48.3%	43.7%	40.4%	43.4%	65.8%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行	
57	コロンビア						37.8%	39.0%	41.2%	36.3%	40.9%	31.4%	30.0%	22.8%	26.8%	29.1%	48.1%	41.7%	42.1%	66.9%	
60	マレーシア						59.4%			61.6%	47.8%	41.4%	46.0%	45.2%	44.6%	36.9%	35.9%	42.1%		※2019年 以降は要素主導型経済に移行	
62	インドネシア						51.3%								66.9%	68.1%	68.3%	65.5%	71.3%	79.2%	
66	タイ		37.1%			36.1%	35.1%	27.0%				31.5%	34.7%	35.6%	36.4%	32.6%	32.5%	30.8%	29.3%		
86	中国		58.8%	53.4%		47.0%	51.6%	64.5%		57.3%	59.7%	67.7%	52.4%	48.4%	56.0%	50.4%	50.5%	48.8%	45.7%	66.2%	
90	トルコ						34.5%	33.6%	31.1%			36.4%	24.6%	34.1%			24.3%		25.3%		
98	イラン																	49.1%	44.5%	55.1%	
212	モロッコ															30.4%	43.6%	44.5%	※2018年 以降は要素主導型経済に移行		
216	チュニジア									36.6%	57.5%		34.6%			48.8%					
246	バルバドス											28.3%	31.5%		45.5%	34.6%					
264	ナミビア												66.4%								
359	ブルガリア															39.8%	40.0%	35.6%	33.5%		
370	リトアニア											28.4%	32.9%	37.1%	32.4%						
371	ラトヴィア					52.6%	48.3%	41.9%	35.5%	46.3%	39.5%	28.7%	32.3%	31.0%		32.8%	35.6%	34.1%	※2019年 以降は要素主導型経済に移行		
372	エストニア											37.5%	36.8%	※2014年以降はイノベーション主導型経済に移行							
374	アルメニア																		55.6%		
375	ベラルーシ																		50.4%		
381	セルビア						54.6%	54.0%	50.3%												
382	モンテネグロ										59.9%										
383	コソボ														49.4%						
385	クロアチア		39.2%	49.0%	41.8%	49.0%	47.4%	56.1%	52.2%	43.2%	35.1%	24.9%	23.5%	24.4%	25.1%	24.6%	30.7%	32.3%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行		
387	ボスニア・ヘルツェゴビナ								42.5%	36.7%	44.1%	29.2%	29.6%	33.7%	28.5%			31.3%			
389	(北) マケドニア							51.4%		41.5%		31.3%	32.9%		35.2%	36.1%	34.0%		52.4%		
501	ペリーズ											48.2%	42.5%	38.8%	※2014年以降はイノ		33.0%				
421	スロバキア														50.8%		57.2%				
502	グアテマラ								52.9%	50.3%	50.8%		32.4%	26.7%	31.0%	34.2%	43.4%	42.8%	68.4%		
503	エルサルバドル											39.8%			41.5%		41.0%				
506	コスタリカ										58.3%		40.5%		41.4%						
507	パナマ								38.6%		43.2%	30.8%	57.9%	39.5%	53.7%	51.5%	55.5%				
593	エクアドル			48.9%					38.3%	37.0%	41.2%		34.2%	37.7%	37.9%	39.5%	38.4%	37.7%	59.2%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行	
597	スリナム													46.4%	40.3%						
598	ウルグアイ					40.2%	33.1%	45.1%	42.9%	43.7%	34.0%	35.6%	33.1%	32.4%	34.8%	31.1%	36.8%				
701	カザフスタン													63.1%	※2015年以降は要素主導型経済に移行				84.3%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行	
876	ジャマイカ					47.7%	47.0%		50.1%	51.2%	53.9%	47.3%		44.9%	44.0%	62.1%	47.4%				
961	レバノン																66.8%	62.7%	53.1%		
962	ヨルダン				64.8%					42.4%							30.6%		46.5%		
966	サウジアラビア																71.7%	70.8%	※2018年 以降はイノベーション主導型経済に移行		
995	ジョージア (グルジア)													21.0%			25.3%				

イノベーション主導型経済																					
1	米国	43.5%	37.4%	38.5%	35.8%	41.4%	34.2%	32.5%	37.2%	32.5%	28.8%	27.0%	28.9%	27.2%	28.8%	29.8%	30.6%	32.8%	38.5%	60.8%	60.9%
30	ギリシャ			34.5%	43.5%	27.0%	32.1%	28.9%	39.2%	44.0%	40.0%	30.9%	27.8%	25.0%	25.9%	27.5%	22.7%	22.8%	23.5%	30.1%	
31	オランダ	33.0%	30.4%	28.3%	30.9%	31.6%	28.9%	33.7%	35.0%	33.6%	38.1%	33.9%	35.0%	34.6%	33.5%	32.4%	34.7%	36.8%	36.0%	51.5%	60.8%
32	ベルギー	30.3%	27.9%	31.0%	29.8%	36.6%	27.7%	31.1%	29.5%	29.1%	24.0%	25.5%	22.1%	18.6%	19.5%	17.2%					
33	フランス	22.2%	29.1%	26.3%	41.0%	45.2%	46.6%	48.6%	32.9%	36.4%	47.8%	43.4%	33.8%	33.2%	35.9%		33.2%	33.2%	33.2%		
34	スペイン	44.0%	43.6%	26.4%	26.8%	31.8%	34.1%	33.5%	37.6%	30.3%	32.4%	28.7%	31.1%	30.8%	35.7%	33.7%	35.6%	33.0%	33.4%	42.1%	37.3%
39	イタリア	33.6%	39.2%	32.3%	34.9%	30.8%	36.9%	38.1%	32.0%	29.9%	30.4%		20.1%	16.8%	24.2%	28.2%	27.9%	20.5%	26.0%	44.7%	30.6%
41	スイス		40.7%	44.0%		40.9%		34.6%		40.9%	33.5%	27.1%	32.3%	30.0%	28.6%	29.0%	31.3%	33.9%	28.4%	54.7%	44.6%
43	オーストリア					40.5%		42.1%					38.6%		35.3%		39.9%		39.7%		53.9%
44	英国	30.1%	23.1%	24.6%	27.6%	29.2%	27.2%	25.7%	26.0%	23.6%	34.2%	32.0%	30.1%	29.3%	31.0%	29.7%	33.2%	33.2%	33.3%	49.1%	49.8%
55	デンマーク	42.1%	50.7%	44.5%	49.7%	46.3%	43.1%	44.4%	44.0%	42.5%	41.7%	32.4%	33.5%		32.2%						
46	スウェーデン	49.3%	50.6%	49.1%	44.2%	48.4%	45.9%	46.6%			53.9%	41.4%	41.0%	37.1%	37.5%	38.7%	37.3%	36.1%	39.2%	54.6%	48.5%
47	ノルウェー	46.8%	42.6%	41.7%	40.2%	43.0%	43.1%	35.7%	38.7%	41.4%	37.8%	38.9%	35.2%	32.4%	32.2%	31.2%				43.3%	44.7%
48	ポーランド																		40.1%	50.2%	62.7%
49	ドイツ	36.3%	39.3%	36.8%	37.9%	38.5%	34.0%		31.1%	31.1%	30.0%	25.5%	24.3%	25.0%	24.0%	23.6%	22.4%	24.1%	23.7%	46.4%	44.4%
54	アルゼンチン																		36.9%		
56	チリ																		42.1%		
57	コロンビア																			71.0%	65.8%
61	オーストラリア	48.9%	34.8%	44.8%	41.7%	42.8%	40.7%				30.3%	29.1%			27.7%	33.8%	34.9%	34.8%		55.9%	
64	ニュージーランド	46.3%	46.4%	46.0%	43.7%	43.6%															
65	シンガポール	23.6%	27.6%	25.9%	25.7%	31.3%	26.1%					16.6%	18.7%	18.4%	18.5%						
81	日本	16.2%	12.9%	21.4%	29.7%	29.3%	28.0%	22.7%	23.2%	21.1%	17.4%	14.9%	14.0%	16.7%	15.6%	18.6%	18.7%	18.9%	19.4%	17.1%	23.3%
82	韓国	44.7%	53.0%						37.8%	50.4%	31.1%	26.2%	28.7%	30.6%		37.1%	39.1%	42.9%	43.5%	37.1%	39.9%
101	カナダ	33.6%	34.3%	35.3%	34.1%	36.0%	30.6%						28.0%	30.9%	31.6%	36.3%	39.2%	39.9%		55.1%	51.0%
351	ポルトガル	26.6%			37.8%			38.9%			33.1%	24.3%	25.3%	25.5%	28.6%	27.9%	25.1%			50.7%	
352	ルクセンブルグ													35.8%	34.6%	36.4%	37.2%	35.4%	35.3%	46.4%	45.9%
353	アイルランド	48.5%	46.7%	42.5%	41.3%	42.9%	39.3%	39.0%	37.2%		34.6%	39.5%	37.3%	31.5%	35.8%	33.2%	31.4%	30.0%	32.4%	55.8%	
354	アイスランド		57.4%	88.1%	66.0%	60.5%	60.8%	63.2%	64.5%	61.7%	48.8%										
357	キプロス																32.2%	38.0%	33.2%	56.0%	68.1%
358	フィンランド	52.6%	48.0%	50.1%	36.3%	47.8%	46.7%	54.8%	50.4%	50.4%	43.7%	46.0%	41.8%	45.5%	43.1%	45.2%	44.0%				
371	ラトヴィア																			47.0%	
372	エストニア														42.0%	39.3%	38.3%	46.5%			
385	クロアチア																		34.6%	66.2%	67.8%
386	スロヴェニア		44.6%	47.0%	46.8%	31.9%	44.9%	49.4%	53.6%	54.9%	49.0%	36.8%	40.1%	39.3%	40.5%	37.2%	41.8%	39.0%	38.5%	60.4%	
420	チェコ						33.0%					23.9%		23.0%							
421	スロバキア														42.6%	36.5%	※2016年より再度効率主	35.0%		65.1%	71.9%
507	パナマ																		56.2%	45.4%	52.6%
598	ウルグアイ																		38.3%		63.6%
787	プエルトリコ							37.5%						22.6%	20.3%	24.4%	20.9%	20.1%	18.3%	45.7%	
868	トリニダード・トバゴ	25.3%	27.8%	28.1%				37.5%		28.5%							39.6%				
852	香港										45.9%	39.0%	37.3%	39.1%	41.9%						
886	台湾		30.8%								38.9%	33.1%	31.3%	35.3%	36.0%	35.3%	36.5%	41.0%	41.0%	35.6%	32.3%
966	サウジアラビア																		79.1%	82.6%	57.3%
968	オマーン																			71.1%	84.2%
971	アラブ首長国連邦						30.4%	40.8%		47.3%		31.2%					61.7%	66.0%	27.9%	61.5%	65.5%
972	イスラエル	32.1%	40.9%		40.5%			37.6%	37.8%	39.3%	35.9%		28.6%	40.7%		56.4%	50.5%	60.2%	56.1%	72.6%	68.1%
974	カタール														34.8%		30.2%	28.2%	44.9%	62.4%	52.6%

付表7 失敗に対する怖れ																					
【質問】失敗することに対する怖れがあり、起業を躊躇している（「はい」と回答した割合）																					
	国名	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
要素主導型経済																					
7	ロシア																44.7%		※2018年以降は再度効率主導型経済に移行		
20	エジプト								29.4%		34.4%		35.6%			※2015年以降は効率主導型経済に移行30.9%				50.1%	37.5%
62	インドネシア																		41.9%		※2020年以降は再度効率主導型経済に移行
63	フィリピン						37.8%							39.2%	40.0%	36.3%					
84	ベトナム													60.5%	56.1%	52.1%		54.9%			
91	インド	29.9%	24.8%				36.2%	46.9%	44.2%					35.6%	35.7%	30.8%	34.7%	34.5%	40.1%	55.4%	48.8%
92	パキスタン										27.7%	31.2%	27.7%							52.8%	
98	イラン								23.1%	31.6%	37.5%	25.3%	39.9%	36.1%	35.1%	40.4%	46.2%				39.9%
212	モロッコ									25.4%						※2015年以降は効率主導型経済に移行51.2%			41.6%	39.4%	
213	アルジェリア									27.3%		38.9%	31.7%	35.0%							
218	リビア													33.5%		15.6%					
221	セネガル															22.4%					
226	ブルキナファソ														21.0%		22.8%				43.4%
228	トーゴ共和国																				44.0%
233	ガーナ										11.8%		18.0%	25.6%							
234	ナイジェリア											29.8%	22.6%	18.5%							
237	カメルーン														25.7%	25.9%	22.8%				
244	アンゴラ								35.8%		26.8%		33.0%	42.1%	37.5%				19.3%		34.7%
249	スーダン																		34.0%		
251	エチオピア												35.0%								
256	ウガンダ			31.7%	27.9%					29.8%	22.5%		18.6%	17.7%	12.9%						
260	ザンビア										13.9%		18.2%	20.1%							
261	マダガスカル																	40.3%	34.1%	37.9%	
265	マラウイ												15.3%	17.3%							
267	ボツワナ												25.6%	20.1%	19.8%	23.5%					
582	ベネズエラ			34.1%		32.5%		23.1%		28.3%		23.5%									
591	ボリビア								40.5%		30.3%				38.8%						
676	トンガ									66.8%											
678	バヌアツ										48.3%										
701	カザフスタン							51.5%								50.7%	29.6%	19.4%			
880	バングラデシュ											63.1%									
961	レバノン									25.6%						※2015年以降は効率主導型経済に移行					
963	シリア									20.3%											
966	サウジアラビア									43.6%	37.8%					※2016年以降は効率主導型経済に移行					
967	イエメン										42.7%										
970	パレスチナ									41.9%	43.0%		39.6%								
1809	ドミニカ							26.5%	28.4%												

57

付表8 事業機会の認識																						
【質問】今後6ヶ月以内に、自分が住む地域に起業に有利なチャンスが訪れると思う（「はい」と回答した割合）																						
	国名	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
要素主導型経済																						
7	ロシア																17.9%		※2018年以降は再度効		33.4%	
20	エジプト								34.9%		38.8%		53.7%			※2015年以降は効率主導型経済に移行			39.3%	73.5%	65.7%	
62	インドネシア																		54.9%		※2020年以降は再度効率主導型経済に移行	
63	フィリピン						58.0%							47.9%	45.6%	53.8%						
84	ベトナム													36.8%	41.5%	56.8%		46.4%				
91	インド	30.9%	42.9%				52.1%	71.0%	58.5%					41.4%	42.8%	37.8%	44.3%	44.9%	49.8%	83.1%	82.5%	
92	パキスタン										51.9%	39.7%	46.5%							62.3%		
98	イラン								33.7%	30.8%	41.6%	32.0%	39.2%	37.0%	29.6%	40.3%	34.4%				13.3%	
212	モロッコ									50.7%						※2015年以降は効率主導型経済に移行			33.6%	57.7%	57.3%	
213	アルジェリア									48.4%		54.3%	45.7%	61.9%								
218	リビア													52.3%								
221	セネガル															69.9%						
226	ブルキナファソ														65.0%	58.1%	61.9%				75.5%	
228	トーゴ共和国																				78.5%	
233	ガーナ										75.7%		79.3%	69.3%								
234	ナイジェリア											85.5%	82.2%	84.7%								
237	カメルーン														72.8%	60.7%	63.8%					
244	アンゴラ								74.4%		67.3%		66.2%	56.7%	71.0%				74.0%		75.6%	
249	スーダン																		71.0%			
251	エチオピア												64.9%									
256	ウガンダ			61.6%	71.7%					73.8%	80.5%		80.7%	81.1%	79.8%							
260	ザンビア										81.4%		77.9%	76.8%								
261	マダガスカル																	24.4%	30.6%	46.8%		
265	マラウイ												74.3%	78.9%								
267	ボツワナ												66.7%	65.9%	59.0%	57.8%						
582	ベネズエラ			43.3%		65.0%		56.0%		48.2%		48.4%										
591	ボリビア								54.0%		53.2%				60.8%							
676	トンガ									56.2%												
678	バヌアツ										73.6%											
701	カザフスタン							53.8%								48.7%	44.2%	50.4%			44.8%	
880	バングラデシュ											64.4%										
961	レバノン									54.3%						※2015年以降は効率主導型経済に移行						
963	シリア									54.2%												
966	サウジアラビア									69.5%	75.8%					※2016年以降は効率主導型経済に移行						
967	イエメン										14.0%											
970	パレスチナ									49.9%	44.0%	46.1%										
1809	ドミニカ							51.5%	55.6%													

[illegible]

60

付表9 経営能力・スキル																						
【質問】新しいビジネスを始めるために必要な知識、能力、経験を持っている（「はい」と回答した割合）																						
	国名	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
要素主導型経済																						
7	ロシア																	0.2842		※2018年以降は再度効率主導型経済に移行		34.5%
20	エジプト								59.2%		63.4%		58.7%	58.7%	効率主導型経済に移行					43.0%	67.3%	56.1%
62	インドネシア																			64.0%		※2020年以降は再度効率主導型経済に移行
63	フィリピン						72.5%								68.4%	66.1%	69.0%					
84	ベトナム														48.7%	58.2%	56.8%		53.0%			
91	インド	39.9%	42.4%				62.5%	73.0%	58.0%						55.8%	36.7%	37.8%	44.0%	42.1%	52.2%	85.1%	81.7%
92	パキスタン										56.2%	42.6%	48.7%	48.7%							63.0%	
98	イラン								61.3%	57.9%	65.7%	46.4%	54.2%	54.2%	56.5%	59.5%	62.0%	59.3%				64.9%
212	モロッコ									74.6%					※2015年以降は効率主導型経済に移行				29.5%	62.4%	63.4%	
213	アルジェリア								52.1%		59.6%	54.1%	54.1%	55.5%								
218	リビア														58.6%							
221	セネガル																89.0%					
226	ブルキナファソ															65.9%	78.0%	76.7%				84.1%
228	トーゴ共和国																					91.9%
233	ガーナ										74.6%		86.3%	86.3%	85.8%							
234	ナイジェリア											83.7%	87.9%	87.9%	87.0%							
237	カメルーン															73.8%	73.1%	75.8%				
244	アンゴラ								52.0%		73.1%		72.1%	72.1%	56.3%	61.7%				75.6%		82.3%
249	スーダン																			74.5%		
251	エチオピア													69.1%	69.1%							
256	ウガンダ				85.6%	78.4%				84.8%	86.7%		87.7%	87.7%	83.8%	84.9%						
260	ザンビア										77.5%		83.7%	83.7%	79.6%							
261	マダガスカル																		55.4%	51.5%	73.5%	
265	マラウイ												84.5%	84.5%	89.5%							
267	ボツワナ												70.6%	70.6%	67.4%	67.1%	74.1%					
582	ベネズエラ				82.3%	74.8%		66.2%		59.3%		66.9%										
591	ボリビア								76.2%		75.8%					73.1%						
676	トンガ										53.0%											
678	パヌアツ										79.6%											
701	カザフスタン							41.0%									52.1%	50.0%	64.7%	※2018年以降、効率主導型経済に移行		
880	バングラデシュ											23.6%										
961	レバノン								76.8%			※2015年以降は効率主導型経済に移行										
963	シリア								61.9%													
966	サウジアラビア								72.5%	69.3%		※2016年以降は効率主導型経済に移行										
967	イエメン									63.6%												
970	パレスチナ								55.6%	57.0%			59.4%	59.4%								
1809	ドミニカ							82.5%	76.5%													

[illegible]

63

付表10 職業選択に関する評価																			
【質問】あなたの国の多くの人たちは、新しいビジネスを始めることが望ましい職業の選択であると考えている（「はい」と回答した割合）																			
	国名	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
要素主導型経済																			
7	ロシア														63.4%		※2018年以降は再度効率的な経済に移行		75.3%
20	エジプト						72.8%		77.7%		83.0%			※2015年以降は効率的な経済に移行			74.0%	80.0%	71.5%
62	インドネシア																71.9%		※2020年以降は再度効率的な経済に移行
63	フィリピン				82.6%							84.9%	81.8%	74.6%					
84	ベトナム											63.4%	67.2%	73.3%		62.1%			
91	インド				67.1%	66.8%	67.2%					61.5%	57.9%	39.3%	44.4%	53.0%	63.7%	89.5%	85.2%
92	パキスタン									76.3%	73.7%	66.4%						80.1%	
98	イラン						56.6%	56.3%	63.6%	61.1%	60.2%	64.1%	52.3%	56.3%	52.4%				47.3%
212	モロッコ								83.3%					※2015年以降は効率的な経済に移行			61.1%	81.5%	82.9%
213	アルジェリア								57.3%		80.3%	78.9%	79.6%						
218	リビア											85.2%							
221	セネガル																		
226	ブルキナファソ													73.8%	80.6%				74.7%
228	トーゴ共和国																		86.9%
233	ガーナ									91.1%		84.0%	81.6%						
234	ナイジェリア										87.8%	81.7%	81.2%						
237	カメルーン													61.1%	57.3%				
244	アンゴラ						48.6%		70.1%			66.8%	75.1%				74.4%		74.2%
249	スーダン																79.4%		
251	エチオピア											76.2%							
256	ウガンダ	87.4%	91.3%						81.3%	81.1%			88.3%						
260	ザンビア								69.9%		67.3%	66.5%							
261	マダガスカル															83.6%	87.2%	94.4%	
265	マラウイ																		
267	ボツワナ										76.1%	80.7%	69.9%	70.1%					
582	ベネズエラ	79.6%		84.3%		76.6%		76.2%		83.1%									
591	ボリビア						80.8%		62.9%				70.3%						
676	トンガ							90.6%											
678	バヌアツ								55.6%										
701	カザフスタン					83.9%								76.9%	74.3%	59.7%	※2018年以降は効率的な経済に移行		
880	バングラデシュ									73.0%									
961	レバノン							85.0%						※2015年以降は効率的な経済に移行					
963	シリア							88.8%											
966	サウジアラビア							80.0%	86.8%								※2016年以降は効率的な経済に移行		93.7%
967	イエメン							95.3%											
970	パレスチナ							88.0%	85.3%		84.6%								
1809	ドミニカ					96.2%	91.7%												

65

66

付表11 起業家の社会的な地位に対する評価																			
【質問】あなたの国では、新しくビジネスを始めて成功した人は高い地位と尊敬をもつようになる（「はい」と回答した割合）																			
	国名	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
要素主導型経済																			
7	ロシア														65. 6%		※2018年以降は再度効率型経済に移行		72. 5%
20	エジプト						84. 3%		89. 5%		87. 2%			※2015年以降は効率型主導型経済に移行			82. 6%	86. 2%	75. 7%
62	インドネシア																74. 8%		※2020年以降は再度効率型主導型経済に移行
63	フィリピン				83. 7%							79. 3%	78. 1%	76. 2%					
84	ベトナム											81. 5%	75. 9%	75. 8%		74. 8%			
91	インド				84. 3%	74. 7%	81. 6%					70. 4%	66. 2%	46. 6%	46. 7%	56. 2%	65. 0%	92. 3%	86. 1%
92	パキスタン								80. 7%	72. 7%	67. 9%							87. 7%	
98	イラン						81. 6%	78. 0%	84. 6%	72. 7%	73. 0%	82. 4%	75. 6%	82. 3%	80. 5%			86. 6%	94. 3%
212	モロッコ						87. 2%							※2015年以降は効率型主導型経済に移行			68. 3%	68. 4%	74. 0%
213	アルジェリア						58. 2%			81. 8%	81. 0%	84. 2%							
218	リビア										84. 3%								
221	セネガル																		
226	ブルキナファソ												83. 4%	90. 6%					83. 8%
228	トーゴ共和国																		91. 0%
233	ガーナ								90. 7%		91. 3%	94. 1%							
234	ナイジェリア									73. 4%	76. 0%	61. 9%							
237	カメルーン													64. 8%	69. 2%				
244	アンゴラ						65. 2%		83. 3%			72. 6%	81. 7%				80. 5%		84. 5%
249	スーダン																85. 3%		
251	エチオピア										91. 9%								
256	ウガンダ	85. 9%	87. 0%					84. 7%	87. 3%			95. 3%							
260	ザンビア								71. 8%		78. 7%	71. 2%							
261	マダガスカル															77. 8%	77. 0%	80. 6%	
265	マラウイ																		
267	ボツワナ										73. 3%	83. 7%	78. 1%	82. 0%					
582	ベネズエラ	72. 8%		77. 0%		71. 7%		68. 9%		77. 3%									
591	ボリビア						54. 7%		66. 6%				77. 0%						
676	トンガ						51. 8%												
678	バヌアツ								77. 6%										
701	カザフスタン				84. 9%									83. 9%	82. 0%	80. 1%	※2018年以降は効率型主導型経済に移行		
880	バングラデシュ									100. 0%									
961	レバノン						78. 8%							※2015年以降は効率型主導型経済に移行					
963	シリア						89. 5%												
966	サウジアラビア						89. 3%	92. 3%						※2016年以降は効率型主導型経済に移行					
967	イエメン						97. 5%												
970	パレスチナ						78. 1%	83. 5%		80. 4%									
1809	ドミニカ				87. 0%	88. 1%													

68

イノベーション主導型経済																				
1	米国	63.5%	62.9%	60.7%	49.7%	50.2%	74.4%	75.3%	75.9%				76.9%			74.4%	75.5%	78.7%	79.7%	78.3%
30	ギリシャ	74.7%	73.0%	65.7%	65.7%	65.9%	76.6%	68.2%	70.2%	69.1%	68.3%	65.1%	66.4%	67.8%	65.9%	66.5%		67.8%	49.3%	
31	オランダ	66.4%	67.3%	66.1%	65.1%	68.8%	68.8%	67.3%	68.6%	67.2%	65.2%	66.2%	67.8%	64.5%	60.2%	67.5%		63.1%	76.4%	
32	ベルギー	53.7%	68.5%	72.1%	53.4%	51.3%	46.3%	49.4%	51.2%	54.8%	57.4%	52.2%	51.7%	54.5%						
33	フランス	47.1%	70.0%	64.3%	67.8%	69.7%	69.6%	69.5%	67.9%	67.9%	76.8%	70.0%	70.4%		69.0%	74.2%		71.5%		
34	スペイン	43.8%	58.6%	59.7%	60.2%	61.0%	58.3%	54.8%	62.5%	66.5%	63.7%	52.3%	49.0%	48.4%	50.7%	47.9%		49.8%	57.8%	61.1%
39	イタリア	68.4%	66.0%	49.8%	69.4%	68.5%	63.6%	69.2%	69.3%		69.7%	72.4%	72.1%	69.0%	69.7%	73.2%		74.6%	13.1%	
41	スイス	66.6%		73.8%		72.9%		83.8%	76.4%		63.5%	65.0%	65.8%	66.5%	66.0%	73.2%		69.7%	76.2%	71.9%
43	オーストリア			69.6%		71.7%					75.8%							75.3%		79.8%
44	英国	71.3%	71.2%	73.4%	72.6%	73.6%	73.8%	73.5%	76.7%	81.0%	76.7%	79.3%	75.0%	79.2%	77.2%	75.6%		76.4%	76.7%	77.1%
45	デンマーク	75.3%	72.8%	72.5%	73.9%	79.1%	76.1%	75.1%								70.5%				
46	スウェーデン	57.1%	61.7%	62.1%	60.9%	67.4%			71.6%	70.8%		71.5%	70.9%	69.8%	69.9%			72.1%	78.7%	
47	ノルウェー	59.3%	65.9%	65.9%	68.6%	56.6%	68.4%	69.3%	70.7%	80.4%	79.5%	75.5%	83.5%						93.5%	
48	ポーランド																	76.3%	77.0%	60.1%
49	ドイツ	72.2%	72.2%	75.4%	75.1%		79.5%	74.8%	77.1%	78.3%	76.4%	75.2%	79.1%	75.7%	78.9%	77.9%		74.8%	80.7%	81.8%
54	アルゼンチン																	50.0%		
56	チリ																	60.8%	74.6%	
57	コロンビア																		65.4%	※2020年以降、再度効率主導型経済に移行
61	オーストラリア	64.5%	69.7%	70.8%	72.3%				68.4%	67.7%		67.1%	70.1%	71.5%	68.9%			74.0%		
64	ニュージーランド	68.3%	68.5%	72.7%																
65	シンガポール	57.5%	53.1%	57.7%	54.1%					62.9%	62.5%	59.4%	62.9%							
81	日本	47.3%	55.6%	51.6%	45.1%	47.7%	55.6%	49.6%	52.0%	54.7%	54.8%	52.8%	55.8%	52.1%	54.0%	52.0%	51.5%	62.6%	67.9%	
82	韓国						69.3%	64.9%	71.3%	67.2%	69.6%	67.8%		53.5%	60.2%	68.6%		70.0%	86.0%	87.7%
101	カナダ	62.3%	77.3%	70.6%	70.3%							70.1%	69.7%		73.5%	74.0%		74.1%	79.9%	81.3%
351	ポルトガル		60.8%			67.2%			70.5%				62.9%	62.9%	63.4%				71.6%	
352	ルクセンブルグ											70.6%	68.2%	68.8%	69.6%	70.0%		74.2%	81.3%	
353	アイルランド	75.9%	85.0%	79.3%	82.0%	82.6%	81.0%		81.5%	82.7%	81.4%	81.2%	76.9%	80.3%	83.1%	81.9%		83.9%		
354	アイスランド	68.5%	67.4%	72.3%	72.5%	74.3%	71.1%	61.9%	60.9%											
357	キプロス														65.7%	61.5%		67.6%	76.7%	70.7%
358	フィンランド	84.6%	86.9%	86.0%	88.4%	84.8%	89.6%	88.3%	86.5%	83.0%	83.4%	85.5%	84.4%	84.9%	83.0%					
371	ラトヴィア																		60.3%	
372	エストニア											58.6%	62.6%	63.6%	64.7%					
385	クロアチア																	43.0%	46.4%	53.5%
386	スロベニア	77.0%	76.4%	45.5%	76.2%	76.0%	77.8%	77.6%	73.7%	69.7%	71.1%	68.1%	72.3%	70.0%	69.0%	73.4%		75.8%	84.0%	
420	チェコ				47.5%						48.7%		47.8%							
421	スロバキア												58.1%	64.2%	※2016年より再度効率主			60.4%	58.4%	62.1%
507	パナマ																	46.3%	74.6%	65.8%
598	ウルグアイ																	49.6%		64.2%
787	プエルトリコ					66.7%						50.1%	51.1%	47.6%	50.5%	52.3%		52.6%	55.2%	
868	トリニダード・トバゴ	67.0%	68.1%			68.1%		55.2%							63.4%					
852	香港								77.6%	81.8%	75.7%	72.0%	69.5%							
886	台湾								57.5%	62.7%	62.8%	64.5%	62.6%	62.7%	62.2%	60.1%		76.4%	61.1%	60.4%
966	サウジアラビア																	78.2%	79.3%	95.1%
968	オマーン																	85.7%		90.2%
971	アラブ首長国連邦				88.3%	79.5%		75.2%		73.2%					82.3%	87.8%		69.4%	79.0%	84.1%
972	イスラエル		64.1%			65.7%	73.0%	73.2%	73.0%		72.4%	80.3%		86.2%	85.5%	86.1%		85.0%	84.1%	83.7%
974	カタール											87.1%			80.4%	77.3%		76.7%	87.1%	88.3%

付表12 メディアからの注目																				
【質問】あなたの国で、あなたは新しいビジネスの成功物語について公共放送でしばしば目にする（「はい」と回答した割合）																				
	国名	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
要素主導型経済																				
7	ロシア														48.9%		※2018年以降は再度効率型経済に移行	61.0%		
20	エジプト						57.4%		70.5%		63.7%			※2015年以降は効率主導型経済に移行			68.1%	75.9%	71.4%	
62	インドネシア																80.4%		※2020年以降は再度効率主導型経済に移行	
63	フィリピン				77.7%							86.8%	84.7%	81.5%						
84	ベトナム											80.5%	86.8%	73.5%		81.1%				
91	インド				69.4%	81.3%	81.5%					61.4%	56.6%	39.4%	39.7%	44.8%	52.1%	88.0%	80.3%	
92	パキスタン								61.0%	47.7%	50.8%							72.5%		
98	イラン						53.4%	60.9%	62.3%	58.4%	61.0%	59.9%	55.1%	58.3%	57.9%			69.1%	65.3%	
212	モロッコ							73.0%						※2015年以降は効率主導型経済に移行			52.2%	60.8%	71.3%	
213	アルジェリア							39.2%		51.5%	47.0%	47.4%								
218	リビア											38.2%								
221	セネガル													67.3%						
226	ブルキナファソ														67.2%				78.6%	
228	トーゴ共和国																		83.3%	
233	ガーナ								78.6%		82.1%	82.4%								
234	ナイジェリア									77.5%	78.1%	76.5%								
237	カメルーン													64.5%	60.2%					
244	アンゴラ						71.8%		74.7%			62.1%	71.7%				68.6%		71.9%	
249	スーダン																70.8%			
251	エチオピア										72.9%									
256	ウガンダ	79.9%	77.4%					74.6%	81.9%			87.5%								
260	ザンビア								72.5%		71.6%	69.0%								
261	マダガスカル															53.3%	56.7%	61.2%		
265	マラウイ																			
267	ボツワナ										79.4%	85.6%	74.5%	76.2%						
582	ベネズエラ	36.6%		61.3%		57.3%		49.5%		63.3%										
591	ボリビア						60.2%		51.1%				76.5%							
676	トンガ							79.9%												
678	バヌアツ								34.3%											
701	カザフスタン					65.4%								80.0%	75.0%	49.1%		※2019年以降は効率主導型経済に移行		
880	バングラデシュ									49.3%										
961	レバノン							65.3%						※2015年以降は効率主導型経済に移行						
963	シリア							55.2%												
966	サウジアラビア							78.0%	78.0%					※2016年以降は効率主導型経済に移行						
967	イエメン							95.9%												
970	パレスチナ							52.1%	62.5%		70.9%									
1809	ドミニカ					65.6%	63.6%													

[illegible]

イノベーション主導型経済																				
1 米国	64.1%	59.1%	63.2%	54.4%	50.0%	72.9%	66.7%	67.8%						75.8%		72.4%	74.5%	74.4%	77.4%	71.8%
30 ギリシャ	41.2%	42.2%	37.8%	40.3%	43.4%	54.9%	31.5%	34.5%	32.5%	33.1%	32.4%	45.8%	38.0%	38.5%	43.4%	50.1%	48.1%			
31 オランダ	62.7%	58.9%	57.6%	59.0%	61.1%	60.9%	63.7%	60.9%	62.2%	58.3%	55.2%	55.7%	57.7%	57.3%	63.2%	64.8%	75.4%			
32 ベルギー	40.1%	40.1%	48.5%	37.1%	37.2%	38.1%	32.9%	45.7%	47.2%	53.8%	43.9%	50.8%	54.7%							
33 フランス	39.0%	36.4%	36.8%	37.5%	43.0%	48.4%	49.6%	44.7%	46.9%	41.1%	41.4%	39.0%		45.2%	47.0%	52.8%				
34 スペイン	25.1%	38.7%	41.4%	44.7%	45.5%	43.5%	37.0%	40.7%	44.6%	47.3%	45.6%	46.3%	46.9%	49.6%	50.9%	49.4%	54.0%	50.2%		
39 イタリア	46.7%	55.0%	26.0%	45.8%	43.9%	40.1%	44.3%	37.7%		51.3%	48.1%	48.3%	48.5%	52.3%	54.9%	60.2%	36.9%			
41 スイス	48.9%		50.5%		60.5%		56.6%	50.6%		57.4%	47.8%	50.4%	59.5%	58.3%	59.0%	47.7%	62.8%	67.9%		
43 オーストリア			58.7%		57.1%											64.6%	70.0%			
44 英国	55.2%	55.3%	55.0%	54.6%	56.8%	54.3%	44.5%	52.2%	47.3%	47.0%	49.6%	58.4%	61.1%	61.1%	58.5%	58.5%	71.0%	69.2%		
45 デンマーク	52.1%	55.1%	29.5%	33.2%	35.5%	31.8%	25.5%							62.0%						
46 スウェーデン	54.9%	54.0%	54.8%	57.1%	62.8%			60.8%	62.3%		58.5%	60.3%	61.3%		64.7%	62.8%	71.2%			
47 ノルウェー	64.9%	68.1%	72.5%	77.0%	69.5%	70.8%	66.6%	67.2%	60.2%	59.3%	56.9%						79.3%			
48 ポーランド																46.2%	36.7%	41.0%		
49 ドイツ	53.0%	54.2%	42.1%	46.1%		49.8%	49.7%	49.0%	49.7%	49.0%	49.9%	51.4%	49.8%	50.5%	49.5%	50.6%	55.3%	53.7%		
54 アルゼンチン																44.9%				
56 チリ																62.5%	59.7%			
57 コロンビア																	52.2%	※2020年以降、再度効率主導型経済に移行		
61 オーストラリア	68.2%	59.8%	55.7%	64.4%				70.5%	69.5%			72.6%	72.3%	74.3%	74.0%		70.5%			
64 ニュージーランド	76.2%	77.6%	75.8%																	
65 シンガポール	67.3%	65.4%	70.2%	59.8%						76.5%	76.7%	75.3%	79.1%							
81 日本	61.0%	51.4%	52.5%	53.8%	61.1%	59.2%	61.2%	58.5%	57.0%	52.9%	57.6%	58.7%	57.8%	55.2%	56.2%	59.4%	59.9%	61.1%		
82 韓国						66.7%	53.1%	61.4%	62.2%	68.1%	67.6%		61.5%	67.8%	60.5%	67.1%	68.8%	70.6%		
101 カナダ	68.5%	79.4%	73.9%	75.7%							69.6%	67.7%		72.6%	76.5%	76.0%	76.5%	77.0%		
351 ポルトガル		35.0%			51.2%			52.6%				69.7%	71.6%	68.8%			72.9%			
352 ルクセンブルグ											36.3%	43.5%	44.0%	45.9%	48.7%	49.3%	66.5%			
353 アイルランド	83.8%	76.6%	83.3%	84.4%	68.2%	65.2%		61.1%	56.4%	61.4%	59.9%	75.7%	67.4%	72.2%	72.9%	73.4%				
354 アイスランド	84.0%	79.2%	82.6%	83.2%	84.6%	80.9%	71.5%	66.6%												
357 キプロス														42.4%	50.5%	54.3%	50.9%	61.8%		
358 フィンランド	60.4%	72.7%	68.8%	71.4%	68.3%	71.3%	67.7%	71.4%	67.4%	68.4%	68.5%	66.9%	68.1%	71.4%						
371 ラトヴィア																	68.0%			
372 エストニア												43.3%	49.1%	52.7%	61.0%					
385 クロアチア																53.7%	58.5%	58.4%		
386 スロヴェニア	61.6%	60.9%	32.7%	57.9%	68.2%	67.4%	57.2%	56.2%	45.1%	51.1%	50.5%	57.6%	60.3%	65.9%	72.7%	77.2%	82.5%			
420 チェコ				63.1%																
421 スロバキア												52.6%	54.0%	※2016年より再度効率主			53.9%	54.6%	56.3%	
507 パナマ																45.2%	68.1%	72.4%		
598 ウルグアイ																53.1%		62.4%		
787 ブエルトリコ					57.9%						68.8%	72.7%	68.1%	77.5%	81.2%	80.9%	73.1%			
868 トリニダード・トバゴ	71.5%	69.7%			72.5%		66.1%							70.8%						
852 香港								67.2%	61.4%	63.8%	61.0%	65.6%								
886 台湾								78.2%	85.8%	82.5%	87.1%	83.5%	85.6%	83.9%	81.3%	84.5%	72.4%	79.5%		
966 サウジアラビア																71.4%	71.8%	92.9%		
968 オマーン																	75.1%	89.0%		
971 アラブ首長国連邦				81.1%	74.2%		68.9%		62.8%					83.8%	84.5%	72.5%	78.4%	80.8%		
972 イスラエル		46.0%			49.0%	57.2%	50.4%	56.3%		47.4%	49.1%		54.8%	53.8%	55.3%	54.3%	59.0%	53.1%		
974 カタール												76.8%		66.7%	54.0%	64.2%	82.7%	82.0%		
注）選択設問なので、他の設問に回答があっても、この設問を実施していないため回答がない国もある。																				

[illegible]

75

付属資料（Ⅱ） 2020 年度一般調査（GEM2020 起業意識調査）の調査票（日本語版）

GEM2020 起業意識調査 調査票

回答者番号

--	--	--	--

イントロダクション

全員に質問してください。（回答リストを読み上げないでください。回答は 1 つだけ記入する。）

- i1. 過去 2 年以内に新たにビジネスを始めた人を個人的に知っていますか。知っている場合は、何人くらいですか（もし回答する人が具体的な数字を回答しないで、「ほとんど知らない」とか「多数知っている」のような回答をした場合は、「5 人未満ですか」とか「5 人以上ですか」のような方法で確認する） [KNOWENT]

いない(0 人)0

1 人1

2~4 人2

5 人以上3

（読み上げない）「わからない-1

「無回答-2

全員に質問してください。（回答リストを読み上げないでください。回答は 1 つだけ記入する。）

以下の 8 つの記述に対して、あなたはどのように思われますか。「強くそう思う」「どちらかと言えばそう思う」「どちらとも言えない」「どちらかといえばそう思わない」「まったくそう思わない」の 5 段階で回答ください。

- i2. 今後 6 ヶ月以内に、自分が住む地域に起業に有利なチャンスが訪れる [OPPORT]

強くそう思う5

どちらかと言えばそう思う4

どちらとも言えない3

	どちらかと言えばそう思わない	2
	まったくそう思わない	1
(読み上げない)	「わからない	-1
	「無回答	-2

i3. あなたは新しいビジネスを始めるために必要な知識、能力、経験を持っている [SUSKILL]

	強く思う	5
	どちらかと言えばそう思う	4
	どちらとも言えない	3
	どちらかと言えばそう思わない	2
	まったくそう思わない	1
(読み上げない)	「わからない	-1
	「無回答	-2

i4. あなたは失敗することに対する怖れがあり、起業を躊躇している [FEARFAIL]

	強く思う	5
	どちらかと言えばそう思う	4
	どちらとも言えない	3
	どちらかと言えばそう思わない	2
	まったくそう思わない	1
(読み上げない)	「わからない	-1
	「無回答	-2

i9. 日本でビジネスを始めるのは簡単である [EASYSTAT]

	強く思う	5
	どちらかと言えばそう思う	4
	どちらとも言えない	3

どちらかと言えばそう思わない2
 まったくそう思わない1
 (読み上げない) 「わからない.....-1
 └無回答.....-2

(回答リストは読み上げない。回答を1つだけ記入する)

iCP3. コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、2020 年になって所有していたり経営していたりしたビジネスや事業を止めてしまった人を個人的に知っていますか。知っている場合は、何人くらいですか(もし回答する人が具体的な数字を回答しないで、「ほとんど知らない」とか「多数知っている」のような回答をした場合は、「5 人未満ですか」とか「5 人以上ですか」のような方法で確認する) [CPKNSTOP]

いない(0 人)0
 1 人1
 2~4 人2
 5 人以上3
 (読み上げない) 「わからない.....-1
 └無回答.....-2

(回答リストは読み上げない。回答を1つだけ記入する)

iCP4. コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、2020 年になって新たにビジネスや事業を始めた人を個人的に知っていますか。知っている場合は、何人くらいですか(もし回答する人が具体的な数字を回答しないで、「ほとんど知らない」とか「多数知っている」のような回答をした場合は、「5 人未満ですか」とか「5 人以上ですか」のような方法で確認する) [CPKNSTART]

いない(0 人)0
 1 人1
 2~4 人2
 5 人以上3
 (読み上げない) 「わからない.....-1
 └無回答.....-2

i11. あなたは、あなたにとって経験豊かで詳しい分野であっても、そこに事業機会やビジネスチャンスを見出したりはしない [OPPISM]

強くそう思う.....	5
どちらかと言えばそう思う.....	4
どちらとも言えない.....	3
どちらかと言えばそう思わない.....	2
まったくそう思わない.....	1
(読み上げない)「わからない.....	-1
↳無回答.....	-2

i12. あなたは、利益が得られる事業機会やビジネスチャンスを発見しても、それを利用したり活用したりすることはほとんどしない [PROACT]

強くそう思う.....	5
どちらかと言えばそう思う.....	4
どちらとも言えない.....	3
どちらかと言えばそう思わない.....	2
まったくそう思わない.....	1
(読み上げない)「わからない.....	-1
↳無回答.....	-2

i13. あなたの周りにいる人たちは、あなたが非常に創造的な人であると考えている [CREATIV]

強くそう思う.....	5
どちらかと言えばそう思う.....	4
どちらとも言えない.....	3
どちらかと言えばそう思わない.....	2
まったくそう思わない.....	1
(読み上げない)「わからない.....	-1
↳無回答.....	-2

i14. あなたはあなた自身の長期のキャリアプランを考えた上で、すべての決断を行っている [VISION]

	強くそう思う.....	5
	どちらかと言えばそう思う.....	4
	どちらとも言えない.....	3
	どちらかと言えばそう思わない.....	2
	まったくそう思わない.....	1
(読み上げない)	「わからない.....	-1
	↳無回答.....	-2

全員に質問してください。(回答リストを読み上げないでください。回答は 1 つだけ記入する。)

以下の5つの記述に対して、あなたはどの程度、そのとおりだと思われますか。「まったくその通りと思う」「どちらかと言えばその通りと思う」「どちらとも言えない」「どちらかといえばその通りでない」「まったくその通りではないと思う」の 5 段階で回答ください。

i5. 日本では、多くの人たちは、すべての人が同じ生活水準であることを好んでいる [EQUALING]

	まったくその通りと思う.....	5
	どちらかと言えばその通りと思う.....	4
	どちらとも言えない.....	3
	どちらかと言えばその通りでない.....	2
	まったくその通りではない.....	1
(読み上げない)	「わからない.....	-1
	↳無回答.....	-2

i6. 日本では、多くの人たちは、新しいビジネスを始めることが望ましい職業の選択であると考えている [NBGOODC]

	まったくその通りと思う.....	5
	どちらかと言えばその通りと思う.....	4
	どちらとも言えない.....	3
	どちらかと言えばその通りでない.....	2

	まったくその通りではない.....1
(読み上げない)	「わからない.....-1
	↳無回答.....-2

i7. 日本では、新しくビジネスを始めて成功した人は高い地位と尊敬をもつようになる [NBSTATUS]

	まったくその通りと思う.....5
	どちらかと言えばその通りと思う.....4
	どちらとも言えない.....3
	どちらかと言えばその通りでない.....2
	まったくその通りではない.....1
(読み上げない)	「わからない.....-1
	↳無回答.....-2

i8. 日本で、あなたは新しいビジネスの成功物語について公共放送でしばしば目にする [NBMEDIA]

	まったくその通りと思う.....5
	どちらかと言えばその通りと思う.....4
	どちらとも言えない.....3
	どちらかと言えばその通りでない.....2
	まったくその通りではない.....1
(読み上げない)	「わからない.....-1
	↳無回答.....-2

i10 日本では、社会的課題を解決することを主な目的とするビジネスをしばしば目にする [NBSOCENT]

	まったくその通りと思う.....5
	どちらかと言えばその通りと思う.....4

	どちらとも言えない.....	3
	どちらかと言えばその通りでない.....	2
	まったくその通りではない.....	1
(読み上げない)	「わからない.....	-1
	↳無回答.....	-2

ブロック1: 誕生期の起業家

全員に質問してください。(回答リストを読み上げないでください。回答は1つだけ記入する。)

	はい	いいえ	わからない	無回答
1A1. 現在、1人または複数で、何らかの自営業、物品の販売業、サービス業等を含む新しいビジネスをはじめようとしている [BSTART].....	1	2	-1	-2
1A2. 現在、1人または複数で、雇用主のために主たる仕事の一環として、新しいビジネスや新しいベンチャーをはじめようとしている [BJOBST].....	1	2	-1	-2

1B は、1A1 か 1A2 のどちらかに「はい(1)」または「わからない(-1)」と回答した人への質問です。それ以外は**ブロック2**へ進んで下さい。

- 1B. 過去 12 ヶ月以内に、新しいビジネスを始めるための具体的な活動を何かなさいましたか？例えば、機材や場所を探す、立上げチームを編成する、事業計画を練る、貯蓄を始めるなど、ビジネス開始に役立つ活動は全て含まれます [SUACTS]。
(回答リストは読み上げない。回答を1つだけ記入する。複数のビジネスがある場合は、最も実現する可能性が高いものについて回答を促す。)

はい1
 いいえ2] → (ブロック2へ進む)
 わからない-1
 無回答-2] → (ブロック2へ進む)

- 1D1. このビジネスはご自身が全てを所有するものですか、一部を所有するものですか、それとも全く所有しないものですか？ [SUOWN]
(回答リストは読み上げないこと、回答を1つだけ記入する)

全て所有1] → (1E1 へ進む)
 一部を所有2
 所有しない.....3] → (ブロック2へ進む)

わからない-1
無回答-2] → (1E1 へ進む)

(2 から 1,000 までの数字を 1 つ記入、範囲での指定は不可。はっきり決まっていない場合は最善の推測を促す。)

人(有効範囲 2-1,000)

無回答 -2

か？（必要に応じて読み上げる）現物支給とは現金ではなく、物品やサービスを仕事の報酬として受け取るものを指します。[SUWAGE]

いいえ 2 1 → (1F へ進む)

無回答 -2 1 → (1Fへ進む)

物品やサービスを仕事の報酬として受け取るものを指します。[SUWAGEYR]

年(西暦:有効範囲 1800-2020)] → (1Fへ進む)

→ (1F へ進む)

無回答 -2

このビジネスの創業者たちは、2017 年 1 月 1 日より以前に、このビジネスから何らかの給与や賃金を受け取りましたか？ [SUPAY2]

いいえ 2

わからない-1
無回答-2

1F. 新しいビジネスとはどんなものですか？(詳しく尋ねる)何を販売するのですか？例えばタウンページのような電話帳や事業名鑑にはどの様に掲載されることになりますか？(言葉通りに記入する。内容が明らかになるまで詳しく尋ねる) [SUBUSTYPE]

回答リストを読み上げないでください。回答は 1 つだけ記入する

あなたの顧客となる人や会社はどちらにいらっしゃいますか？

1G3A. あなたが住んでいる地域ですか？[SUCSTLOC]

はい.....1
いいえ.....2
わからない.....-1
無回答.....-2

1G3B. 日本の国のどこかですか？[SUCSTNAT]

はい.....1
いいえ.....2
わからない.....-1
無回答.....-2

1G3C. 日本の国の外ですか？[SUCSTEXP]

はい.....1
いいえ.....2
わからない.....-1

無回答-2

1G4 は、1G3C に「はい(1)」または「無回答(-2)」と回答した人への質問です。それ以外は1G5 へ進んで下さい。

1G4. 顧客のうち、通常海外に住んでいる人の割合は何%ですか？90%超、75%超、50%超、25%超、10%超、または 10%以下のどれにあてはまりますか？（必要に応じて回答リストを読み上げる。回答を 1 つだけ記入する） [SUEXPORT]

	90%超	1
	75%超	2
	50%超	3
	25%超	4
	10%超	5
	10%以下.....	6
(読み上げない)	┌ 0%.....	7
	└ わからない.....	-1
	└ 無回答.....	-2

1G5. あなたの製品やサービスは、どのような人に新しいと感じてもらえますか？あなたと同じ地域の人ですか、あなたと同じ国の人ですか、それとも世界の人ですか？（必要に応じて回答リストを読み上げる。回答を 1 つだけ記入する） [SUNEWPROD]

	どのような人にとっても新しい	1
	同じ地域の人にとっては新しい.....	2
	同じ国の人にとっては新しい	3
	世界の人にとって新しい.....	4
(読み上げない)	┌ わからない.....	-1
	└ 無回答	-2

1G6. あなたの製品やサービスに使われている技術は、どのような人に新しいと感じてもらえますか？あなたと同じ地域の人ですか、あなたと同じ国の人ですか、それとも世界の人ですか？（必要に応じて回答リストを読み上げる。回答を 1 つだけ記入する） [SUNEWPROC]

- どのような人にとっても新しくない1
 同じ地域の人にとっては新しい.....2
 同じ国の人にとっては新しい3
 世界の人にとって新しい.....4
 (読み上げない) 「わからない.....-1
 「無回答-2

1H1 は、1E1 で「はい(1)」または「わからない(-1)」、「無回答(-2)」だった人への質問です。それ以外は 1H2 へ進んで下さい。

- 1H1. 今現在、何人がこのビジネスのために働いていますか？所有者は除きますが、専用の下請けは含めて下さい。専用の下請けとは他の仕事との兼業ではなく、このビジネスだけのために働いている人や会社を指します。(0 から 1,000,000 までの数字を 1 つ記入、範囲での指定は不可。はっきり決まっていない場合は最善の推測を促す。) [SUNOWJOB]

--	--	--	--	--	--	--

人(有効範囲 0—1,000,000)

- わからない-1
 無回答-2

- 1H2. 今から 5 年後には、何人がこのビジネスのために働いていると思われますか？所有者は除きますが、専用の下請けは含めて下さい。専用の下請けとは他の仕事との兼業ではなく、このビジネスだけのために働いている人や会社を指します。(0 から 1,000,000 までの数字を 1 つ記入、範囲での指定は不可。はっきり決まっていない場合は最善の推測を促す。) [SUYS5JOB]

--	--	--	--	--	--	--

人(有効範囲 0—1,000,000)

- わからない-1
 無回答-2

1CP1. 1 年前と比べて、新しくビジネスや事業を始めることは、非常に難しくなったと思いますか、やや難しくなったと思いますか、同じくらいですか、やや簡単になったと思いますか、それとも非常に簡単になったと思いますか(必要に応じて回答リストを読み上げる。回答を 1 つだけ記入する)。
[SUCRSTART]

非常に難しくなった.....	5
やや難しくなった.....	4
同じくらい(どちらとも言えない).....	3
やや簡単になった.....	2
非常に簡単になった.....	1
(読み上げない)「わからない.....	-1
↳無回答.....	-2

1CP2. 1 年前と比べて、ビジネスや事業が成長することへのあなたの期待はいかがですか。非常に低くなりましたか、少し低くなりましたか、1 年前と同じくらいですか、やや高くなりましたか、それとも非常に高くなりましたか(必要に応じて回答リストを読み上げる。回答を 1 つだけ記入する)。
[SUCRGROW]

非常に低くなった.....	5
やや低くなった.....	4
同じくらい(変化がない).....	3
やや高くなった.....	2
非常に高くなった.....	1
(読み上げない)「わからない.....	-1
↳無回答.....	-2

以下の 4 つの記述に対して、あなたはどの程度、あなたがビジネスを新たに始めた、もしくは始めようとしている理由を反映していると思われますか。「まったくその通りと思う」「どちらかと言えばその通りと思う」「どちらとも言えない」「どちらかといえばその通りでない」「まったくその通りではないと思う」の 5 段階で回答ください。

1K3. この世界を変えてみたい[SUMOTIV1]

	まったくその通りと思う.....	5
	どちらかと言えばその通りと思う.....	4
	どちらとも言えない.....	3
	どちらかと言えばその通りでない.....	2
	まったくその通りではない.....	1
(読み上げない)	「わからない.....	-1
	↳無回答.....	-2

1K4. 巨額の富を築いたり非常に高い所得を得たりしたい[SUMOTIV2]

	まったくその通りと思う.....	5
	どちらかと言えばその通りと思う.....	4
	どちらとも言えない.....	3
	どちらかと言えばその通りでない.....	2
	まったくその通りではない.....	1
(読み上げない)	「わからない.....	-1
	↳無回答.....	-2

1K8. ファミリーの伝統を守りたい[SUMOTIV3]

	まったくその通りと思う.....	5
	どちらかと言えばその通りと思う.....	4
	どちらとも言えない.....	3
	どちらかと言えばその通りでない.....	2
	まったくその通りではない.....	1
(読み上げない)	「わからない.....	-1
	↳無回答.....	-2

1K9. 周りに仕事がほとんどないので、生計を確立したい[SUMOTIV4]

	まったくその通りと思う.....	5
	どちらかと言えばその通りと思う.....	4
	どちらとも言えない.....	3
	どちらかと言えばその通りでない.....	2
	まったくその通りではない.....	1
(読み上げない)	「わからない.....	-1
	↳無回答.....	-2

以下のコロナウイルス感染拡大に関する3つの記述に対して、あなたはどのように思われますか。「まったくその通りと思う」「どちらかと言えばその通りと思う」「どちらとも言えない」「どちらかといえばその通りでない」「まったくその通りではない」の 5 段階で回答ください(回答リストは読み上げない。回答を1つだけ記入する)。

1CP3a. コロナウイルス感染拡大の影響で、ビジネスや事業が動き出すまでの時間が長くなった。[SUCPDELAY]

	まったくその通りと思う.....	5
	どちらかと言えばその通りと思う.....	4
	どちらとも言えない.....	3
	どちらかと言えばその通りでない.....	2
	まったくその通りではない.....	1
(読み上げない)	「わからない.....	-1
	↳無回答.....	-2

1CP3b. コロナウイルス感染拡大によって生まれた事業機会もしくはビジネスチャンスをはげめている。[SUCPNEWOPP]

	まったくその通りと思う.....	5
	どちらかと言えばその通りと思う.....	4

	どちらとも言えない.....	3
	どちらかと言えばその通りでない.....	2
	まったくその通りではない.....	1
(読み上げない)	「わからない.....	-1
	↳無回答.....	-2

1CP3c. 日本の政府は、コロナウイルス感染拡大によって生じた経済環境の変化に対して効果的な政策を実行し、適切に対応した。[SUCPGOVRES]

	まったくその通りと思う.....	5
	どちらかと言えばその通りと思う.....	4
	どちらとも言えない.....	3
	どちらかと言えばその通りでない.....	2
	まったくその通りではない.....	1
(読み上げない)	「わからない.....	-1
	↳無回答.....	-2

ブロック2: 所有経営者

全員に質問してください。

- 2A. 現在、自営業、物品の販売業、サービス業等の会社のオーナー、共同経営者の1人、もしくは自営業主として経営に関与していますか(選択肢は読み上げない。回答を一つだけ記入する)。[OWNMGE]

はい1
いいえ2
わからない-1
無回答-2

- 2A2. 現在、あなたが雇われている仕事の一環として、その雇用主のために、会社のオーナーまたは共同経営者の1人として経営に関与していますか。 [OMJOBST]

はい1
いいえ2
わからない-1
無回答-2

2C は、2A、2A2 に「はい」と答え、かつ 1B にも「はい」と回答した人への質問です。それ以外は、2D1 へ進んでください。

- 2C. あなたは、会社のオーナーまたは経営者であると回答されました。このビジネスは、先ほどの質問(ブロック1の質問)で回答されたビジネスと同じですが、それとも違ったビジネスですか(選択肢は読み上げない。回答を一つだけ記入する)。[SU_OM]

同じビジネス1] →(ブロック3へ進む)
違うビジネス2
わからない-1

無回答-2

2D1 からの質問は、2A または2A2 で「はい(1)」または「わからない(-1)」、と回答した人への質問です。それ以外は**ブロック3**へ進んで下さい。

2A で「わからない」と回答した人には、「先ほどの質問では、わかりにくいところがあったかもしれませんが…」と述べてから質問を続ける。

2D1 「先ほど会社のオーナーまたは共同経営者であるとおっしゃいましたが」／「先ほどの質問では、わかりにくいところがあったかもしれませんが、物の販売や、サービスの提供による利益がご自身に分配されている場合、」

このビジネスはご自身が全てを所有するものですか、一部を所有するものですか、それとも全く所有しないものですか？ [OMOWN]
(回答リストは読み上げない。回答を1つだけ記入する。複数のビジネスに関係している方の場合、最も従業員数の多いビジネスに関して回答を促して下さい。)

全て所有1] → (2E2 へ進む)
一部を所有2
所有しない3 丱 → (ブロック3へ進む)
あてはまらない-3 丱 → (ブロック3へ進む)
わからない-1
無回答-2] → (2E2 へ進む)

2D2. あなた自身を含めて、このビジネスに所有権を持ち、かつ経営にも関わる人数は何人ですか？ [OMOWNERS]
(2 から 1,000 までの数字を 1 つ記入、範囲での指定は不可。はっきり決まっていない場合は最善の推測を促す。)

--	--	--	--

人(有効範囲 2-1,000)

わからない-1
無回答-2

(4桁の数字を記入。例:86 年の場合は 1986 年、年号は西暦に直す。まだ支払われていない場合は-3 を記入)

--	--	--	--

年(西暦:有効範囲 1800-2020)] → (2Fへ進む)

まだ支払われていない.....-3] → (2F へ進む)

わからない-1

無回答-2] → (2Fへ進む)

はい 1

いいえ 2

わからない-1

無回答-2

回答リストを読み上げないでください。回答は 1 つだけ記入する

あなたの顧客となる人や会社はどちらにいらっしゃいますか？

2G3A. あなたが住んでいる地域ですか？[OMCSTLOC]

はい1
いいえ2
わからない-1
無回答-2

2G3B. 日本の国のどこかですか？[OMCSTNAT]

はい1
いいえ2
わからない-1
無回答-2

2G3C. 日本の国の外ですか？[OMCSTEXP]

はい1
いいえ2
わからない-1
無回答-2

2G4 は、2G3C に「はい(1)」または「無回答(-2)」と回答した人への質問です。それ以外は 2G5 へ進んで下さい。

2G4. 顧客のうち、通常海外に住んでいる人の割合は何%ですか？90%超、75%超、50%超、25%超、10%超、または 10%以下のどれにあてはまりますか？（必要に応じて回答リストを読み上げる。回答を 1 つだけ記入する） [OMEXPORT]

- 90%超1
- 75%超2
- 50%超3
- 25%超4
- 10%超5
- 10%以下6
- 0%7
- (読み上げない) { わからない8
- { 無回答9

2G5. あなたの製品やサービスは、どのような人に新しいと感じてもらえますか？あなたと同じ地域の人ですか、あなたと同じ国の人ですか、それとも世界の人ですか？（必要に応じて回答リストを読み上げる。回答を 1 つだけ記入する） [OMNEWPROD]

- どのような人にとっても新しくない1
- 同じ地域の人にとっては新しい2
- 同じ国の人にとっては新しい3
- 世界の人にとって新しい4
- (読み上げない) { わからない-1
- { 無回答-2

2G6. あなたの製品やサービスに使われている技術は、どのような人に新しいと感じてもらえますか？あなたと同じ地域の人ですか、あなたと同じ国の人ですか、それとも世界の人ですか？（必要に応じて回答リストを読み上げる。回答を 1 つだけ記入する） [OMNEWPROC]

- どのような人にとっても新しくない1

- 同じ地域の人にとっては新しい.....2
 同じ国の人にとっては新しい3
 世界の人にとっては新しい.....4
 (読み上げない) 「わからない.....-1
 「無回答-2

2H1. 今現在、何人がこのビジネスのために働いていますか？所有者は除きますが、専用の下請けは含めて下さい。専用の下請けとは他の仕事との兼業ではなく、このビジネスだけのために働いている人や会社を指します。(0 から 1,000,000 までの数字を 1 つ記入、範囲での指定は不可。はっきり決まっていない場合は最善の推測を促す。) [OMNOWJOB]

--	--	--	--	--	--	--

人(有効範囲 0—1,000,000)

わからない-1
 無回答-2

2H2 今から 5 年後には、何人がこのビジネスのために働いていると思われますか？所有者は除きますが、専用の下請けは含めて下さい。専用の下請けとは他の仕事との兼業ではなく、このビジネスだけのために働いている人や会社を指します。(0 から 1,000,000 までの数字を 1 つ記入、範囲での指定は不可。はっきり決まっていない場合は最善の推測を促す。) [OMYR5JOB]

--	--	--	--	--	--	--

人(有効範囲 0—1,000,000)

わからない-1
 無回答-2

2CP1. 1 年前と比べて、新しくビジネスや事業を始めることは、非常に難しくなったと思いますか、やや難しくなったと思いますか、同じくらいですか、やや簡単になったと思いますか、それとも非常に簡単になったと思いますか(必要に応じて回答リストを読み上げる。回答を1つだけ記入する)。
 [OMCRSTART]

- 非常に難しくなった.....5
 やや難しくなった.....4

	同じくらい(どちらとも言えない)	3
	やや簡単になった	2
	非常に簡単になった	1
(読み上げない)	「わからない	-1
	「無回答	-2

2CP2. 1年前と比べて、ビジネスや事業が成長することへのあなたの期待はいかがですか。非常に低くなりましたか、少し低くなりましたか、1年前と同じくらいですか、やや高くなりましたか、それとも非常に高くなりましたか(必要に応じて回答リストを読み上げる。回答を1つだけ記入する)。
[OMCRGROW]

	非常に低くなった	5
	やや低くなった	4
	同じくらい(変化がない)	3
	やや高くなった	2
	非常に高くなった	1
(読み上げない)	「わからない	-1
	「無回答	-2

以下の4つの記述に対して、あなたはどの程度、あなたがビジネスに関わりを持っている理由を反映していると思われますか。「まったくその通りと思う」「どちらかと言えばその通りと思う」「どちらとも言えない」「どちらかと言えばその通りでない」「まったくその通りではないと思う」の5段階で回答ください。

2K3. この世界を変えてみたい[OMMOTIV1]

	まったくその通りと思う	5
	どちらかと言えばその通りと思う	4
	どちらとも言えない	3
	どちらかと言えばその通りでない	2
	まったくその通りではない	1
(読み上げない)	「わからない	-1
	「無回答	-2

2K4. 巨額の富を築いたり非常に高い所得を得たりしたい[OMMOTIV2]

	まったくその通りと思う.....	5
	どちらかと言えばその通りと思う.....	4
	どちらとも言えない.....	3
	どちらかと言えばその通りでない.....	2
	まったくその通りではない.....	1
(読み上げない)	「わからない.....	-1
	↳無回答.....	-2

2K8. ファミリーの伝統を守りたい[OMMOTIV3]

	まったくその通りと思う.....	5
	どちらかと言えばその通りと思う.....	4
	どちらとも言えない.....	3
	どちらかと言えばその通りでない.....	2
	まったくその通りではない.....	1
(読み上げない)	「わからない.....	-1
	↳無回答.....	-2

2K9. 周りに仕事がほとんどないので、生計を確立したい[OMMOTIV4]

	まったくその通りと思う.....	5
	どちらかと言えばその通りと思う.....	4
	どちらとも言えない.....	3
	どちらかと言えばその通りでない.....	2
	まったくその通りではない.....	1
(読み上げない)	「わからない.....	-1
	↳無回答.....	-2

2L.あなたがこのビジネスを始めましたか？あなたは会社の初代のオーナーもしくは経営者ですか？（回答リストは読み上げない。回答を1つだけ記入する）[OMRSTART]

はい	1
いいえ	2
わからない	-1
無回答	-2

以下のコロナウイルス感染拡大に関する 3 つの記述に対して、あなたはどのように思われますか。「強くそう思う」「どちらかと言えばそう思う」「どちらとも言えない」「どちらかと言えばそう思わない」「まったくそう思わない」の 5 段階で回答ください(回答リストは読み上げない。回答を1つだけ記入する)。

2CP3a. コロナウイルス感染拡大の影響で、主要なビジネスや事業のいくつかを中断せざるを得なかった。[OMCRDELAY]

まったくその通りと思う.....	5
どちらかと言えばその通りと思う.....	4
どちらとも言えない.....	3
どちらかと言えばその通りでない.....	2
まったくその通りではない.....	1
(読み上げない) 「わからない.....	-1
↳無回答.....	-2

2CP3b. コロナウイルス感染拡大によって生まれた事業機会もしくはビジネスチャンスをはげめている。[OMCRNEWOPP]

まったくその通りと思う.....	5
どちらかと言えばその通りと思う.....	4
どちらとも言えない.....	3
どちらかと言えばその通りでない.....	2
まったくその通りではない.....	1
(読み上げない) 「わからない.....	-1
↳無回答.....	-2

2CP3c. 日本の政府は、コロナウイルス感染拡大によって生じた経済環境の変化に対して効果的な政策を実行し、適切に対応した。
[OMCRGOVRES]

まったくその通りと思う.....	5
どちらかと言えばその通りと思う.....	4
どちらとも言えない.....	3
どちらかと言えばその通りでない.....	2
まったくその通りではない.....	1

(読み上げない) 「わからない.....-1

↳無回答.....-2

2CP3d. あなたは、日本の政府からは、コロナウイルス感染拡大によって生じた経営的な打撃に対して何らかの経済的支援を受けましたか。もしくは受ける予定ですか(回答リストは読み上げない。回答を1つだけ記入する)。 [OMCRSUPPORT]

はい1

いいえ2

わからない-1

無回答-2

ブロック3:潜在的な起業家と廃業者

全員に質問してください。

3A. 今後3年以内に、1人または複数で、自営業・個人事業を含む新しいビジネスをはじめることを見込んでいる [FUTSUP]

はい1
いいえ2
わからない-1
無回答-2

3A2 は、3A に「はい(1)」と回答した人への質問です。それ以外は3B へ進んで下さい。

3A2. 今後 3 年以内に新しいビジネスを始めようとする見込みは、今回のコロナウイルス感染拡大によってどの程度影響を受けましたか（回答リストは読み上げない。回答を1つだけ記入する）。[FUTSUPCR]

大いに影響を受ける3
多少影響を受ける.....2
影響は全く受けない 1
わからない.....-1
無回答.....-2

3B 過去 12 ヶ月以内に、所有、経営していた何らかの自営業、物品の販売業、サービス業を休業または廃業した [DISCENT]

- はい1
- いいえ2]→(ブロック 4 へ進む)
- わからない-1]→(ブロック 4 へ進む)
- 無回答-2]→(ブロック 4 へ進む)

3C1. 先ほど、「所有、経営していた何らかの自営業、物品の販売業、サービス業を休業または廃業した」とおっしゃいました。このビジネスは、あなたが辞めた後も続いていますか？(回答リストは読み上げない。) [EXBUSCON]

- はい 1
- いいえ 2
- ビジネスは続いているが活動は変わった 3
- わからない -1
- 無回答 -2

3C2. このビジネスを休業または廃業したもっとも重要な原因は何でしょうか？(回答リストを上から下まで読み上げる。回答を一つだけ記入する) [EXREASON]

- このビジネスを売却する機会があった ... 1
- 収益性が悪かった 2
- 資金調達の問題 3
- 違う仕事やビジネスの機会があった 4
- 当初からビジネスを止める予定だった ... 5
- 加齢に伴う引退 6
- 家族や個人的な理由 7
- コロナウイルス感染拡大の影響 11
- コロナウイルス以外の突発的な出来事.. 8
- 政府、租税政策、煩雑な公的手続 9

(読み上げない) [その他10 (特定する) _____ [EXREASON_OTH]
 [わからない-1
 [無回答-2

ブロック 4: 個人投資家

全員に質問してください。

4A. 過去3年間に、他の人がはじめた新しいビジネスに個人的に資金提供をしましたか。株式の購入や投資信託の購入は含みません [BUSANG]

はい1
いいえ2] → (ブロック 5 へ進む)
わからない-1
無回答-2] → (ブロック 5 へ進む)

4B. 「先ほど、他の人がはじめた新しいビジネスに個人的に資金提供をしたとおっしゃいましたが」／「先ほどの質問では、わかりにくかったかもしれませんが、過去 3 年以内に知人や家族などがはじめた新しいビジネスに個人的に資金提供をした場合」

これらのビジネスの開始のために、ご自身が過去 3 年間に投資した金額は合計でどのくらいですか？ 公開株式や投資信託の購入は含まずご回答下さい。(単位: 円。回答者が資金を提供していないと回答した場合「-3」を記入する。) [BAFUND]

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

円(有効範囲 1—1,000,000,000)

資金提供していない.....-3] → (ブロック 5 へ進む)
わからない-1
無回答-2

4C. ご自身は、一番最近の資金提供を受けた方と、どのような関係ですか？その方は...（回答リストを読み上げる。回答を一つだけ記入する。）
[BAREL]

	配偶者、兄弟、子、親、孫などの近親者.....	1	
	その他の親戚、血縁の関係にある人.....	2	
	同僚	3	
	友人、隣人.....	4	
	よいビジネスアイデアを持つ他人	5	
	その他.....	6(特定する)	[BAREL_OTH]
(読み上げない)	┌ わからない.....	-1	
	└ 無回答.....	-2	

ブロック5:職業+社内ベンチャー 「職業」

全員に質問してください。回答者が回答することをためらったりした場合は、この質問は調査目的だけに使用され、回答者が特定化されることはないことを伝えて下さい。

次のうち、コロナウイルス感染拡大前のあなたの就労状況について、当てはまるのはどれでしょうか。当てはまるものをすべて選んでください。

	<u>はい</u>	<u>いいえ</u>	<u>わからない</u>	<u>無回答</u>
5ECP1 他人によってフルタイムで雇われていた [BC_OCCUFULL].....	1	2	-1	-2
5ECP2 他人によってパートタイムで雇われていた [BC_OCCUPART]	1	2	-1	-2
5ECP3 自営業 [BC_OCCUSELF].....	1	2	-1	-2

5ECP7 は 5ECP1 に「はい(1)」と回答した人には質問しないでください。

	<u>はい</u>	<u>いいえ</u>	<u>わからない</u>	<u>無回答</u>
5ECP7.就職先を捜していた [BC_OCCUSEEK]	1	2	-1	-2

全員に質問してください。回答者が回答することをためらったりした場合は、この質問は調査目的だけに使用され、回答者が特定化されることはないことを伝えて下さい。

5E. 次のうち、あなたの現在の就労状況について、当てはまるのはどれでしょうか。当てはまるものをすべて選んでください。

	<u>はい</u>	<u>いいえ</u>	<u>わからない</u>	<u>無回答</u>
5E1. 他人によってフルタイムで雇われている [OCCUFULL]	1	2	-1	-2
5E2. 他人によってパートタイムで雇われている [OCCUPART]	1	2	-1	-2

5E3. 自営業 [OCCUSELF].....	1	2	-1	-2
--------------------------	---	---	----	----

5E4、5E5、5E6 は、5E1 または 5E2 に「はい(1)」と回答した人にもみ尋ねてください。それ以外の人は 5E7 に進んでください。

5E4. 民間企業で働いている [OCCUPRBS].....	1	2	-1	-2
----------------------------------	---	---	----	----

5E5. 行政機関で働いている [OCCUGOV].....	1	2	-1	-2
---------------------------------	---	---	----	----

5E6. 非営利部門で働いている [OCCUNFP].....	1	2	-1	-2
----------------------------------	---	---	----	----

5E7、5E8 は、5E1 に「はい(1)」と回答した人には尋ねないでください。

5E7. 今現在、就職先を捜している [OCCUSEEK].....	1	2	-1	-2
------------------------------------	---	---	----	----

5E8. 学生 [OCCUSTU].....	1	2	-1	-2
------------------------	---	---	----	----

5E9、5E10、5E11、5E12 は、5E1 または 5E2 に「はい(1)」と回答した人には尋ねないでください。

5E9. 失業中 [OCCUUMP].....	1	2	-1	-2
-------------------------	---	---	----	----

5E10. 家事専業 [OCCUHOME].....	1	2	-1	-2
----------------------------	---	---	----	----

5E11. 定年のために働いていない [OCCURT].....	1	2	-1	-2
----------------------------------	---	---	----	----

5E12 障害のために働いていない [OCCUDS]..... 1 2 -1 -2

ブロック5：職業＋社内ベンチャー「社内ベンチャー」

「ブロック5:職業＋社内ベンチャー(社内ベンチャー)」は、5E1 か 5E2 のいずれかに「はい(1)」と回答した人への質問です。それ以外はブロック7に進んで下さい。

5EE1. この3年間に、あなたの雇用主や組織のために、新製品や新サービスの開発・発売、新部門の設立、支店・事業所や子会社の新設など、新規事業に従事しましたか。(回答リストは読み上げないこと、回答を1つだけ記入する。) [IPACTIVE]

はい1
 いいえ2] →(ブロック7へ進む)
 わからない-1
 無回答-2] →(ブロック7へ進む)

5EE1A は、1D1 か 2D1 のいずれかに「すべてを所有(1)」もしくは「一部を所有(2)」と回答した人への質問です。それ以外は5EE2に進んで下さい。

5EE1A. 雇用主や組織のために新規事業に従事したというビジネスは、あなたが先ほど(ブロック1やブロック2で)触れられていたビジネスと同じものですか、それとも異なるビジネスですか？(回答リストは読み上げないこと、回答を1つだけ記入する。) [SU_OM_EE]

同じビジネス1] →(ブロック7へ進む)
 異なるビジネス2
 わからない-1
 無回答-2

5EE2. 現在、あなたはそのような新規事業に従事していますか。(必要に応じて次のように説明する) 現在、あなたの雇用主や組織のために、新製品や新サービスの開発・発売、新部門の設立、支店・事業所や子会社の新設など、新規事業に従事していますか。(回答リストは読み上げないこと、回答を1つだけ記入する。)[IPACTIVENOW]

はい1
いいえ2
わからない-1
無回答-2

これから、新規事業の開発について、2つの段階を申し上げます。あなたが過去3年間にそれぞれの段階で行った活動について教えてください。

5EE3. 最初の段階には、新規事業のアイデアの開発があります。たとえば、積極的な情報収集や新規事業についての意見交換、経営側へのアイデアの提案などです。あなたは、過去3年間に、このような段階に含まれる活動を行いましたか。(回答リストは読み上げないこと、回答を1つだけ記入する。)[IPPHASE1]

はい1
いいえ2] → (5EE4 へ進む)
わからない-1] → (5EE4 へ進む)
無回答-2] → (5EE4 へ進む)

5EE3a. この段階において、あなたはリーダー的な役割でしたか、それともサポート的な役割でしたか(回答リストは読み上げないこと、回答を1つだけ記入する。)[IPPHASE1ROLE]

リーダー的な役割1
サポート的な役割2
両方3
わからない-1
無回答-2

5EE4. 次の段階は、新規事業の準備や実行です。たとえば、あなたのアイデアの普及活動、事業計画の準備、新規事業に関するマーケティング、資金の調達、チームの編成などです。あなたは、過去3年間に、このような段階に含まれる活動を行いましたか [IPPHASE2]

- はい1
- いいえ2] → (5EE8 へ進む)
- わからない-1] → (5EE8 へ進む)
- 無回答-2] → (5EE8 へ進む)

5EE4a. この段階において、あなたはリーダー的な役割でしたか、それとも支援する役割でしたか [IPPHASE2ROLE]

リーダー的な役割1
サポート的な役割2
両方3
わからない-1
無回答-2

5EE8 今から 5 年後には、何人がこのビジネスのために働いていると思われますか？（0 から 1,000,000 までの数字を 1 つ記入する。回答リストは読み上げない。有効範囲も示さない。範囲での回答は不可。はっきり決まっていない場合は最善の推測を促す。） [IPJOB5YR]

--	--	--	--	--	--	--

人（有効範囲 0—1,000,000）

わからない-1
無回答-2

回答リストを読み上げないでください。回答は 1 つだけ記入する

この新しい事業活動において、あなたの顧客となる人や会社はどちらにいらっしゃいますか？

5EE9A. あなたが住んでいる地域ですか？ [IPCSTLOC]

はい1
いいえ2
わからない-1
無回答-2

5EE9B. 日本の国のどこかですか？ [IPCSTNAT]

はい	1
いいえ	2
わからない	-1
無回答	-2

5EE9C. 日本の国の外ですか？[IPCCSTEXP]

はい	1
いいえ	2
わからない	-1
無回答	-2

5EE11 は、5EE9C に「はい(1)」もしくは「無回答(-2)」と回答した人への質問です。それ以外は5EE12 に進んで下さい。

5EE11.このプロジェクトによる年間売上のうち、海外の顧客による売上は何%ですか？90%超、75%超、50%超、25%超、10%超、または 10%以下のどれにあてはまりますか？（必要に応じて回答リストを読み上げる。回答を 1 つだけ記入する）[IPEXPORT]

	90%超	1
	75%超	2
	50%超	3
	25%超	4
	10%超	5
	10%以下	6
	0%	7
(読み上げない)	┌ わからない	8
	└ 無回答	9

5EE12.あなたの製品やサービスは、どのような人に新しいと感じてもらえますか？あなたと同じ地域の人ですか、あなたと同じ国の人ですか、それとも

世界の人ですか？（必要に応じて回答リストを読み上げる。回答を1つだけ記入する）[IPNEWPROD]

	どのような人にとっても新しい	1
	同じ地域の人にとっては新しい	2
	同じ国の人にとっては新しい	3
	世界の人にとって新しい	4
(読み上げない)	「わからない	-1
	「無回答	-2

5EE13.あなたの製品やサービスに使われている技術は、どのような人に新しいと感じてもらえますか？あなたと同じ地域の人ですか、あなたと同じ国の人ですか、それとも世界の人ですか？（必要に応じて回答リストを読み上げる。回答を1つだけ記入する）[IPNEWPROC]

	どのような人にとっても新しい	1
	同じ地域の人にとっては新しい	2
	同じ国の人にとっては新しい	3
	世界の人にとって新しい	4
(読み上げない)	「わからない	-1
	「無回答	-2

以下のコロナウイルス感染拡大に関する3つの記述に対して、あなたはどのように思われますか。「まったくその通りと思う」「どちらかと言えばその通りと思う」「どちらとも言えない」「どちらかと言えばその通りでない」「まったくその通りではない」の5段階で回答ください(回答リストは読み上げない。回答を1つだけ記入する)。

5EECP1a. コロナウイルス感染拡大の影響で、主要なビジネスや事業のいくつかを中断せざるを得なかった。[IPCRSTOP]

	まったくその通りと思う	5
	どちらかと言えばその通りと思う	4
	どちらとも言えない	3
	どちらかと言えばその通りでない	2
	まったくその通りではない	1
(読み上げない)	「わからない	-1

└無回答.....-2

5EECP1b. コロナウイルス感染拡大によって生まれた事業機会もしくはビジネスチャンスをはげめている。[IPCRNEWOPP]

まったくその通りと思う.....5

どちらかと言えばその通りと思う.....4

どちらとも言えない.....3

どちらかと言えばその通りでない.....2

まったくその通りではない.....1

(読み上げない) 「わからない.....-1

└無回答.....-2

5EECP1c. 日本の政府は、コロナウイルス感染拡大によって生じた経済環境の変化に対して効果的な政策を実行し、適切に対応した。
[IPCRGOVRES]

まったくその通りと思う.....5

どちらかと言えばその通りと思う.....4

どちらとも言えない.....3

どちらかと言えばその通りでない.....2

まったくその通りではない.....1

(読み上げない) 「わからない.....-1

└無回答.....-2

5EECP1d. あなたの会社は、日本の政府からは、コロナウイルス感染拡大によって生じた経営的な打撃に対して何らかの経済的支援を受けましたか。
もしくは受ける予定ですか(回答リストは読み上げない。回答を1つだけ記入する)。 [IPCRSUPPORT]

はい.....1

いいえ.....2

わからない.....-1

無回答.....-2

ブロック7:デモグラフィクス ※2020 調査ではブロック6はない

全員に質問してください。回答者が回答することをためらったりした場合は、この質問は調査目的だけに使用され、回答者が特定化されることはないことを伝えて下さい。

A. あなたの性別を教えてください（回答リストは読み上げない） [GENDER]

男性	1
女性	2
わからない	-1
無回答	-2

B.あなたの実年齢はおいくつですか（回答リストは読み上げない） [AGE]

	歳	E へ進む
わからない	-1	C へ進む
無回答	-2	C へ進む

C は、B で「わからない(-1)」または「無回答」(-2)と回答した人への質問です。それ以外は E に進んで下さい。

C.これから年齢の範囲のリストを読み上げます。どの年齢の範囲が、あなたに最も当てはまりますか[AGE7C]

18 歳未満	1
18-24 歳	2
25-34 歳	3
35-44 歳	4
45-54 歳	5
55-64 歳	6
65-99 歳	7
無回答・回答拒否 【読み上げない】	-2

E.ご自身を含め、あなたの世帯人数は何人ですか。 [HHSIZE]

		人
わからない	【読み上げない】	-1
無回答	【読み上げない】	-2

F.これから所得の範囲を示したリストを読み上げます。この中で、あなたの世帯の収入（総世帯収入）を最も良く表しているのはどれですか？
あなた自身の収入も含めてお答えください【回答は1つのみ。】[XXHHINC]

100 万円未満	1
100～200 万円未満	2
200～300 万円未満	3
300～400 万円未満	4
400～500 万円未満	5
500～600 万円未満	6
600～700 万円未満	7
700～800 万円未満	8
800～900 万円未満	9
900～1000 万円未満	10
1000～1500 万円未満	11
1500 万円以上	12
わからない【読み上げない】	-1
無回答【読み上げない】	-2

FCP2. コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、あなたの世帯収入はどのように変化しましたか。著しく減少しましたか、どちらと言えば減少しましたか、変化はなかったですか、どちらかと言えば増加しましたか、それとも著しく増加しましたか（回答リストは読み上げない。回答を1つだけ記入する）。[CPHHINC]

著しく減少した.....5
 どちらかと言えば減少した.....4
 変化はなかった(どちらとも言えない) ..3
 どちらかと言えば増加した.....2

著しく増加した1
 (読み上げない) 「わからない-1
 「無回答-2

G. 次のうち、あなたの最終学歴を最も良く表しているのはどれですか？ (回答リストを読み上げる) **【回答は1つのみ。】** [XXREDUC]

中学校卒業	1
高等学校卒業	2
高等専門学校卒業	3
短大・専門学校卒業	4
大学卒業	5
大学院卒業	6
その他（特定する：）	7
わからない 【読み上げない】	-1
回答拒否 【読み上げない】	-2

H. (固定電話による回答者に対する質問) あなたは、携帯電話をお持ちですか？
 (携帯電話による回答者に対する質問) あなたは、固定電話をお持ちですか？ [DOUBLECOUNT]

はい1
 いいえ2
 わからない-1
 無回答-2

J. (名簿等から情報を入手できない場合は) 回答者に尋ねる

[xxregion] 在住都道府県名（特定する）：
[xxcity] 在住都市郡名（特定する）：

ご協力ありがとうございました